SHARP

パーソナルコンピュータ

PC-NJ80B
PC-NJ70B

活用ガイド

この説明書に記載している操作には、パソコンの電源を切った状態でするものがあります。
必要に応じて、説明書を印刷してお使いください。

もくじ

この説明書の読み方

■ 使用している記号について

 ご注意	この製品や周辺機器の故障の原因になる注意事項を記載しています。
 ご参考	参考情報や関連事項、操作上の制限事項などを記載しています。
	この説明書の参照ページや、参照する他の説明書を示します。

■ 表記ルールについて

『**取扱説明書**』（付属の冊子）	冊子の説明書を示します。
『**トラブル解決ガイド**』（PDF）	電子マニュアルの他の説明書を示します。
【　】	キーボードのキーを押す操作では、キーを**【　】**で囲んでいます。 また、あるキーを押しながら他のキーを押すときは、「+」でつないで表記しています。 例）**【Fn】**＋**【F7】**（▲☼）
［　］	画面に表示されるボタンなどは、［　］で囲んで表記しています。 例）［OK］をクリックします。
「　」	メニュー項目や、画面やアイコンの名称などは、「　」で囲んで表記しています。 例）「コントロールパネル」をクリックします。

■ 画面例について

本書に記載している画面は一例です。画面の背景、画面デザイン、表示される項目名、アイコンなどの種類や位置などが実際の画面と異なる場合があります。また、操作状況やこの製品の状態によって表示が異なる項目などは「XXXXX」で表しています。

■ 記載内容について

- 本書に記載している情報は、この説明書の制作時点のものです。
  お問い合わせ先の電話番号や受付時間、ホームページの URL や記載内容、メールアドレス、および各種サービスなどの内容は変更されている場合があります。
- 本書では、機種によって操作が異なる場合、対応する機種名を明記しています。お使いの機種の説明をお読みください。

■ 商標、登録商標について

- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Media、Internet Explorer、Windows Live、Office ロゴ、Outlook、Excel、MSN は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Bluetooth は、米国 Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。
- Memory stick、メモリースティック、メモリースティック PRO、メモリースティック デュオ、メモリースティック PRO デュオ、メモリースティック マイクロは、ソニー株式会社の商標です。
- xD-Picture Card および xD- ピクチャーカードは、富士フイルム株式会社の商標です。
- SD ロゴは商標です。
- TRENDMICRO、ウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
- Adobe、および Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- デジタルアーツ /DIGITAL ARTS、アイフィルター /i- フィルター は、デジタルアーツ株式会社の登録商標です。
- 楽々はがきは、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- McAfee、マカフィー、サイトアドバイザプラスは、米国法人 McAfee,Inc. またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。本書中のその他の登録商標及び商標はそれぞれその所有者に帰属します。

その他、製品名などの固有名詞は各社の商標、または登録商標です。

■ ソフトウェア名などの略称表記について

本書では、ソフトウェア名･製品名を下記のように表記しています。

本書での表記	正式名称
Windows **Windows 7**	Windows® 7 Starter for Small Notebook PCs 正規版
Windows Vista	Windows Vista® Home Basic with Service Pack 1(SP1)
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版 Service Pack 3 Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版 Service Pack 3
Office Personal 2007	Microsoft® Office Personal 2007
Excel 2007	Microsoft® Office Excel® 2007
Word 2007	Microsoft® Office Word 2007
Outlook 2007	Microsoft® Office Outlook® 2007
IME 2007	Microsoft® Office IME 2007
Office Personal 2003	Microsoft® Office Personal Edition 2003
Excel 2003	Microsoft® Office Excel® 2003
Word 2003	Microsoft® Office Word 2003
Internet Explorer 8 **Internet Explorer**	Windows® Internet Explorer® 8
Internet Explorer 7 **Internet Explorer**	Windows® Internet Explorer® 7
楽々はがき セレクト版	楽々はがき [セレクト版] for SHARP
マカフィー・サイトアドバイザプラス	マカフィー・サイトアドバイザプラス 30 日期間限定版
タッチおれん字	タッチおれん字 液晶パッド版
ブンコビューア	ブンコビューア for Mebius

電源・省電力・バッテリー

シャットダウン、スリープ、休止状態の違いを知りたい

パソコンの電源を切るときは、シャットダウン、スリープ、休止状態のいずれかで電源を切ります。
シャットダウン、スリープ、休止状態の違いは次のとおりです。

電源の切り方	特徴	ランプの状態	電源を入れるには
シャットダウン	現在の状態を保存せず、パソコンの電源を完全に切ります。作業中のデータがある場合は、シャットダウンの前にデータを保存する必要があります。	消灯	電源ボタンを押す
スリープ	現在の状態（開いているソフトウェアやデータなど、作業内容すべて）をメモリーに保存し、ほとんどの電源供給を停止します。次に電源を入れると、スリープに入る前と同じ状態が短時間で復元されるので、すぐに作業を再開できます。	点滅	電源ボタンを押す または キーボードの任意のキーを押す
休止状態	現在の状態（開いているソフトウェアやデータなど、作業内容すべて）をハードディスクに保存し、電源を切ります。次に電源を入れると、休止状態に入る前と同じ状態が復元されるので、すぐに作業を再開できます。	消灯	電源ボタンを押す

※バッテリー残量が非常に少なくなったとき、またはスリープに移行後 6 時間が経過したときは、自動的に休止状態に移行します。（高パフォーマンス時は除く）

消費電力を節約したい（eco 機能を使う）

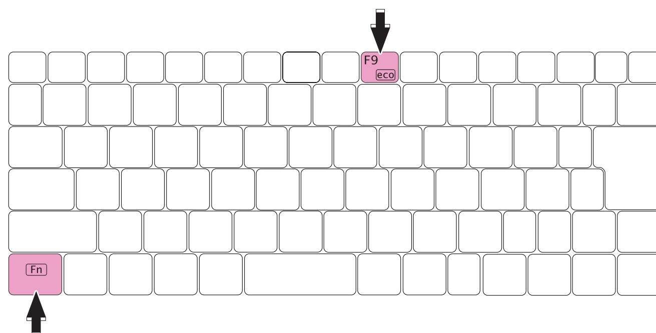
このパソコンには、電源に関する設定をまとめて変更できる eco 機能（エコ機能）が搭載されています。
3 つのモードからパソコンの使用状況に合ったモードを選択して消費電力を節約しましょう。（各モードの設定は Windows の電源プランの設定に準じます。）

モードの種類	モードの特徴※	Windows の電源プラン
高パフォーマンス	コンピュータのパフォーマンス（処理実行能力）が最大になります。バッテリーが通常よりも速く消費されます。	高パフォーマンス
バランス	必要なときはパフォーマンスを最大にし、動作していないときは消費電力を節約します。	バランス
省電力	パフォーマンスは低くなりますが、消費電力を節約します。バッテリーを長持ちさせることができます。	省電力

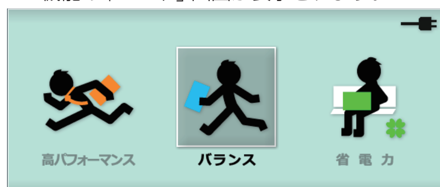
※ご購入時の設定のままでお使いになる場合のモードの特徴です。

eco 機能のモードを切り替えるときは、以下の手順で操作します。

1 【Fn】＋【F9】（eco）を押す。



eco機能の「モード」画面が表示されます。



「モード」画面では、現在選択されているモードのアイコンが強調表示されます。ここでは「バランス」が選択されています。

2 「モード」画面が表示されている間に【Fn】+【F9】（eco）を押して設定したいモードを選択する。
【Fn】+【F9】（eco）を押すたびに、モードが切り替わります。

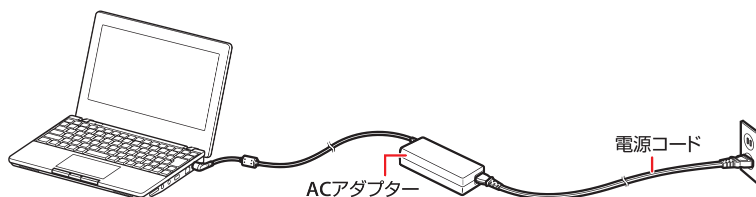


ご参考

- 【Fn】+【F6】（▼☼）などで画面の明るさを変更していても、【Fn】+【F9】（eco）でモードを切り替えると、eco 機能の各モードの設定値に変更されます。

バッテリーパックを充電する

1 パソコンに AC アダプターを接続し、電源コードをコンセントに差す。



充電が始まり、満充電になると充電が止まります。

（バッテリー状態）ランプで、充電状態が確認できます。

（バッテリー状態）ランプが
オレンジ点灯のとき：充電中
緑点灯のとき：満充電

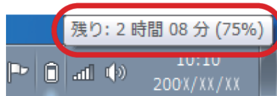


ご参考

- バッテリーパックを長持ちさせるために
約 1 ヶ月以上パソコンを使用しないときは、50% 程度の充電をして、パソコンからバッテリーパックを取り外し、冷暗所で保管してください。
過放電を防止するために、半年に 1 回くらいの割合で、50% 程度の充電をしてください。
過放電の状態になったバッテリーパックは、使用できなくなります。
- バッテリーパックは消耗品です。
バッテリーの使用時間が極端に短くなったときは、バッテリーパックの初期化（☞次ページ）や、新しいバッテリーパックとの交換（☞10 ページ）をしてください。

バッテリーの残量を確認したい

1 タスクバーの🔋の上にマウスポインターを移動する。
バッテリー残量が表示されます。



バッテリーの残量表示は概算によるものです。使用状況によって誤差が生じますので、目安としてお使いください。


ご参考

- 電源アイコンはバッテリー駆動時と AC アダプター接続時で次のように表示が異なります。
  🔋：AC アダプターを外して、バッテリーで使用しているとき
  🔌：AC アダプターを接続して使用しているとき

バッテリーパックを初期化する

バッテリー残量表示と実際の使用時間の差が大きくなったときなどは、バッテリーパックを初期化してください。

バッテリーパックを初期化する必要があるのは、以下のような場合です。
・充電してもバッテリーの使用時間が短くなったとき
・以前よりも充電に時間が長くかかるようになったとき
・バッテリー残量表示と実際の使用時間の差が大きくなったとき

1 シャットダウンでパソコンの電源を切る。

2 AC アダプターを接続して満充電になるまで充電する。
満充電になると、（バッテリー状態）ランプが緑色に点灯します。

3 パソコンの電源を入れる。

4 「Press F2 for System Utilities」と表示されたらすぐに、**【F2】**を押す。
セットアップユーティリティ画面が表示されます。

5 **【Fn】**＋**【F8】**（☼）を押して画面の明るさを最大にする。

6 AC アダプターを外してバッテリーの残量が完全になくなって電源が切れるまで放置する。
満充電からバッテリーの残量が完全になくなるまで約4時間かかります。

7 AC アダプターを接続して満充電になるまで充電する。
（バッテリー状態）ランプが緑色に点灯するまで、パソコンの電源は入れないでください。


ご参考

- バッテリーパックを初期化しても極端に使用時間が短くなったときや満充電になるまでの目安の時間を越えてもオレンジ色の点灯が続くような場合は、バッテリーパックが劣化している可能性があります。このようなときは、新しいバッテリーパックを購入し、交換してください。（**「バッテリーパックを交換する」**☞10 ページ）

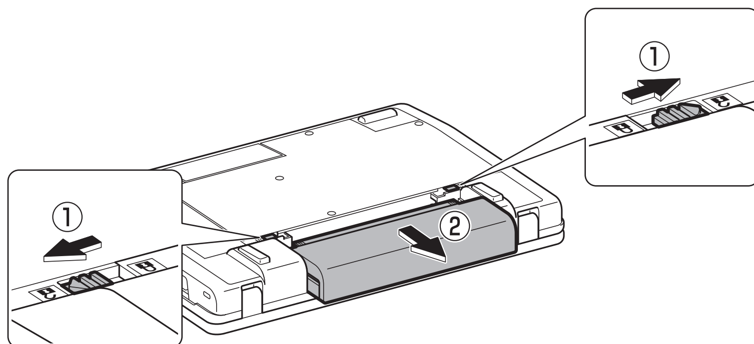
バッテリーパックを交換する

1 シャットダウンでパソコンの電源を切る。

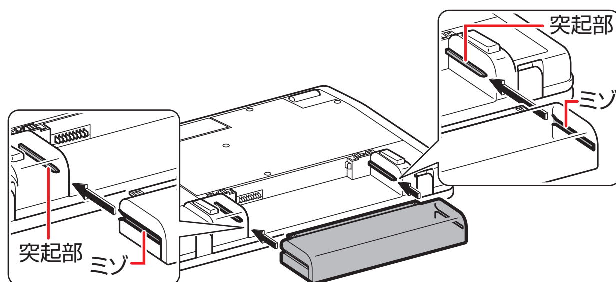
2 AC アダプターを取り外す。

3 ディスプレイを閉じ、パソコンを裏返す。

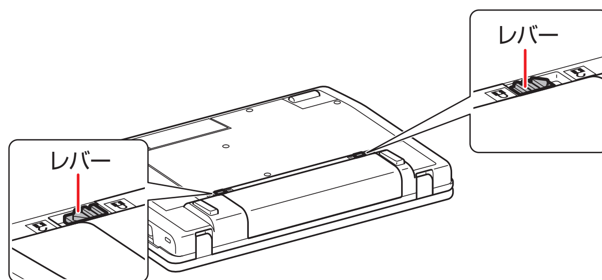
4 バッテリーパックを取り外す。
①左右のレバーを同時に矢印の方向にスライドする。
②レバーをスライドさせたまま、バッテリーパックを引き出す。



5 新しいバッテリーパックを取り付ける。
①バッテリーパックのミゾをパソコンの突起部に合わせて差し込む。



② 「カチッ」と音がし、レバーがロック位置（🔒）に完全に戻るまで、バッテリーパックを押し込む。

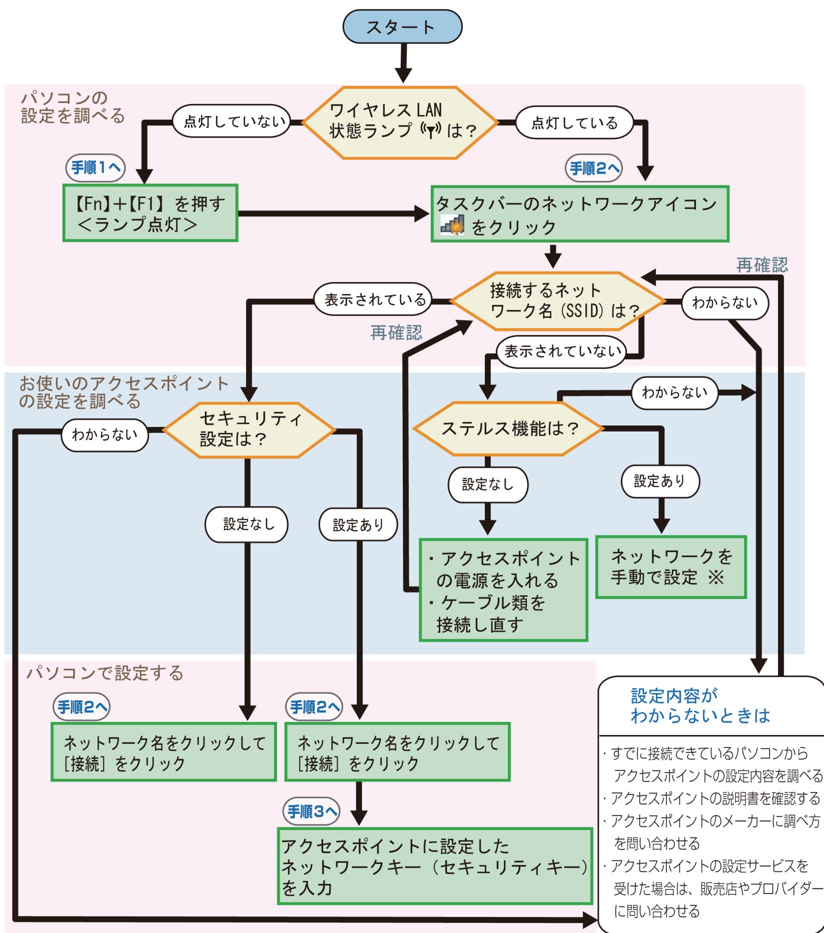


 **ご参考**

- **新しいバッテリーパックをお求めのときは**
  CE-BL59(別売品）を購入してください。

ワイヤレス LAN でインターネットに接続したい

ブロードバンドモデムなどにワイヤレス LAN アクセスポイントまたはワイヤレスブロードバンドルーター（以下「アクセスポイント」と表記します）を接続し、アクセスポイントを経由してインターネットに接続できます。あらかじめ、必要な機器の接続と設定をすませたうえで、図のような流れに従ってパソコンで設定します。



※ワイヤレス LAN を手動で設定する方法については、**「ネットワーク名（SSID）を通知しないアクセスポイントに接続したい（ワイヤレス LAN を手動で設定する）」**（☞15 ページ）を参照してください。

 ご参考

- ワイヤレス LAN でインターネットに接続するときに必要な機器

機　器	使うための接続・設定
ブロードバンドモデム ADSL モデム ケーブルモデム など ※接続するインターネット回線やプロバイダーによって異なります	プロバイダーの資料を参照して、機器の接続や設定をします。
アクセスポイント ワイヤレス LAN アクセスポイント ワイヤレスブロードバンドルーター	アクセスポイントの説明書を参照してブロードバンドモデムとの接続や設定をします。セキュリティ関係の設定もアクセスポイント側でまず設定します。

- **接続できる機器について**
  このパソコンのワイヤレス LAN 機能は、「IEEE802.11b」および「IEEE802.11g」の両方の規格に準拠しています。IEEE802.11b 準拠のワイヤレス LAN 機器、または IEEE802.11g 準拠のワイヤレス LAN 機器と接続できますが、機器によっては接続できないものもあります。

- **ワイヤレスネットワーク設定に必要な情報**
  ワイヤレス LAN でインターネットに接続するときには、アクセスポイントに設定したネットワーク名（SSID）、セキュリティキーが必要です。
  ネットワーク名（SSID）：ネットワークを識別するために設定する任意の名前です。接続するネットワークの選択画面に表示されます。
  セキュリティキー：アクセスポイントに設定しているネットワークキー（暗号化キー）のことです。セキュリティキーともいいます。

- **ワイヤレスアドホック（コンピューター相互）ネットワークについて**
  このパソコンに搭載されている「Windows 7 Starter」はワイヤレスアドホックネットワークには対応していません。そのため次ページの手順 **2** のワイヤレスネットワーク接続の一覧には、ワイヤレスアドホックネットワークは表示されません。

1 (ワイヤレス LAN 状態）ランプが点灯しているか確認し、点灯していないときは、**【Fn】**＋**【F1】**（ ）を押す。
ランプが点灯します。



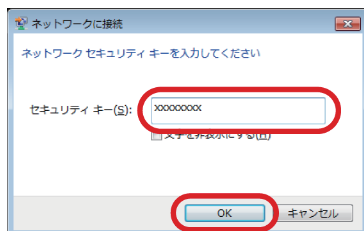
2 タスクバーの をクリックし、使用するネットワーク名(SSID)をクリックし、[接続]をクリックする。



この一覧にネットワーク名が表示されていないときは、アクセスポイントに「ステルス機能」(SSIDを外部から見えないように隠す機能)が設定されていないか確認してください。ステルス機能が設定されているときは、手動でワイヤレスLANを設定する必要があります。(**「ネットワーク名(SSID)を通知しないアクセスポイントに接続したい(ワイヤレスLANを手動で設定する)」**☞次ページ)

セキュリティキーの入力画面が表示されます。

3 アクセスポイントに設定されているセキュリティキー(ネットワークキー)と同じものを入力し、[OK]をクリックする。



接続できると、タスクバーのネットワークアイコンが に変わります。

ネットワーク名（SSID）を通知しないアクセスポイントに接続したい（ワイヤレス LAN を手動で設定する）

アクセスポイントにステルス機能を設定している場合は、タスクバーの をクリックしてもネットワーク名（SSID）が表示されません。このときは、ワイヤレス LAN を手動で設定する必要があります。



ご参考

- **ワイヤレス LAN を手動で設定するときに必要な情報**
  ネットワーク名（SSID）やセキュリティキー以外にも以下のような情報が必要です。
  - **セキュリティの種類**：アクセスポイントで設定しているネットワークキーのセキュリティ規格（WEP/WPA/WPA2 など）のことです。
  - **暗号化の種類**：アクセスポイントで設定しているセキュリティキーの暗号化方式（WEP/TKIP/AES）のことです。

1 タスクバーの をクリックし、「ネットワークと共有センターを開く」をクリックする。
「ネットワークと共有センター」画面が表示されます。

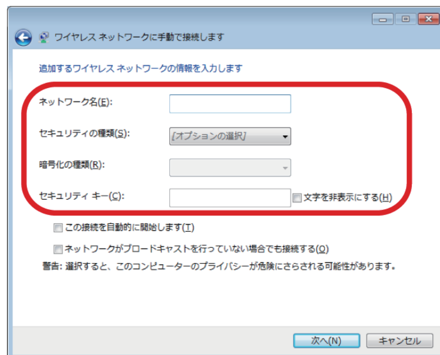
2 「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をクリックする。



接続オプションの選択画面が表示されます。

3 「ワイヤレスネットワークに手動で接続します」をクリックし、[次へ] をクリックする。
ネットワークの情報入力画面が表示されます。

4 「ネットワーク名」、「セキュリティの種類」、「暗号化の種類」、「セキュリティキー」を入力する。



ここで入力する「ネットワーク名」などの設定情報は、アクセスポイントに設定されているものと同じものを入力する必要があります。設定情報については、アクセスポイント側で確認してください。

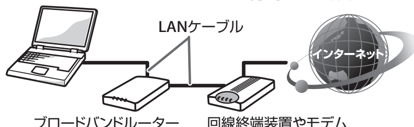
5 「ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する」をクリックしてチェックマークを付け、[次へ]をクリックする。
「正常にXXXXXXXX（ネットワーク名）を追加しました」と表示されます。

6 「閉じる」をクリックする。
接続できると、ネットワークアイコンが に変わります。

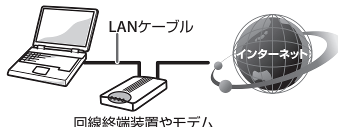
LAN 接続（有線 LAN）でインターネットに接続したい

LAN ケーブルを使って、このパソコンとモデムやブロードバンドルーターを接続します。

<ブロードバンドルーターを利用する場合>



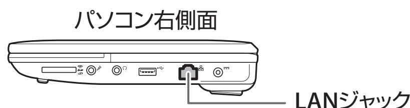
<ブロードバンドルーターを利用しない場合>



LAN ケーブルを接続する前に、あらかじめプロバイダーや回線事業者から送られてくる資料、およびモデムなどに付属の説明書を参照して、各機器を接続し、ネットワーク設定をすませておいてください。

パソコンに LAN ケーブルを接続するときは、LAN ケーブルのコネクターのツメを上にして、LAN ジャックに差し込みます。

パソコン右側面




ご参考

- **「ネットワークの場所の設定」画面が表示された場合は**
  ネットワーク接続が完了すると、ネットワークの場所の設定画面が表示されることがあります。
  「ホームネットワーク」、「社内ネットワーク」、「パブリックネットワーク」のうち、パソコンを使用している場所を選択します。

  ホームネットワーク：家庭内ネットワークなど小規模なネットワークグループで使用する場合
  社内ネットワーク：会社内でのネットワークで使用する場合
  パブリックネットワーク：公共の場所などでパソコンを使用する場合

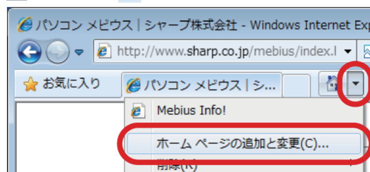
  「ホームネットワーク」を選択して、[次へ] をクリックすると「ホームグループの作成」画面が表示されますが、このパソコンのエディション（Windows 7 のバージョン）では、ホームグループを作成することはできません。[キャンセル] をクリックしてください。
  すでに Windows 7 の他のエディションのパソコンでホームグループを作成されている場合は、ホームグループ作成時に自動的に生成されたパスワードを入力すると、同じホームグループに参加することができます。ホームグループについて詳しくは Windows の「ヘルプとサポート」を参照してください。

いつも見る Web ページが「Internet Explorer」起動時に表示されるようにしたい

いつも見る Web サイトのページを「Internet Explorer」の「ホームページ」に指定すると、指定したページが「Internet Explorer」起動時に表示されるようになります。他の Web サイトを見ている場合でも、(ホーム)をクリックすると、「ホームページ」に指定したページが表示されます。

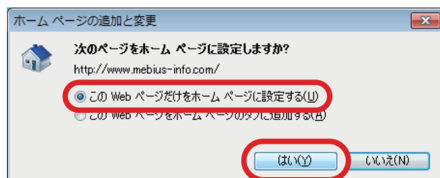
1 「Internet Explorer」を起動し、「ホームページ」に設定したいWebページを表示させる。

2 の右側の をクリックし、「ホームページの追加と変更」をクリックする。



「ホームページの追加と変更」画面が表示されます。

3 「この Web ページだけをホームページとして使う」をクリックし、[はい] をクリックする。



「Internet Explorer」の「ホームページ」が変更されます。
いったん「Internet Explorer」を終了し、再度起動して、「ホームページ」に設定したWebページが表示されるか確認してください。

ご参考

- 手順 **3** で「この Web ページをホームページのタブに追加する」を選択すると、既存の「ホームページ」の新しいタブに現在のページを追加することができます。

Web サイトの閲覧履歴を消去したい

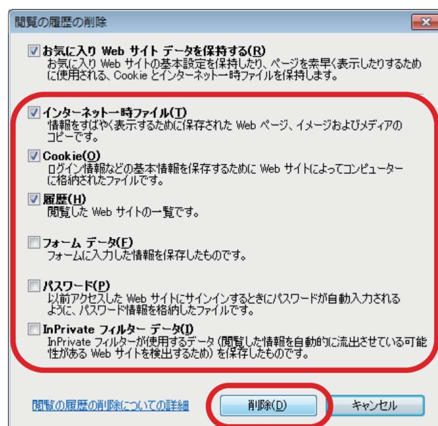
「Internet Explorer」では、「閲覧の履歴の削除」を使って、Web サイトの閲覧履歴を削除する方法のほかに、閲覧終了時に自動的に履歴を削除するように設定しておいたり、「InPrivate ブラウズ」を使って、閲覧履歴を残さないようにして Web サイトにアクセスする方法があります。

● Web サイトの閲覧履歴を削除する

1 「Internet Explorer」を起動し、ツールバーの「セーフティ」をクリックし、「閲覧の履歴の削除」をクリックする。

「閲覧の履歴の削除」画面が表示されます。

2 削除するデータにチェックマークを付け、[削除] をクリックする。

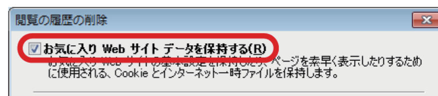


「インターネット一時ファイル」、「Cookie」、「履歴」にはあらかじめチェックマークが付いています。



ご参考

- 「お気に入り Web サイトデータを保持する」にチェックマークが付いていると、お気に入りに登録した Web サイトの情報は削除されません。



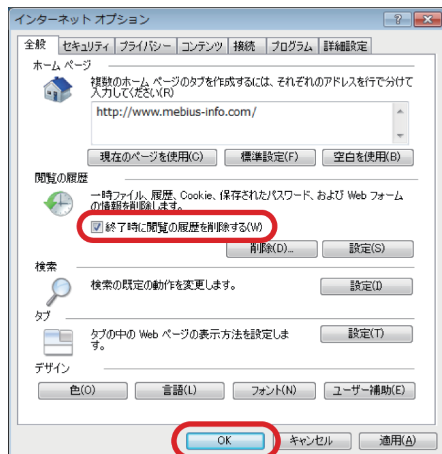
ご購入時の状態では、チェックマークが付いています。

●閲覧終了時に履歴を自動的に削除する

「Internet Explorer」を閉じたときに自動的に Web サイトの閲覧履歴が削除されるように設定することができます。

1 「Internet Explorer」を起動し、ツールバーの「ツール」をクリックし、「インターネットオプション」をクリックする。
「インターネットオプション」画面が表示されます。

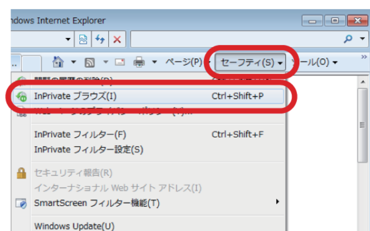
2 「全般」タブの「閲覧の履歴」欄の「終了時に閲覧の履歴を削除する」をクリックしてチェックマークを付け、[OK]をクリックする。



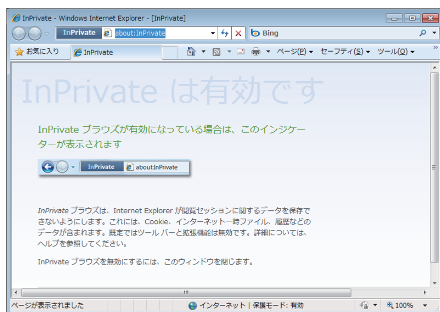
● 閲覧履歴を残さずに Web サイトにアクセスする

「InPrivate ブラウズ」を使うと、Web サイトの閲覧履歴は保存されず、インターネット一時ファイルや Cookie なども、「InPrivate ブラウズ」終了時に自動的に削除されます。

1 「Internet Explorer」を起動し、「セーフティ」をクリックし、「InPrivate ブラウズ」をクリックする。



「InPrivateブラウズ」が有効になったブラウザーウィンドウが表示されます。



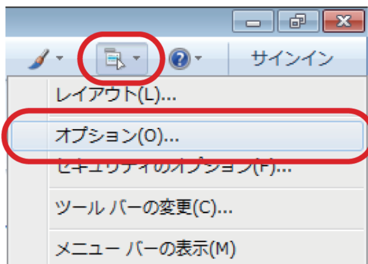
起動したブラウザーでアクセスしたWebサイトの閲覧履歴は残りません。

メールの文末に署名（自分の名前など）を入れたい

PC-NJ70B

「Windows Live メール」でメールの最後に署名（自分の名前やメールアドレスなどの連絡先）を自動的に入れるには、以下の手順で操作します。

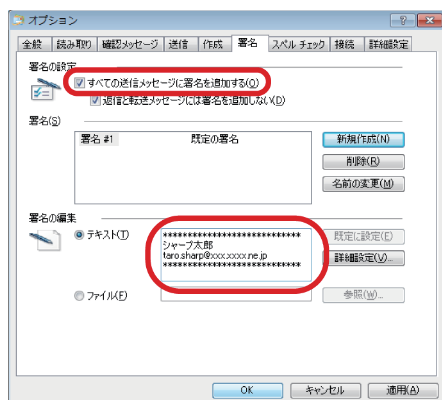
1 「Windows Live メール」を起動し、 をクリックし、「オプション」をクリックする。



「オプション」画面が表示されます。

2 「署名」タブをクリックし、[新規作成]をクリックする。

3 「すべての送信メッセージに署名を追加する」をクリックしてチェックマークを付け、「テキスト」欄に自分の名前やメールアドレスなど、メールに入れたい情報を入力する。



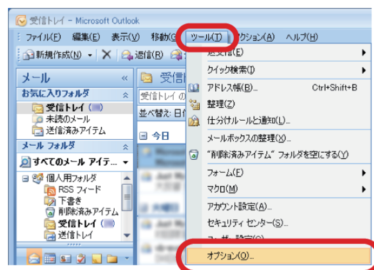
メール作成時、ここで入力した内容がメール本文に自動的に入ります。

4 [OK]をクリックする。

PC-NJ80B

「Outlook 2007」でメールの最後に署名（自分の名前やメールアドレスなどの連絡先）を自動的に入力するには、以下の手順で操作します。

1 「Outlook 2007」を起動し、メニューバーの「ツール」をクリックし、「オプション」をクリックする。



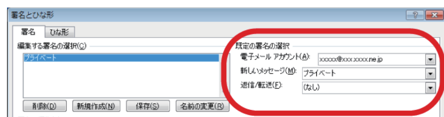
「オプション」画面が表示されます。

2 「メール形式」タブをクリックし、「署名」欄の[署名]をクリックする。
「署名とひな形」画面が表示されます。

3 [新規作成]をクリックする。
「新しい署名」画面が表示されます。

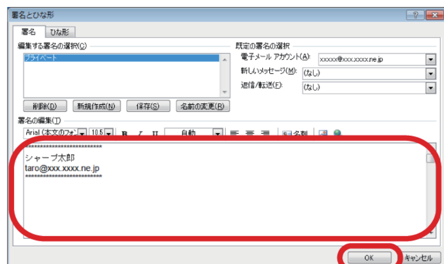
4 署名の名前を入力し、[OK]をクリックする。

5 [既定の署名の選択] 欄で、作成した署名を使用する電子メールアカウントを指定し、「新しいメッセージ」欄で署名の名前を選択する。



返信/転送のメッセージにも署名を自動入力したいときは、「返信/転送」ボックスから署名の名前を選択します。

6 「署名の編集」欄に自分の名前やメールアドレスなど、メールに入れたい情報を入力し、[OK] をクリックする。



7 [OK] をクリックする。

迷惑メールを受信したくない

「Windows Live メール」や「Outlook 2007」には、受信したメールを自動的に「迷惑メール」フォルダーに振り分ける迷惑メールフィルター機能がありますが、迷惑メールであっても、フィルター機能にかからずに届いてしまうものもあります。受信拒否リストを使うと、特定のメールアドレスから届く不要なメールを迷惑メールとして指定し、受信した時点で「迷惑メール」フォルダーに自動的に振り分けることができます。

※ PC-NJ70B では「Windows Live メール」、PC-NJ80B では「Outlook 2007」が、既定のメールソフトとして設定されています。

1 「Windows Live メール」(または「Outlook 2007」)を起動し、「受信トレイ」内の受信拒否リストに追加したいメールを右クリックし、「迷惑メール」−「差出人を [受信拒否リスト] に追加」(「Outlook 2007」では「送信者を [受信拒否リスト] に追加」)をクリックする。



指定したメールは「迷惑メール」フォルダーに移動し、次回以降、同じ差出人からのメールは自動的に「迷惑メール」フォルダに振り分けられます。



ご参考

- 「Windows Live メール」の「アドレス帳」、「Outlook 2007」の「連絡先」に登録されている電子メールアドレスは、自動的に「差出人セーフリスト」に含まれています。
- 「Windows Live メール」や「Outlook 2007」の迷惑メールフィルター機能では、まれに迷惑メールではないメールが「迷惑メール」フォルダーに保存されてしまうこともあるため、定期的に「迷惑メール」フォルダーを確認することをお勧めします。「迷惑メール」フォルダーに振り分けられているメールを右クリックし、「迷惑メール」－「差出人を［差出人セーフリスト］に追加」をクリックすると、次回以降、「受信メール」フォルダーに保存されるようになります。
- 特定の相手からのメールを受信しないように設定できる（または会員が自分で設定する）プロバイダーもあります。詳しくは、プロバイダーの説明書を参照してください。

メールに手描きイラストを使いたい

液晶パッドの「手描きイラスト」のイラスト作成画面から、作成したイラストをメールの本文に貼り付けることができます。

1 メイン画面に、「Windows Live メール」（PC-NJ80B の場合は「Outlook 2007」）のメッセージの作成画面を表示し、本文のイラストを挿入したい場所にカーソルを表示させる。

2 モード切り替えボタンを押し、ホームメニューの［手描きイラスト］をタッチする。

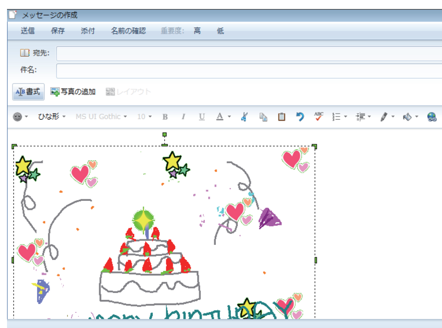


液晶パッドにイラスト作成画面が表示されます。

3 イラストを作成し、［貼り付けボタン］をタッチする。



メール本文入力エリアのカーソル位置にイラストがビットマップ形式で挿入されます。



4 モード切り替えボタンを押してマウスモードに切り替え、メールの本文を入力し、送信する。



ご参考

- イラスト作成画面の をタッチすると、作成したイラストが JPG 形式のファイルとして添付された新規メールの作成画面が表示されます。

既定のメールソフトを「Outlook 2007」から「Windows Live メール」に変更したい

PC-NJ80B

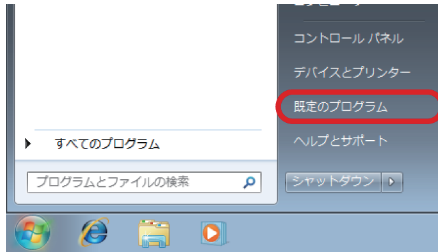
ご購入時の状態では、既定のメールソフトには「Outlook 2007」が設定されています。既定のメールソフトは、「Internet Explorer」でホームページを閲覧中に電子メールのリンクをクリックしたり、液晶パッドで手描きイラストを作成後に をタッチしたりしたときに、自動的に起動します。
普段のメールのやり取りに「Windows Live メール」を利用していても、「Windows Live メール」が既定のメールソフトに設定されていないと、リンクをクリックしたり、手描きイラストをメールに添付したりするときには、「Outlook 2007」が起動します。
「Windows Live メール」を既定のメールソフトに変更するには、以下の手順で操作します。



ご参考

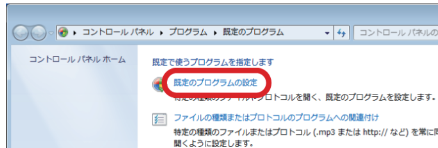
- 「Windows Live メール」を起動したときに、「Windows Live メールを通常使用する電子メールプログラムとして設定しますか？」というメッセージが表示された場合は、[はい] をクリックすると「Windows Live メール」が「既定のメールソフト」に設定されます。

1 （スタート）をクリックし、「既定のプログラム」をクリックする。



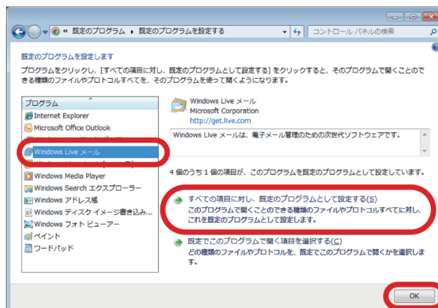
「既定のプログラム」画面が表示されます。

2 「既定のプログラムの設定」をクリックする。



既定のプログラムの設定画面が表示されます。

3 プログラムの一覧から「Windows Live メール」をクリックし、「すべての項目に対し、既定のプログラムとして設定する」をクリックし、[OK] をクリックする。



「Windows Liveメール」が既定のメールソフトに設定されます。

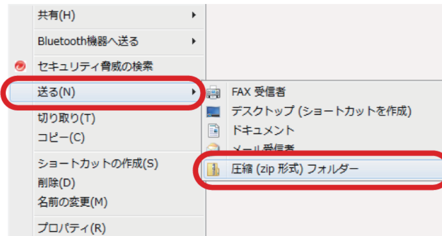
4 画面右上の をクリックして「既定のプログラム」画面を閉じる。

ファイルを圧縮したい

メールにサイズの大きなファイルを添付するような場合、そのまま送るとサーバーの容量制限などによってメールが送れなかったりすることがあります。容量の大きなファイルや複数のファイルをまとめてメールに添付するときなどは、ファイルを圧縮してサイズを小さくしてから送りましょう。

●ファイルを圧縮する

1 圧縮したいファイルを右クリックし、「送る」－「圧縮（zip 形式）フォルダー」をクリックする。



元のファイルと同じ場所に圧縮ファイルが作成されます。

●複数のファイルを圧縮する

1 **【Ctrl】**を押しながら、圧縮したいファイルを順にクリックする。
複数のファイルが選択された状態になります。

2 選択されたファイルを右クリックし、「送る」－「圧縮（zip 形式）フォルダー」をクリックする。
圧縮ファイルが作成されます。

3 必要に応じて、ファイル名を変更する。
作成された圧縮ファイルのファイル名は、中に含まれるファイルのひとつと同じ名前になっています。必要に応じて、名前を変更してください。



ご参考

- 上記の操作で圧縮できるのは ZIP 形式のみです。ZIP 形式以外の形式で圧縮したいときは、市販の圧縮ソフトなどをお使いください。
- ファイルの圧縮率は、ファイルの種類によって異なります。ファイルの種類によっては、圧縮しても容量がほとんど変わらないものもあります。

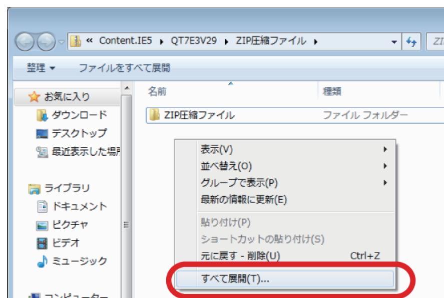
ZIP 形式の圧縮ファイルを解凍（展開）したい

圧縮されたファイルを元に戻すことを解凍（展開）といいます。ここでは、メールに添付された ZIP 形式の圧縮ファイルを解凍（展開）する方法を説明します。

1 メールに添付された圧縮ファイルをダブルクリックする。
「このファイルを開きますか?」と表示されます。

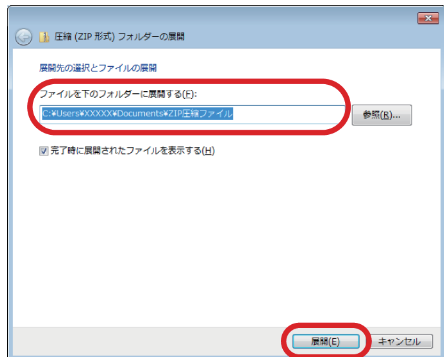
2 ［開く］をクリックする。
圧縮フォルダーが開きます。

3 圧縮フォルダー上のアイコンなどが何もない場所を右クリックし、「すべて展開」をクリックする。



「圧縮（ZIP形式）フォルダーの展開」画面が表示されます。

4 展開先のフォルダーを確認し、［展開］をクリックする。



展開先を変更するときは、［参照］をクリックして、展開先のフォルダーを指定します。



ご参考

- LZH 形式の圧縮ファイルも同様の手順で解凍（展開）できます。
- ZIP・LZH 形式以外の圧縮ファイルを解凍したいときは、市販の解凍ソフトなどをお使いください。

メモリーカードなどの空き容量を確認したい

SD メモリーカード、メモリースティックなどのメモリーカードや USB メモリーなどの空き容量は、「コンピューター」画面から確認します。

1 メモリーカードや USB メモリーがパソコンにセットされた状態で、（スタート）をクリックし、「コンピューター」をクリックする。
「コンピューター」画面が表示されます。

2 「リムーバブル記憶域があるデバイス」欄から該当するデバイスのアイコンを選んで右クリックし、「プロパティ」をクリックする。
プロパティ画面が表示されます。

3 「空き領域」に表示されている数値を確認する。

4 空き容量の確認ができたら、をクリックして開いている画面を順に閉じる。



ご参考

- このパソコンで使用できるメモリーカードについては、『**仕様一覧**』（PDF）を参照してください。

ファイルやフォルダーを他の場所にコピーしたい

作成したファイルやフォルダーをコピーするには、右クリックメニューの「コピー」を使う方法や、ドラッグ＆ドロップする方法などがあります。また、「送る」メニューを使用する方法もあります。

●右クリックメニューの「コピー」を使う

1 ファイルを右クリックし、「コピー」をクリックする。

2 コピー先のフォルダーで右クリックし、「貼り付け」をクリックする。
コピー先のフォルダーにファイルがコピーされます。

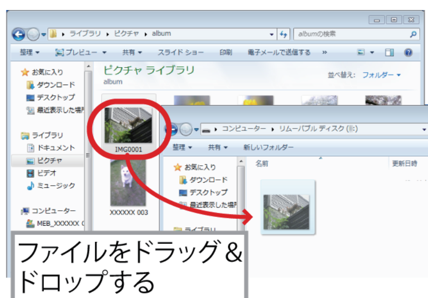
●ドラッグ＆ドロップでコピーする

メモリーカードや USB メモリーなど、ファイルの保存場所とは別のドライブにコピーするときには、ファイルやフォルダーをコピー先のフォルダーにドラッグ＆ドロップするだけでコピーできます。
ここでは例として、SD メモリーカードにファイルをコピーする方法を説明します。

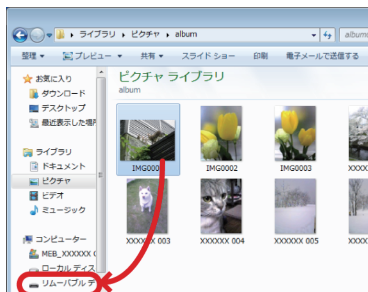
1 SD メモリーカードをパソコンのメモリーカードスロットに差し込む。
「自動再生」画面が表示されます。
「自動再生」画面が表示されずにメモリーカードのフォルダーが開いた場合は、手順**3**へ進みます。

2 「フォルダーを開いてファイルを表示」をクリックする。
SDメモリーカードのフォルダーが開きます。

3 データを保存しているフォルダーを開き、SD メモリーカードのフォルダーにファイルをドラッグ＆ドロップする。



データをデータフォルダーの画面左側のコピー先に該当する「リムーバブルディスク」にドラッグ＆ドロップしてもコピーできます。



4 SD メモリーカードにファイルがコピーされたら、画面右上の をクリックして開いている画面を順に閉じる。

5 パソコンから SD メモリーカードを取り出す。
メモリーカードの取り出し方法については、**「メモリーカードを取り出す」**(☞112ページ)を参照してください。



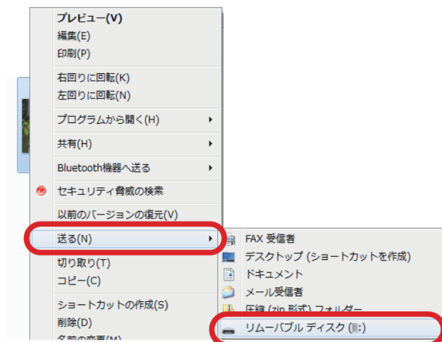
ご参考

- デスクトップから「ドキュメント」フォルダーなど、同一ドライブ内の別の場所へファイルをドラッグ＆ドロップすると、「コピー」ではなく、「移動」になります。同一ドライブ内でコピーするには、**【Ctrl】**を押しながらドラッグ＆ドロップします。
- コピー中に「十分な領域がありません。・・・」というメッセージが表示されたときは、コピー先のメモリーカードや USB メモリーの空き容量が不足しています。メッセージの［キャンセル］をクリックし、メモリーカードや USB メモリーの中のデータで不要なものを削除するなどして、空き容量を増やしてからコピーし直してください。

●右クリックメニューの「送る」を使う

パソコンにメモリーカードや USB メモリーを挿入すると、ドライブ名が自動的に「送る」メニューに追加されます。ファイルやフォルダーを右クリックしたときに表示される「送る」メニューを使うと少ない操作でコピーできます。

1 コピーしたいファイルを右クリックし、「送る」－「リムーバブルディスク」（または、挿入したデバイス名）をクリックする。



見つからないファイルを探したい

ファイルが見つからないときは、スタートメニュー画面やフォルダーウィンドウにある検索ボックスにキーワードを入力して検索することができます。
ここでは、スタートメニューから検索する方法を説明します。

1 （スタート）をクリックし、「プログラムとファイルの検索」にキーワードとなるファイル名やファイル名の一部の文字を入力する。
入力した文字を含むファイルやフォルダーの名前が検索結果として表示されます。
文字の入力に従って、検索結果が絞り込まれていきます。検索ボックスには、複数のキーワードを入力して検索することもできます。

2 「検索結果の続きを表示」をクリックする。



「検索結果」フォルダーが開き、キーワードが強調表示された検索結果が表示されます。

3 探しているファイルが見つかったら、ファイル名をダブルクリックする。



ご参考

- ファイルの保存場所がわかっているようなときは、保存場所のフォルダーを開き、画面右上の検索ボックスにキーワードを入力して検索することができます。
- フォルダーの検索ボックスでは、「検索フィルターを追加」機能を使って、検索条件を追加して検索結果を絞り込むことができます。
たとえば、ライブラリの「ドキュメント」フォルダーでは、検索ボックスに表示される検索フィルターの「作成者」、「種類」、「更新日時」、「サイズ」のいずれかをクリックすると、選択した項目を基準にしてファイルが表示されます。



フォルダーの種類によって選択できる検索フィルターは異なります。

フォルダーの種類	検索フィルター
ドキュメント	作成者、種類、更新日時、サイズ
ピクチャ	撮影日、タグ、種類、更新日時
ミュージック	アルバム、アーティスト、ジャンル
ビデオ	長さ、作成日時、種類、更新日時

ファイルの拡張子を表示させたい

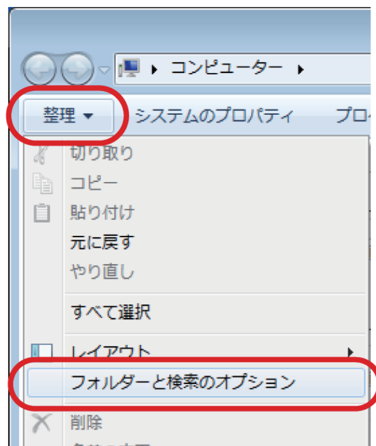
Windows では、ファイルの種類を区別するための文字がファイル名の最後に付いています。この文字を「拡張子」と呼びます。
主な拡張子としては、次のようなものがあります。

拡張子	ファイルの種類
txt	テキストファイル
doc	テキストファイル、Microsoft Word 形式の文書データ
docx	テキストファイル、Microsoft Word 2007 の文書データ
xls	Microsoft Excel 形式の文書データ
xlsx	Microsoft Excel 2007 の文書データ
htm、html	インターネット上でよく使われている文書ファイル
bmp、jpg、gif、png	画像データ
chm、hlp	ヘルプファイル
pdf	PDF ファイル
wav、mp3、wma	音声データ
wmv	動画データ
exe、com	実行可能プログラム
dll	ダイナミックリンクライブラリー （実行可能プログラムの一部）のファイル

ご購入時の設定では、「txt」「xls」「doc」など、一部の拡張子は表示されません。
ファイルの拡張子をすべて表示させたいときは、以下の手順に従って設定を変更してください。

1 （スタート）をクリックし、「コンピューター」をクリックする。
「コンピューター」画面が表示されます。

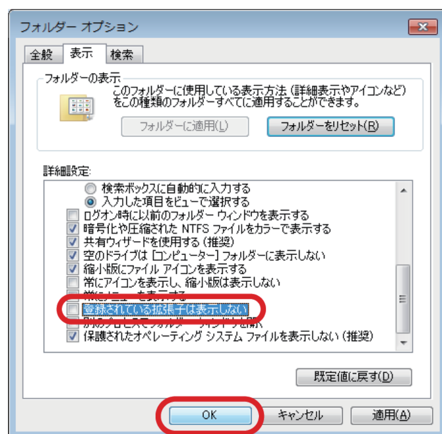
2 「整理」をクリックし、「フォルダーと検索のオプション」をクリックする。



「フォルダーオプション」画面が表示されます。

3 「表示」タブをクリックし、「登録されている拡張子は表示しない」が表示されるまで「詳細設定」欄を下にスクロールする。

4 「登録されている拡張子は表示しない」をクリックしてチェックマークを外し、[OK]をクリックする。



5 画面右上の をクリックして「コンピューター」画面を閉じる。

悪質なコンピューターウイルスやスパイウェアなどからパソコンを守りたい

コンピューターウイルスとは､意図的に作成された悪質なプログラムの一種です｡また､スパイウェアとは、気付かないうちにパソコンに侵入し、パソコンに保存されている情報や操作の履歴を無断で第三者に漏らしてしまうソフトウェアのことです。これらのコンピューターウイルスやスパイウェアなど悪意のあるソフトウェアを総称して｢マルウェア｣といいます。パソコンがマルウェアに感染すると､ハードディスク内のデータが破壊されたり､外部からパソコンを操作されたりなど､さまざまな被害が生じます。また最近ではこうしたマルウェアに加えて、メールを利用した架空請求や Web サイト上でのカード番号や ID など個人情報の盗用など複合型の犯罪も多いため、さまざまな対策が必要です。パソコンを守るためのセキュリティ対策には次のような方法があります。

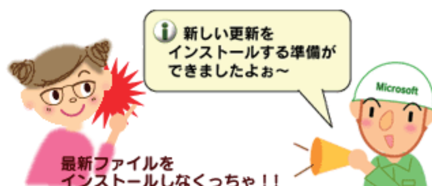


ご参考

- ここでご紹介する機能を使うためには、インターネットへの接続が必要です。

●「Windows の自動更新」を有効にする

｢Windows の自動更新｣は、｢Windows Update｣を自動的に実行する機能です。｢Windows Update｣はマイクロソフト社が提供するサポート機能で、インターネット経由で Windows の更新プログラムをインストールすることができます。｢WindowsUpdate｣を実行すると、ウイルスの侵入や不正アクセスなどの入り口となる｢セキュリティホール｣と呼ばれる Windows の問題点が自動的に修復されます。Windows を常に最新の状態に保つために｢自動更新｣を｢有効｣に設定しておきましょう。Windows のセットアップ時に Windows を自動的に保護する設定で｢推奨設定を使用します｣を選択すると､｢Windows の自動更新｣は｢有効｣に設定され､｢重要な更新｣がある場合は、更新プログラムが自動的にダウンロードされ、インストールされます。



｢Windows の自動更新｣が｢有効｣に設定されていない場合は、アクションセンターに｢Windows Update｣のメッセージが表示されます。アクションセンターに確認が必要なメッセージがあるときは、タスクバーの通知領域に が表示されます。

●セキュリティ対策ソフトをアップデートする

新種のマルウェアに対応するためには、セキュリティ対策ソフトを定期的にアップデートして、最新の状態にしておく必要があります。このパソコンには、セキュリティ対策ソフト「ウイルスバスター 2009」が搭載されています。



「ウイルスバスター 2009」は、ユーザー登録すると、アップデート機能が有効になり、以降 90 日間無料（通信費はお客様の負担になります）でアップデートできます。


ご参考

- 「ウイルスバスター 2009」は 90 日版（無料お試し版）です。90 日の試用期間が過ぎると、ウイルスバスターの全ての機能が利用できなくなり、最新のセキュリティ対策を実現することができなくなります。試用期間後も引き続き利用するためには製品版を購入してください。

●メールの添付ファイルは、開く前にウイルス検査をする

●知らない人からのメールは不用意に開かない

●怪しい画像やリンクはクリックしない

メールやメールに添付されたファイルからウイルスに感染してしまうこともあります。知らない差出人からのメールやタイトルが不審なものなど、怪しいなと思ったメールやその添付ファイルは開かない、添付ファイルを開く前にウイルスチェックをする、といった対策を講じることが大切です。



また最近では、本物の企業を装って送ったメールに埋め込んだ画像や URL をクリックさせてフィッシングサイトへアクセスさせるものもあります。画像や URL をクリックする場合には十分な注意が必要です。



●インターネットからダウンロードしたり、ほかから入手したファイルは、開く前にウイルス検査をする

信頼できないサイトや入手元が不明なCD-ROMなどは、ウイルスに感染する危険性が高いので、注意してください。インターネット上のファイルをダウンロードするときにはファイルのウイルスチェックをしてください。

● Webサイト上で個人情報を入力するときには安全性を確認する

検索エンジンの検索結果をクリックしてアクセスしたWebサイトがフィッシングサイトのこともあります。アクセスしているWebサイトの安全性を十分確認し、IDやパスワード、クレジットカードの情報などを入力するときには、送受信時のSSLを確認してください。このパソコンには、ホームページのリンク先が安全かどうかを確認できる**「マカフィー・サイトアドバイザプラス」**（☞39ページ）が搭載されています。



●ソフトウェアのセキュリティ機能を活用する

- 「Windows Live メール」／「Outlook 2007」には迷惑メールをブロックする機能があります。
- 「Internet Explorer」のセキュリティレベルを適切（「中」レベル以上）に設定してください。
- 「Micorsoft Office Word」や「Microsoft Office Excel」のファイルを扱うときは、マクロ機能の自動実行を無効にしてください。設定方法については、それぞれのソフトウェアのヘルプなどを参照してください。



●ソフトウェアの修正プログラムを入手して更新する

上記のようなセキュリティ対策を実行していても、セキュリティホール（セキュリティ上の弱点）のあるソフトウェアを使用していると、ウイルスに感染してしまうことがあります。ソフトウェアのセキュリティホールが発見された場合は、そのソフトウェアの製造元から、修正プログラムなどのセキュリティ対策が提供されます。特にインターネットに関連するソフトウェアについては製造元のホームページを定期的にチェックするなどして、必要な場合はセキュリティホールを修正するプログラムを使ってアップデート（更新）してください。

ウイルスチェックをしたい

「ウイルスバスター 2009」を使ってウイルスチェックができます。



ご注意

- 「ウイルスバスター 2009」は、90 日版（無料お試し版）です。試用期間が過ぎると、すべての機能が利用できなくなります。試用期間終了後も継続して利用するときは、試用期間内にオンラインショップにアクセスし、製品版を購入してください。

1 タスクバーの をクリックし、 （ウイルスバスターアイコン）をダブルクリックする。

「ウイルスバスター 2009」のメイン画面が表示されます。

2 [検索開始] をクリックする。



検索が始まります。

検索中は「検索進行状況」画面が表示されます。

ご購入時の設定では、検索の結果何も見つからなければ、「検索進行状況」画面は、検索が終了すると自動的に閉じます。

検索結果が表示された場合は、内容を確認し、[閉じる]をクリックします。

ウイルスやスパイウェアが見つかった場合には、画面の指示に従います。詳しくはヘルプを参照してください。

3 画面右上の をクリックして「ウイルスバスター 2009」のメイン画面を閉じる。



ご参考

- 「ウイルスバスター 2009」は最新の状態で利用してください。「ウイルスバスター 2009」の状態は、 をダブルクリックして表示されるメイン画面で確認できます。詳しくは、**「「ウイルスバスター 2009」が最新の状態になっているか知りたい」**（☞ 次ページ）を参照してください。

「ウイルスバスター 2009」が最新の状態になっているか知りたい

「ウイルスバスター 2009」の状態は、タスクバーの をクリックし、 または をダブルクリックして表示される「ウイルスバスター 2009」のメイン画面で確認できます。
「保護されています」と表示されていれば、「ウイルスバスター 2009」は最新の状態になっています。
「アップデート機能を利用できません」と表示されている場合は、アップデート機能を有効にしてください。また、「アップデートされていません」と表示されている場合は、手動でアップデートして「ウイルスバスター 2009」を最新の状態にしてください。

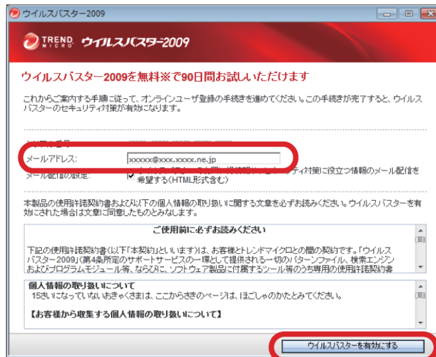
●アップデート機能を有効にする

1 「現在の状況」のメッセージ欄の[有効にする]をクリックする。



オンラインユーザー登録の画面が表示されます。

2 メールアドレス欄にメールアドレスを入力し、使用許諾契約書と「個人情報の取扱について」の内容を確認し、同意される場合は[ウイルスバスターを有効にする]をクリックする。



完了画面が表示されたら、「ウイルスバスター 2009」の設定は完了です。

3 [閉じる]をクリックする。
「ウイルスバスター 2009」のメイン画面に戻ります。
「オンラインユーザ登録」欄の表示が無償アップデートの使用期限に変わります。

4 画面右上の をクリックして「ウイルスバスター 2009」のメイン画面を閉じる。



ご参考

- 「ウイルスバスター 2009」のアップデート機能が有効になった後、インターネットに接続されていれば、3 時間ごとにアップデートを確認し、最新の検索エンジンやパターンファイルがある場合は自動的にアップデートされます。
- その他の使い方や詳細を知りたいときは
「ヘルプ」を参照してください。ヘルプは、「ウイルスバスター 2009」のメイン画面右上の［ヘルプとサポート］をクリックして、「ヘルプ」をクリックすると表示されます。



●手動でアップデートする

「ウイルスバスター 2009」のメイン画面に「アップデートされていません」と表示されている場合は、「ウイルスバスター 2009」を手動でアップデートします。

1 「現在の状況」のメッセージ欄の［アップデート開始］をクリックする。



アップデートが開始されます。

2 アップデートが完了したら、画面右上の ✕ をクリックして「ウイルスバスター 2009」のメイン画面を閉じる。

ホームページのリンク先が安全かどうか知りたい

Google、Yahoo!、MSN、AOL、Ask.com で検索した Web サイトが安全かどうかを「マカフィー・サイトアドバイザプラス」を使って確認できます。

「マカフィー･サイトアドバイザプラス」は、個人情報を盗み出したり、コンピューターを攻撃する Web サイトでないかどうかを確認するもので、アダルトサイトや出会い系サイト、暴力残虐画像を集めたサイトなどの有害とされるホームページへのアクセスを制限するものではありません。有害ホームページの制限には、「i- フィルター 5」（☞42 ページ）をお使いください。

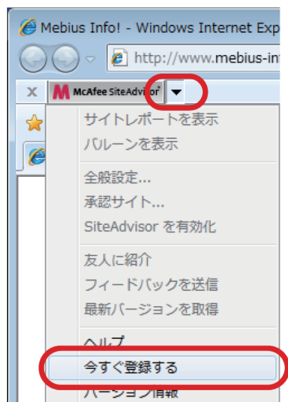
●「マカフィー・サイトアドバイザプラス」を使えるようにする



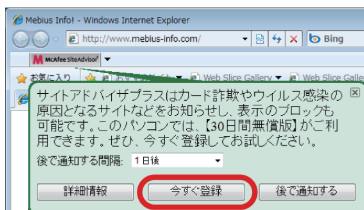
ご注意

- 「マカフィー・サイトアドバイザプラス」は、ユーザー登録後 30 日間の使用期間限定版です。無料期間終了後も継続して利用するときは、「更新手続き」（有償）から製品版の購入申し込みが必要です。

1 「Internet Explorer」を起動し、画面左上の ▾ をクリックし、「今すぐ登録する」をクリックする。



「McAfee SiteAdvisor」の画面が表示されているときは、［今すぐ登録］をクリックします。



ユーザー登録画面が表示されます。

2 姓、名、E メールアドレス、パスワードを入力する。

パスワードは、半角英数字で8文字以上32文字以内で入力してください。また、必ずアルファベット（A−Z）と数字（0−9）を1文字以上含めてください。特殊文字は使用できません。

3 ユーザー登録画面右側に表示されている使用許諾契約書の内容をよく読み、同意される場合は「同意する」をクリックする。
同意しないと「マカフィー・サイトアドバイザプラス」は使えません。

4 [次へ]をクリックする。
ユーザー登録が完了すると「アクティベーション完了」画面が表示されます。

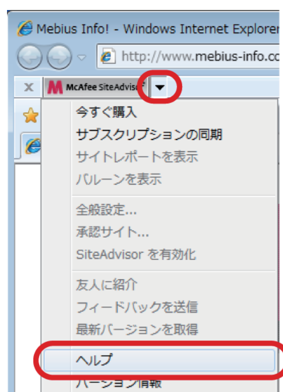
5 [完了]をクリックする。



ご参考

- **検索されたホームページの安全性を確認するには**
  サイト名の右側に表示される 4 種類の評価アイコンで確認できます。
  ：安全であることを確認
  ：何らかの危険性を確認
  ：危険であることを確認
  ：未調査のサイト

- **その他の使い方や詳細を知りたいときは**
  「ヘルプ」を参照してください。
  ヘルプは「Internet Explorer」画面左上の ▼ をクリックし、「ヘルプ」をクリックすると表示されます。



- 30 日間のご利用期間が終了するとご利用期間終了の案内が表示されます。
  継続して利用するときは「更新の手続き」から製品版を購入してください。ご利用にならないときは「マカフィー・サイトアドバイザプラス」をアンインストールしてください。

子どもに有害なホームページを見せないようにしたい

アダルトサイトや出会い系サイト、暴力残虐画像を集めたサイトなどの有害とされるホームページへのアクセスを制限するためのソフトをフィルタリングソフトといいます。
フィルタリングソフトの「i- フィルター 5」を使って子供に見せたくないホームページへのアクセスを制限することができます。また、インターネットを利用する人に応じたフィルター強度が設定できるので、利用者を切り替えて使用することができます。
「i- フィルター 5」を使えるようにするには、「i- フィルター 5」のインストールと初期設定が必要です。「管理者」アカウントでログオンし、以下の手順で「i- フィルター 5」のインストールと初期設定をしてください。

● 「i- フィルター 5」をインストールする



ご注意

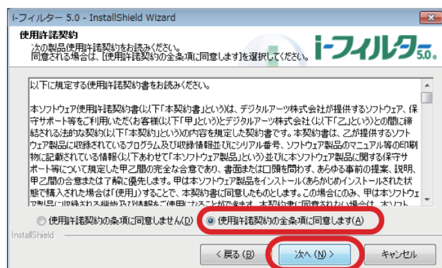
- 「i- フィルター 5」は、初期設定後 30 日間限定の体験版です。無料期間終了後も継続して利用するときは、「継続利用」（有償）の申し込みが必要です。利用期限は「i- フィルター 5」の「設定画面」の左上に表示されます。

1 デスクトップ上の （「i- フィルター 5 インストール」アイコン）をダブルクリックする。
「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。

2 [はい]をクリックする。
「i-フィルター 5.0インストール」画面が表示されます。

3 [次へ]をクリックする。
「使用許諾契約」が表示されます。

4 内容を読み、同意される場合は「使用許諾契約の全条項に同意します」をクリックし、[次へ]をクリックする。



同意しないと「i-フィルター 5」をインストールすることはできません。

セットアップタイプ選択画面が表示されます。

5 [次へ]をクリックする。
「インストール準備の完了」画面が表示されます。

6 [インストール]をクリックする。
「i-フィルター 5」のインストールが開始されます。
インストールが完了するとデスクトップに が表示されます。
続いて初期設定（セットアップ）をします。

●「i- フィルター 5」の初期設定をする

「i- フィルター 5」の初期設定をするときは、インターネットへの接続が必要です。

1 デスクトップ上の （「i- フィルター 5」アイコン）をダブルクリックする。
「使用許諾契約書」画面が表示されます。

2 内容を読み、同意する場合は［「i- フィルター」を使ってみる］をクリックする。



同意しないと「i-フィルター 5」はお使いいただけません。
「「i-フィルター 5」の開始」画面が表示されます。

3 ［次へ］をクリックする。
「無料お試し版お申し込み」画面が表示されます。

4 画面の指示に従って、E-Mail アドレス、お名前、管理パスワードを入力し、個人情報の取り扱いについて同意される場合は「同意する」をクリックし、［確認画面］をクリックする。
パスワードは、半角英数字で15文字内で入力してください。大文字、小文字が区別されます。
「i-フィルター 5」は、管理パスワードを入力しなくても使用できますが、パスワードを設定することをお勧めします。
個人情報の取り扱いについては、同意しないと「i-フィルター 5」はお使いいただけません。

「お申し込み内容の確認」画面が表示されます。

5 ［登録する］をクリックする。



「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。

6 ［はい］をクリックする。
「お客様情報登録完了」画面が表示されます。

7 内容を確認し、画面を下にスクロールして［完了］をクリックする。
タスクバーの通知領域内に が表示されます。

 ご参考

● **利用中のフィルタリング設定を変更するときは**

① タスクバーの をクリックし、 をクリックし、「設定画面」をクリックする。
② 「管理パスワード入力」画面で、管理パスワードを入力して [OK] をクリックする。
③ 「フィルタリング設定」をクリックする。
現在のフィルター利用者の情報が表示されるので、フィルターの強度などの設定を変更します。

● **「i- フィルター 5」を終了するときは**

「i- フィルター 5」は一度設定すると、通常 Windows の起動と同時に自動起動し常駐するアプリケーションソフトです。「i- フィルター 5」を終了するときは以下の手順で操作します。

① タスクバーの をクリックし、 をクリックし、「設定画面」をクリックする。
② 「管理パスワード入力」画面で、管理パスワードを入力して [OK] をクリックする。
③ 「設定画面」の［システム設定］をクリックする。
④ 「「i- フィルター」の停止」タブをクリックし、［i- フィルターを停止させる］をクリックする。
⑤ 確認画面で、［はい］をクリックする。
⑥ 「ユーザーアカウント制御」画面で、［はい］をクリックする。
「「i- フィルター 5.0」を停止しました」と表示されます。
⑦ ［OK］をクリックする。

● **終了した「i- フィルター 5」を再起動するときは**

① （スタート）をクリックし、「すべてのプログラム」－「i- フィルター 5.0」－「i フィルター 5.0」の順にクリックする。
② 「ユーザーアカウント制御」画面で、［はい］をクリックする。
タスクバーの通知領域内に が表示されます。

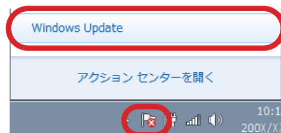
● **その他の使い方や詳細を知りたいときは**

「ヘルプ」を参照してください。ヘルプはタスクバーの をクリックし、 をクリックし、「サポート」－「ヘルプ表示」をクリックすると表示されます。

Windows を自動更新したい

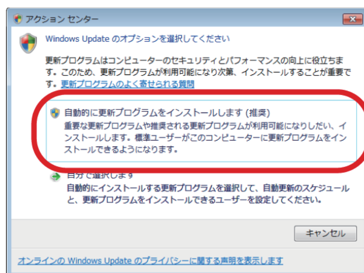
Windows のセットアップをしたときに、Windows を自動的に保護する設定で「推奨設定を使用します」を選択した場合は、すでに自動更新が有効に設定されています。
その後に設定を変更した場合やセットアップ時に「後で確認します」を選択した場合は、「アクションセンター」にメッセージが表示されています。
Windows の自動更新は以下の手順で有効にすることができます。

1 タスクバーの をクリックし、「Windows Update」をクリックする。



「アクションセンター」画面が表示されます。

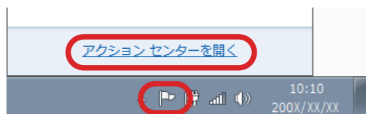
2 「自動的に更新プログラムをインストールします」をクリックする。



Windows が最新の状態になっているか確認したい

Windows が最新の状態になっているかどうかは、タスクバーのアクションセンターアイコンで確認できます。
ダウンロードされた更新プログラムがあるときや重要なメッセージがある場合は、タスクバーのアクションセンターアイコンは になっています。

タスクバーの をクリックし、「アクションセンターを開く」をクリックすると、メッセージの内容が確認できます。



データの引越し

今まで使っていたパソコンからデータを移したい

今まで使っていたパソコンのデータをこのパソコンに転送するには、「Windows 転送ツール」を使用する方法や USB メモリーなどにデータをコピーして移行する方法などがあります。転送元のパソコンやお使いのネットワーク環境に応じて、使用する方法を選択してください。

ここでは大まかな手順を説明しています。相手側のパソコンの OS やデータの転送方法によって具体的な手順は異なるので、表示される画面の指示に従って操作してください。



ご注意

- データ転送が途中で止まってしまうことを避けるため、AC アダプターを接続してください。

●「Windows 転送ツール」を使って転送する

Windows 7 の「Windows 転送ツール」が利用できる OS

・Windows XP SP2/SP3
・Windows Vista SP1/SP2
・Windows 7

「最新の Service Pack が必要です」というメッセージが表示されたときは、転送元のパソコンで Windows Update を実行し、Service Pack をインストールしてください。

データを転送するときには、あらかじめ転送元のパソコンとこのパソコンを同じネットワーク上に接続しておくか、専用の転送ツールケーブル（市販品）で接続しておく、あるいは、転送データ保存用の大容量のディスクを準備することが必要です。

「Windows 転送ツール」で転送できるデータ

・ユーザーアカウント
・ファイルとフォルダー
・写真、音楽、著作権保護されていないビデオ
・プログラム設定　※ただし、プログラムそのものは転送できません。
・インターネット設定と「お気に入り」、インターネットの接続設定、および Cookie
・電子メールの設定、アドレス帳、およびメール

データ転送は大まかに以下のような流れで操作します。相手側のパソコンのOSやデータの転送方法によって具体的な手順は異なるので、「Windows 転送ツール」の画面表示に従って操作してください。

①	**「Windows 転送ツール」を起動する。**

⇩

②	**転送方法を選択する。** 専用の転送ツールケーブル（市販品）、ネットワーク、外付けハードディスクやUSBメモリーなどが使用できます。

⇩

③	**転送元のパソコンで「Windows 転送ツール」を起動する。** 転送元のパソコンがWindows Vista、Windows XPの場合は、あらかじめ、このパソコンで「Windows 転送ツール」を作成しておき、転送元のパソコンにインストールする。

⇩

④	**転送元のパソコンとこのパソコンを接続する。または、転送元のパソコンにデータ保存用の外付けハードディスク、USBメモリーなどを接続する。**

⇩

⑤	**転送データを選択する。** 外付けハードディスクやUSBメモリーを使用する場合は、転送データをそこへ保存する。

⇩

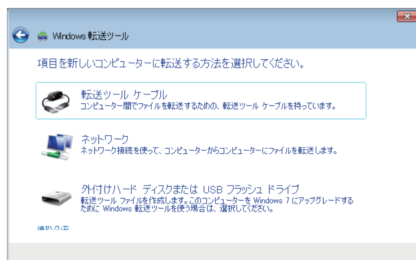
⑥	**選択したデータをこのパソコンに転送する。**

「Windows 転送ツール」を作成してデータ転送する場合は以下の手順で操作してください。

1 （スタート）をクリックし、「すべてのプログラム」－「アクセサリ」－「システムツール」－「Windows 転送ツール」の順にクリックする。
「Windows転送ツール」が起動します。

2 ［次へ］をクリックする。
「項目を新しいコンピューターに転送する方法を選択してください」と表示されます。

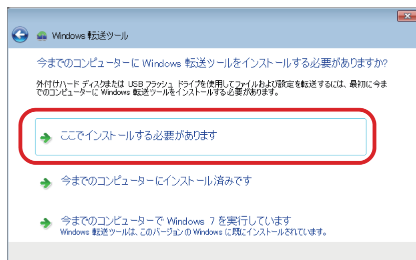
3 転送方法を選択する。



現在使用しているコンピューターの選択画面が表示されます。

4 「これは新しいコンピューターです」をクリックする。
手順**3**で「外付けハードディスクまたはUSBフラッシュドライブ」を選択した場合は、「Windows転送ツールで、今までのコンピューターのファイルを外付けハードディスクまたはUSBフラッシュドライブに保存済みですか？」と表示されるので、［いいえ］をクリックします。
「今までのコンピューターにWindows転送ツールをインストールする必要がありますか」と表示されます。

5 「ここでインストールする必要があります」をクリックする。



「今までのコンピューターにインストール済みです」、「今までのコンピューターでWindows7を実行しています」をクリックしたときは、手順**8**へ進み、転送データを収集します。

6 画面の指示に従って、このパソコンで「Windows 転送ツール」を作成する。

7 このパソコンでの作業をいったん止めて、転送元のパソコンに「Windows 転送ツール」をインストールする。

8 転送元のパソコンで転送するデータを選択し、このパソコンに転送する。
お使いになる転送方法によって手順が異なります。画面の指示に従って操作してください。



ご参考

- データ転送が完了すると、「Windows 転送ツールレポート」が利用できます。転送ツールレポートでは、転送されたデータの内容の確認や、新しいコンピューターにインストールが必要なプログラムなどが確認できます。

● USB メモリーやメモリーカードを使ってデータを移行する

USB メモリーやメモリーカードなどに転送元のデータをコピーしてこのパソコンに移行します。
「Windows 転送ツール」を使ったデータ移行ができない場合も、この方法で必要なデータを移行します。その場合、「Internet Explorer」のお気に入りや「Microsoft Outlook Express」のアドレス帳のデータなどは、それぞれのソフトウェアでエクスポート（書き出し）し、このパソコンにインポート（読み込み）する必要があります。
なお、データ転送に使用する外部記録媒体は、このパソコンと転送元のパソコンの両方で使えるものを用意してください。

 **ご参考**

- 「Internet Explorer」のデータのエクスポート／インポートについては、**「今まで使っていたパソコンから「Internet Explorer」の「お気に入り」をこのパソコンに移したい」**（☞ 次ページ）を参照してください。
- 「Microsoft Outlook Express」や「Windows メール」のアドレス帳のデータの転送については、**「「Microsoft Outlook Express」や「Windows メール」のアドレス帳をこのパソコンで使いたい」**（☞52 ページ）を参照してください。

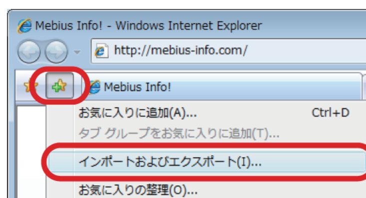
今まで使っていたパソコンから「Internet Explorer」の「お気に入り」をこのパソコンに移したい

「Internet Explorer」の「お気に入り」は、「Internet Explorer」の「インポートおよびエクスポート」を使って移行します。
ここでは例として、USB メモリーを使って「Internet Explorer 7」の「お気に入り」をこのパソコンへ移行する方法を説明します。

●転送元のパソコンで「お気に入り」をエクスポートする

転送元のパソコンには、あらかじめデータ保存用の USB メモリーをセットしておいてください。

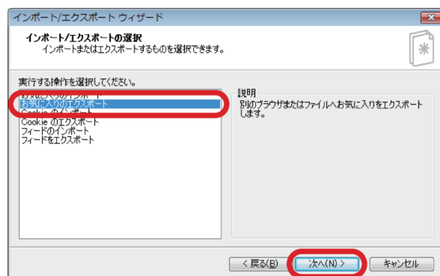
1 「Internet Explorer 7」を起動し、 をクリックし、「インポートおよびエクスポート」をクリックする。



「インポート/エクスポートウィザード」画面が表示されます。

2 [次へ]をクリックする。
「インポート/エクスポートの選択」画面が表示されます。

3 「お気に入りのエクスポート」をクリックし、[次へ]をクリックする。

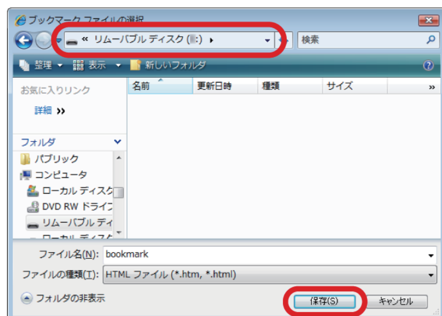


「お気に入りのエクスポート元のフォルダ」の選択画面が表示されます。

4 [次へ]をクリックする。
エクスポート先（エクスポートしたデータの保存場所）の選択画面が表示されます。

5 [参照]をクリックする。
「ブックマークファイルの選択」画面が表示されます。

6 ファイルの保存場所を USB メモリーにして、[保存] をクリックする。



このときファイル名は「bookmark」となっています。

「ブックマークファイルの選択」画面でUSBメモリーにファイルを保存するには、以下の手順で操作してUSBメモリーのフォルダーを開きます。
① フォルダーが非表示になっている場合は、「ブックマークファイルの選択」画面で「フォルダの表示」をクリックする。
② 画面左側の「フォルダ」をクリックし、「コンピュータ」をクリックする。
画面右側に「コンピュータ」のフォルダーが開きます。
③ USBメモリーに該当するデバイスをダブルクリックする。

7 [次へ] をクリックする。
「インポート/エクスポートウィザードの完了」画面が表示されます。

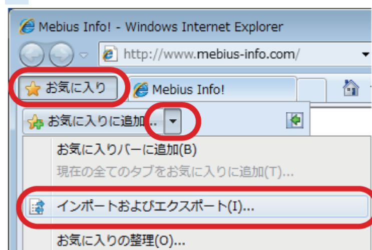
8 [完了] をクリックする。
「お気に入りのエクスポートに成功しました」と表示されます。

9 [OK] をクリックする。
保存先のUSBメモリーにファイルが作成されます。

●このパソコンに「お気に入り」をインポートする

このパソコンには、あらかじめ転送元の「お気に入り」データを保存した USB メモリーをセットしておいてください。

1 「Internet Explorer」を起動し、 お気に入り をクリックし、[お気に入りに追加] の右横の ▾ をクリックして、「インポートおよびエクスポート」をクリックする。



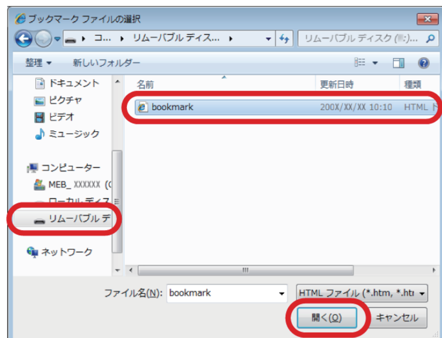
「どのようにして、ブラウザー設定をインポート、またはエクスポートしますか?」と表示されます。

2 「ファイルからインポートする」が選択されていることを確認し、[次へ] をクリックする。
「何をインポートしますか?」と表示されます。

3 「お気に入り」をクリックし、[次へ]をクリックする。
「どこからお気に入りをインポートしますか?」と表示されます。

4 [参照]をクリックする。
「ブックマークファイルの選択」画面が表示されます。

5 「お気に入り」データを保存したUSBメモリーを指定し、「bookmark」ファイルをクリックして、[開く]をクリックする。



USBメモリーを指定するには、「ブックマークファイルの選択」画面左側の一覧から、「コンピューター」をクリックし、USBメモリーに該当するデバイスをクリックします。

6 [次へ]をクリックする。
「お気に入りのインポート先フォルダーを選択」画面が表示されます。

7 [インポート]をクリックする。
インポートが完了すると、「これらの設定を正しくインポートしました」と表示されます。

8 [完了]をクリックする。

「Microsoft Outlook Express」や「Windows メール」のアドレス帳をこのパソコンで使いたい

「Microsoft Outlook Express」や「Windows メール」で使用していたアドレス帳データをこのパソコンに取り込んで使うことができます。メールソフトによって手順が異なります。お使いのメールソフトを選択して手順を確認してください。

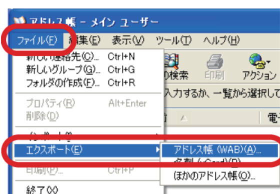
- **「Microsoft Outlook Express」のアドレス帳を「Windows Live メール」に移行する**
- **「Microsoft Outlook Express」のアドレス帳を「Outlook 2007」に移行する**
- **「Windows メール」のアドレス帳を「Windows Live メール」に移行する**
- **「Windows メール」のアドレス帳を「Outlook 2007」に移行する**

ここでは、どの場合もアドレス帳データの移行にはUSBメモリーを使用しています。操作前に転送元のパソコンにはUSBメモリーをセットしておいてください。

●「Microsoft Outlook Express」のアドレス帳を「Windows Live メール」に移行する

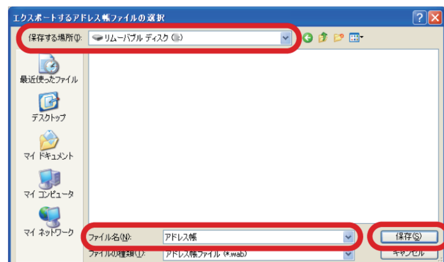
1 転送元のパソコンで「Microsoft Outlook Express」を起動し、メニューバーの「ツール」－「アドレス帳」をクリックする。
「アドレス帳」が表示されます。

2 メニューバーの「ファイル」をクリックし、「エクスポート」－「アドレス帳（WAB）」をクリックする。



「エクスポートするアドレス帳ファイルの選択」画面が表示されます。

3 データの保存場所を USB メモリーにして、ファイル名を付け、[保存]をクリックする。



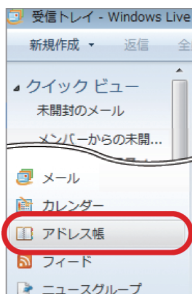
「アドレス帳が次の場所にエクスポートされました」と表示されます。

4 [OK]をクリックする。
続けて、このパソコンにアドレス帳データをインポートします。

5 転送元のパソコンから USB メモリーを取り外し、このパソコンにセットする。
「自動再生」画面が表示されます。

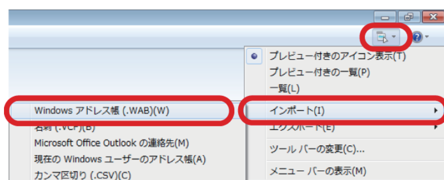
6 をクリックして「自動再生」画面を閉じる。

7 「Windows Live メール」を起動し、「アドレス帳」をクリックする。



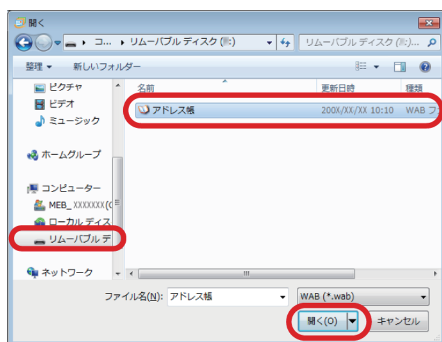
「アドレス帳」が表示されます。

8 ツールバーの をクリックし､｢インポート｣－｢Windows アドレス帳(.WAB)｣をクリックする。



｢開く｣ 画面が表示されます。

9 画面左側の｢コンピューター｣－｢リムーバブルディスク｣をクリックし、アドレス帳ファイル(WAB)をクリックし､[開く]をクリックする。



アドレス帳データがインポートされ、インポートが完了すると ｢インポートが完了しました。・・・｣ と表示されます。

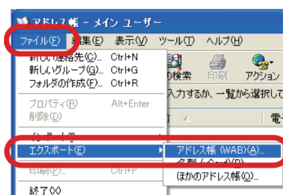
10 [OK]をクリックする。

●｢Microsoft Outlook Express｣ のアドレス帳を ｢Outlook 2007｣ に移行する

ここでは｢Microsoft Outlook Express｣のアドレス帳データをいったん｢Windows メール｣ のアドレス帳に取り込み、その後 ｢Outlook 2007｣ にインポートする方法を説明します。

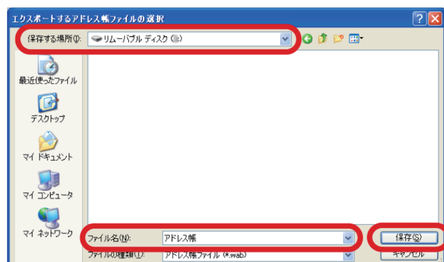
1 転送元のパソコンで｢Microsoft Outlook Express｣を起動し、メニューバーの｢ツール｣－｢アドレス帳｣をクリックする。
｢アドレス帳｣ が表示されます。

2 メニューバーの｢ファイル｣をクリックし､｢エクスポート｣－｢アドレス帳(WAB)｣をクリックする。



｢エクスポートするアドレス帳ファイルの選択｣ 画面が表示されます。

3 データの保存場所を USB メモリーにして、ファイル名を付け、[保存]をクリックする。



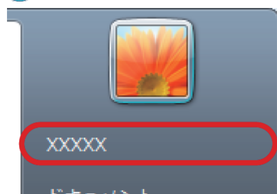
「アドレス帳が次の場所にエクスポートされました」と表示されます。

4 [OK]をクリックする。
続けて、このパソコンにアドレス帳データをインポートします。

5 転送元のパソコンから USB メモリーを取り外し、このパソコンにセットする。
「自動再生」画面が表示されます。

6 をクリックして「自動再生」画面を閉じる。

7 (スタート)をクリックし、ユーザー名のフォルダーをクリックする。



(XXXXXには設定しているユーザー名が表示されています)

ユーザーフォルダーが開きます。

8 「アドレス帳」フォルダーをダブルクリックする。
「アドレス帳」が表示されます。

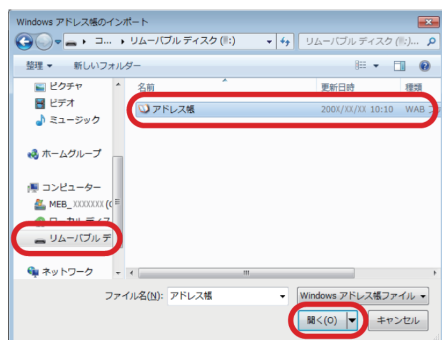
9 ツールバーの[インポート]をクリックする。



「アドレス帳にインポート」画面が表示されます。

10 「Windows アドレス帳ファイル(Outlook Express アドレス帳)」をクリックし、[インポート]をクリックする。
「Windows アドレス帳のインポート」画面が表示されます。

11 アドレス帳データを保存したUSBメモリーを指定し、アドレス帳ファイル(WAB)をクリックして、[開く]をクリックする。



USBメモリーを指定するには、「Windowsアドレス帳のインポート」画面左側の一覧から、「コンピューター」をクリックし、USBメモリーに該当するデバイスをクリックします。

インポートが完了すると「アドレス帳は、以前の場所および形式から、Windowsアドレス帳フォルダにインポートされました」と表示されます。

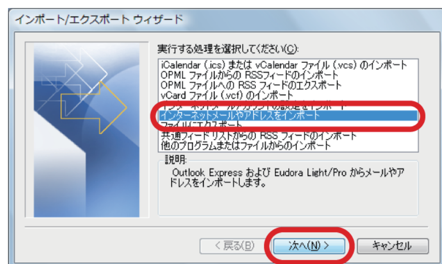
12 [OK]をクリックする。

13 [閉じる]をクリックする。

14 画面右上の ✕ をクリックして「アドレス帳」を閉じる。

15 「Outlook 2007」を起動し、メニューバーの「ファイル」をクリックし、「インポートとエクスポート」をクリックする。
「インポート/エクスポートウィザード」画面が表示されます。

16 「インターネットメールやアドレスをインポート」をクリックし、[次へ]をクリックする。



17 「Outlook Express 4x、5x、6x、またはWindows Mail」をクリックし、「メールのインポート」をクリックしてチェックマークを外し、[次へ]をクリックする。

18 必要に応じてオプションを選択し、[完了]をクリックする。
オプションは、インポート先に重複するデータがあった場合の処理を選択します。

重複するアイテムをインポートするアイテムと置換:
重複する連絡先がある場合、インポートするデータに上書きされます。

重複してもインポートする:
重複する連絡先があってもインポートし、既存の連絡先とインポートする連絡先の両方を残します。

重複するアイテムはインポートしない:
重複する連絡先はインポートしません。

インポートが完了すると、「インポートの概要」画面が表示されます。

19 ［受信トレイに保存］、または［OK］をクリックする。
［受信トレイに保存］をクリックすると、「インポートの概要」のレポートが受信トレイに保存されます。

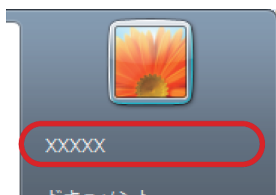


ご参考

- 「Microsoft Outlook Express」のアドレス帳データを CSV 形式に変換してエクスポートし、「Outlook 2007」にインポートする方法もあります。
CSV 形式は互換性が高いため、CSV で保管すると、CSV に対応している別のアプリケーションソフト上でもファイルを開くことができます。

●「Windows メール」のアドレス帳を「Windows Live メール」に移行する

1 転送元のパソコンで （スタート）をクリックし、ユーザー名のフォルダーをクリックする。



（XXXXXには設定しているユーザー名が表示されています）

ユーザーフォルダーが開きます。

2 「アドレス帳」フォルダーを右クリックし、「送る」から USB メモリーに該当するデバイス名をクリックする。
「アドレス帳」フォルダーがUSBメモリーにコピーされます。

3 画面右上の をクリックしてユーザーフォルダーを閉じる。
続けて、このパソコンの「Windows Liveメール」にアドレス帳をインポートします。

4 転送元のパソコンから USB メモリーを取り外し、このパソコンにセットする。
「自動再生」画面が表示されます。

5 「フォルダーを開いてファイルを表示」をクリックする。
USBメモリーのフォルダーが開きます。

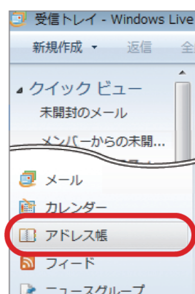
6 「アドレス帳」フォルダーを右クリックし、「コピー」をクリックする。

7 （スタート）をクリックし、ユーザー名のフォルダーをクリックする。
ユーザーフォルダーが開きます。

8 フォルダー内のアイコンなどが何もない場所で右クリックし、「貼り付け」をクリックする。
「フォルダーの上書きの確認」画面が表示されます。

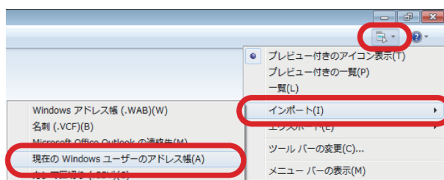
9 ［はい］をクリックする。
このとき、「アドレス帳」フォルダー内に同じ連絡先があると「ファイルのコピー」画面が表示されます。「コピーして置き換える」、「コピーしない」、「コピーするが両方のファイルを保持する」のいずれかを選択します。

10 「Windows Live メール」を起動し、「アドレス帳」をクリックする。



「アドレス帳」が表示されます。

11 ツールバーの をクリックし、「インポート」－「現在の Windows ユーザーのアドレス帳」をクリックする。



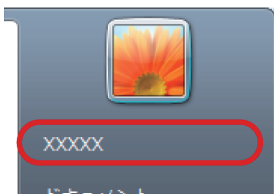
インポートが開始され、完了すると「インポートが完了しました。…」と表示されます。

12 [OK]をクリックする。

13 画面右上の をクリックして開いている画面を順に閉じる。

●「Windows メール」のアドレス帳を「Outlook 2007」に移行する

1 転送元のパソコンで (スタート)をクリックし、ユーザー名のフォルダーをクリックする。



(XXXXXには設定しているユーザー名が表示されています)

ユーザーフォルダーが開きます。

2 「アドレス帳」フォルダーを右クリックし、「送る」から USB メモリーに該当するデバイス名をクリックする。
「アドレス帳」フォルダーがUSBメモリーにコピーされます。

3 画面右上の をクリックしてユーザーフォルダーを閉じる。
続けて、このパソコンの「Outlook 2007」にアドレス帳をインポートします。

4 転送元のパソコンから USB メモリーを取り外し、このパソコンにセットする。
「自動再生」画面が表示されます。

5 「フォルダーを開いてファイルを表示」をクリックする。
USBメモリーのフォルダーが開きます。

6 「アドレス帳」フォルダーを右クリックし、「コピー」をクリックする。

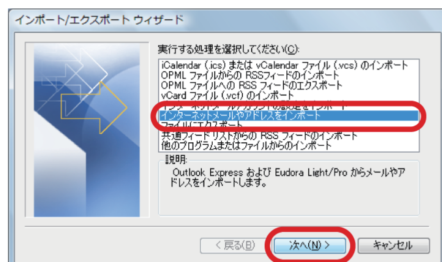
7 (スタート)をクリックし、ユーザー名のフォルダーをクリックする。
ユーザーフォルダーが開きます。

8 フォルダー内のアイコンなどが何もない場所で右クリックし、「貼り付け」をクリックする。
「フォルダーの上書きの確認」画面が表示されます。

9 [はい]をクリックする。
このとき、「アドレス帳」フォルダー内に同じ連絡先があると「ファイルのコピー」画面が表示されます。「コピーして置き換える」、「コピーしない」、「コピーするが両方のファイルを保持する」のいずれかを選択します。

10 「Outlook 2007」を起動し、メニューバーの「ファイル」をクリックし、「インポートとエクスポート」をクリックする。
「インポート/エクスポートウィザード」画面が表示されます。

11 「インターネットメールやアドレスをインポート」をクリックし、[次へ]をクリックする。



12 「Outlook Express 4x、5x、6x、または Windows Mail」をクリックし、「メールのインポート」をクリックしてチェックマークを外し、[次へ]をクリックする。

13 必要に応じてオプションを選択し、[完了]をクリックする。
オプションは、インポート先に重複するデータがあった場合の処理を選択します。

重複するアイテムをインポートするアイテムと置換:
　重複する連絡先がある場合、インポートするデータに上書きされます。

重複してもインポートする:
　重複する連絡先があってもインポートし、既存の連絡先とインポートする連絡先の両方を残します。

重複するアイテムはインポートしない:
　重複する連絡先はインポートしません。

インポートが完了すると、「インポートの概要」画面が表示されます。

14 [受信トレイに保存]、または[OK]をクリックする。
[受信トレイに保存]をクリックすると、「インポートの概要」のレポートが受信トレイに保存されます。



ご参考

- 「Windows メール」のアドレス帳データを CSV 形式に変換してエクスポートし、「Outlook 2007」にインポートする方法もあります。

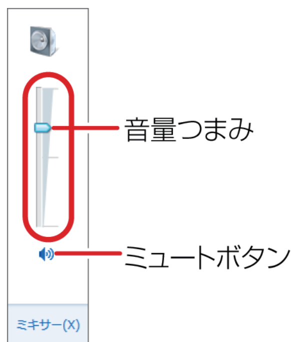
音量を調節したい

以下の方法で音量を調節できます。

●タスクバーのボリュームアイコンから調節する

1 画面右下のタスクバーの をクリックする。
音量調節画面が表示されます。

2 音量つまみを上下にドラッグして音量を調節する。



音を消したいときは、ミュートボタンをクリックします。

3 音量調節画面以外の場所をクリックして画面を閉じる。

●キーボードのキーを使って調節する

キーボードのキーを使って音量を調節することもできます。

1 **【Fn】**を押しながら**【F3】**、**【F4】**または**【F10】**を押す。
【Fn】＋**【F3】**（▼）：音量を下げます。
【Fn】＋**【F4】**（▲）：音量を上げます。
【Fn】＋**【F10】**（）：音を消します（ミュート）。もう一度押すと、元の音量に戻ります。

●再生ソフトで音量を調節する

ソフトウェアによっては、パソコンの音量設定よりソフトの音量設定が優先されることがあります。

例：「Windows Media Player」で音楽を聴いている場合

「Windows Media Player」の音量つまみを左右にドラッグします。



「Windows Media Player」のミュートボタンが のときは、ミュートになっています。 をクリックすると、ミュートが解除されます。

よく使う単語を簡単に入力したい

よく使う単語は単語登録しておくと、変換候補に表示されるようになります。

よく使う単語だけではなく、仕事での専門用語、難しい地名・人名など、通常では変換できない言葉も単語登録することで変換できるようになります。

PC-NJ70B

1 Microsoft IME 言語バーの （ツール）をクリックし、「単語 / 用例の登録」をクリックします。

「単語/用例の登録」画面が表示されます。

2 単語の「読み」と「語句」を入力し、［登録］をクリックします。

単語/用例の登録
単語の登録 用例の登録
単語
読み(R):
あどれす
語句(D):
http://www.sharp.co.jp/
品詞(P):
名詞
ユーザー コメント(C):
登録と同時に単語情報を送信する(S)
<<
登録(A) 閉じる 辞書ツール(T)...

「読み」に登録した文字をキーボードで入力して変換すると、「語句」に登録した単語が変換候補に表示されるようになります。

3 [閉じる]をクリックして「単語 / 用例の登録」画面を閉じます。



ご参考

- **「読み」を「あどれす」、「語句」を「http://www.sharp.co.jp/」と登録した場合：**



「あどれす」と入力し、**【変換】**（またはスペースキー）を押し、変換候補から登録した単語（「http://www.sharp.co.jp/」）を選択し、**【Enter】**を押すと文字が確定します。

- 「Internet Explorer」がアクティブ（操作可能な状態）になっていると、Microsoft IME 言語バーの をクリックしてもメニューが表示されません。「Internet Explorer」以外のウィンドウ、またはタスクバーやデスクトップ上のアイコンなどが何もない場所をクリックしてから、 をクリックしてください。

1 「IME 2007」の言語バーの(ツール)をクリックし、「単語の登録」をクリックする。
「単語の登録」画面が表示されます。

2 「単語」と「よみ」を入力し、[登録]をクリックする。

単語の登録
単語の登録
単語(D):
http://www.sharp.co.jp/
よみ(R):
あどれす
ユーザー コメント(C):
品詞(P):
正しい品詞を選択すると、より高い変換精度を得られます。
名詞(N) 短縮よみ(W)
人名(E) 顔文字(O)
姓のみ(Y) その他(H)
名のみ(F) 名詞・さ変形動
姓と名(L)
地名(M)
登録と同時に単語情報を送信する(S)
辞書ツール(T)... 登録(A) 閉じる

「よみ」に登録した文字をキーボードで入力して変換すると、「単語」に登録した単語が変換候補に表示されるようになります。

3 [閉じる]をクリックして「単語の登録」画面を閉じる。



ご参考

- **「よみ」を「あどれす」、「単語」を「http://www.sharp.co.jp/」と登録した場合：**



「あどれす」と入力し、**【変換】**（またはスペースキー）を押し、変換候補から登録した単語（「http://www.sharp.co.jp/」）を選択し、**【Enter】**を押すと、文字が確定します。

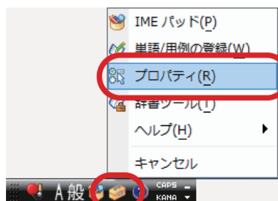
- 「Internet Explorer」がアクティブ（操作可能な状態）になっていると、IME 2007言語バーのをクリックしてもメニューが表示されません。「Internet Explorer」以外のウィンドウ、またはタスクバーやデスクトップ上のアイコンなどが何もない場所をクリックしてから、をクリックしてください。

顔文字「(^_^;)」を入力したい

PC-NJ70B

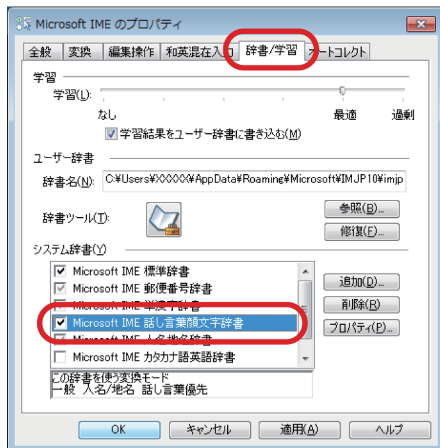
メールでよく使われる顔文字は、「話し言葉顔文字辞書」を使うと、「かお」「かおもじ」などと入力して変換するだけで「(^_^;)」や「m(__)m」などに変換することができます。

1 Microsoft IME 言語バーの (ツール)をクリックし、「プロパティ」をクリックする。



「Microsoft IMEのプロパティ」画面が表示されます。

2 「辞書/学習」タブをクリックし、「システム辞書」欄の「Microsoft IME 話し言葉顔文字辞書」のチェックボックスをクリックしてチェックマークを付ける。

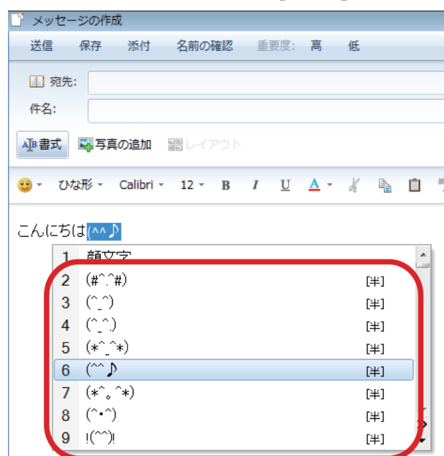


チェックマークが ではなく、 になっていることを確認してください。

3 [OK]をクリックする。

4 メールのメッセージ作成画面などの顔文字を入力したい場所で、「かお」、「かおもじ」、「にこにこ」、「あせ」などと入力して変換する。

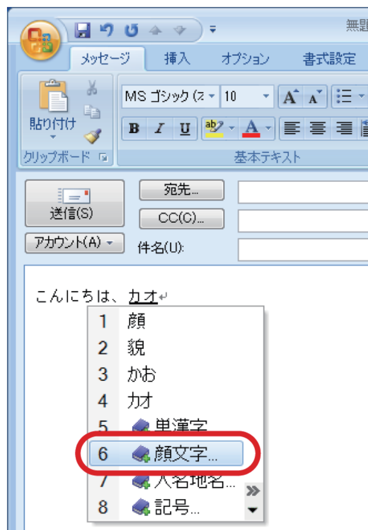
5 変換候補から顔文字を選んで、**【Enter】**を押す。



PC-NJ80B

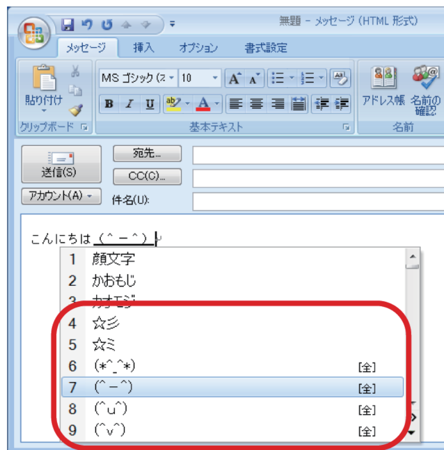
文字入力画面で、「かお」「かおもじ」などと入力するだけで、「(^_^;)」や「m(__)m」などに変換できます。

1 メール作成画面などで、顔文字を入力したい場所にカーソルが表示されている状態で「かお」と入力して変換し、変換候補から「顔文字」を選んで**【Enter】**を押す。



顔文字の変換候補が表示されます。

2 変換候補をスクロールして入力したい顔文字を選び、**【Enter】**を押して確定する。



難しい漢字を入力したい

読み方がわからない漢字などは、液晶パッドの手書き文字を使って入力できます。手書き文字は、液晶パッドで付属のペンを使って入力します。メモ帳などお使いのソフトウェアの、文字を入力したい場所にカーソルが表示されている状態で、以下の操作をしてください。

1 モード切り替えボタンを押し、[手書き文字] をタッチする。



文字入力画面が表示されます。

2 手書きエリアに文字を書く。



手書きエリアの右側に表示される文字候補の文字の中から、第1候補の文字がテキストボックスに表示されます。

3 入力したい文字が第 1 候補以外の文字の場合は、右の文字候補の文字をタッチする。
テキストボックスの文字が入れ替わります。
文字を間違えたときや文字候補に入力したい文字がない場合は、［後退］をタッチして文字を書き直してください。

4 [貼付] をタッチする。



選んだ文字がメイン画面のカーソルの位置に入力されます。

5 モード切り替えボタンを押し、マウスモードに切り替える。



ご参考

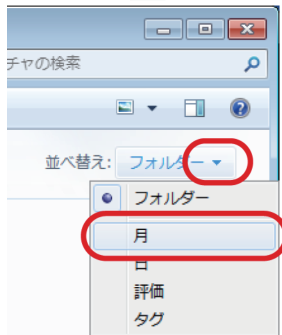
- 続けて文字を書くときは、隣の手書きエリアに書きます。隣りの手書きエリアにタッチした時点で、テキストボックスの文字候補は確定されます。
- テキストボックスには、全角・半角合わせて 10 文字まで入力できます。

ファイルを並べ替えたい

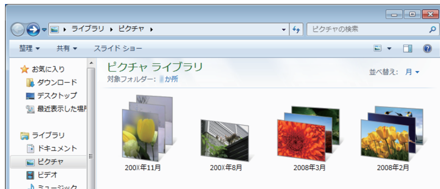
フォルダー内に多くのファイルがある場合などでは、ファイルを並べ替えることでファイルを見つけやすくなります。
ここでは例として、ライブラリーの「ピクチャ」フォルダー内の画像データを作成月で並べ替える方法を説明します。

1 （スタート）をクリックし、「ピクチャ」をクリックする。

2 「並べ替え」の をクリックし、「月」をクリックする。



フォルダー内のファイルが作成年月別にまとめて表示されます。



並び替えの項目は、フォルダーによって異なります。



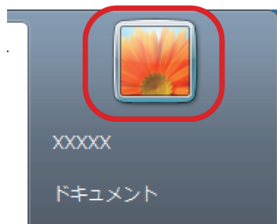
ご参考

- デスクトップ上のファイルを並べ替えるときなどは、右クリックメニューの「並べ替え」から「名前」、「サイズ」、「項目の種類」、「更新日時」のいずれかをクリックしてファイルを並べ替えます。

ユーザーアカウントアイコンを変更したい

ようこそ画面やスタートメニューに表示されるユーザーアカウントアイコンは他の画像に変更することができます。ご自身で用意した好きな画像に設定することもできます。

1 (スタート)をクリックし、スタートメニュー右上のユーザーアカウントアイコンをクリックします。



「ユーザーアカウント」画面が表示されます。

2 「画像の変更」をクリックします。



「画像の変更」画面が表示されます。

3 画像の一覧から好きな画像を選んでクリックし、[画像の変更]をクリックします。



ご自身で用意した画像に設定する場合は、「他の画像を参照する」をクリックし、ファイルを選んで［開く］をクリックします。ここで使用できる画像ファイルは、BMP、GIF、JPEGまたは、PNG形式のファイルです。

「ユーザーアカウント」画面のアカウントアイコンが選択した画像に変わります。

4 画面右上の をクリックして「ユーザーアカウント」画面を閉じる。

壁紙を変更したい

このパソコンには「Windows 7 Starter」が搭載されています。「Windows 7 Starter」では、デスクトップの壁紙を変更することができません。ご購入時の状態でお使いください。



ご参考

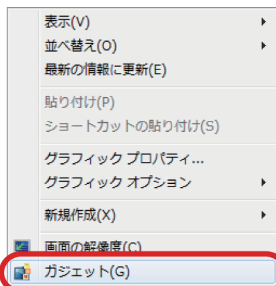
- 液晶パッドの壁紙（背景）は変更することができます。
  ① (スタート) をクリックし、「すべてのプログラム」－「SHARP 液晶パッド設定」－「SHARP 液晶パッド設定」をクリックする。
  ②「背景」タブをクリックし、背景画像欄の をクリックして、壁紙にしたいテーマをクリックする。
  壁紙を自分の好きな画像にしたいときは「ファイル選択」をクリックし、［画像参照］をクリックし、画像ファイルを選んで［開く］をクリックします。
  ③［OK］をクリックする。

ガジェットを使いたい

●デスクトップにガジェットを表示する

Windows 7 では、Windows Vista 搭載のパソコンのデスクトップに表示されていたガジェットは、ご購入時の状態では表示されていません。ガジェットを表示する場合は、以下の手順で操作します。

1 デスクトップのアイコンなどが何もない場所で右クリックし、「ガジェット」をクリックする。



ガジェットギャラリーが表示されます。

2 追加したいガジェットを右クリックし､｢追加｣をクリックする。



デスクトップにガジェットが表示されます。

3 画面右上の をクリックしてガジェットギャラリーを閉じる。

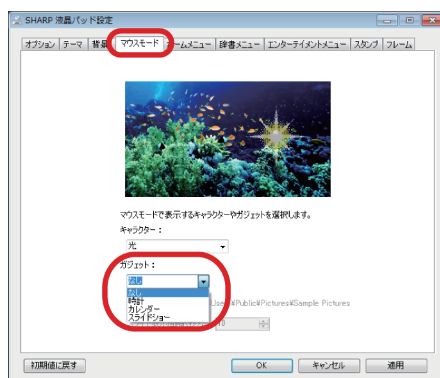
●液晶パッドのガジェットを使う

マウスモード時の液晶パッドの背景（壁紙）に､ガジェットを表示することもできます。液晶パッド用のガジェットには、時計、カレンダー、スライドショーの 3 種類が用意されています。

1 （スタート）をクリックし､｢すべてのプログラム｣－｢SHARP 液晶パッド設定｣－｢SHARP 液晶パッド設定｣をクリックする。

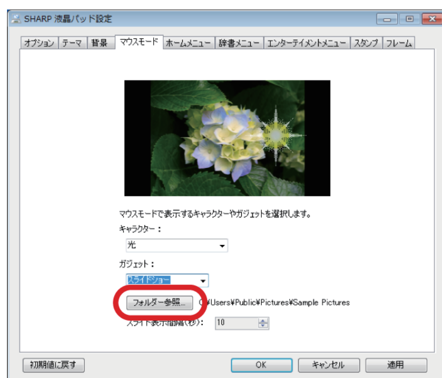
｢SHARP 液晶パッド設定｣ 画面が表示されます。

2 ｢マウスモード｣タブをクリックし、ガジェット欄の をクリックし､｢時計｣､｢カレンダー｣、または｢スライドショー｣をクリックする。



｢時計｣､｢カレンダー｣ を選択したときは、手順**6**へ進みます。
｢スライドショー｣ を選択したときは、次の手順へ進みます。

3 [フォルダー参照]をクリックする。



「フォルダーの参照」画面が表示されます。

4 スライドショーにしたい画像が保存されているフォルダーを選択し、[OK]をクリックする。

5 必要に応じて、画像の切り替え時間（スライド表示間隔）を設定する。

6 [OK]をクリックする。



ご参考

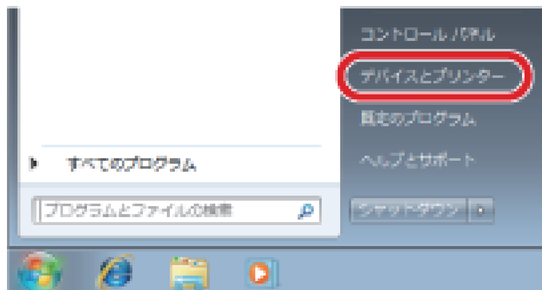
- タッチモード時の背景と同じ画像に戻すには、手順 **2** のガジェット欄で「なし」を選択してください。

マウスポインターの速度を調節したい

マウスポインターの速度は、Windows の「マウスのプロパティ」で調節する方法と「SHARP 液晶パッド設定」で調節する方法があります。また、液晶パッドでマウス操作をしているときには、通常の速度調節のほかに、マウスポインターに加速を付けるように設定することもできます。

●外付けマウス接続時のマウスポインターの速度を調節する

1 （スタート）をクリックし、「デバイスとプリンター」をクリックする。



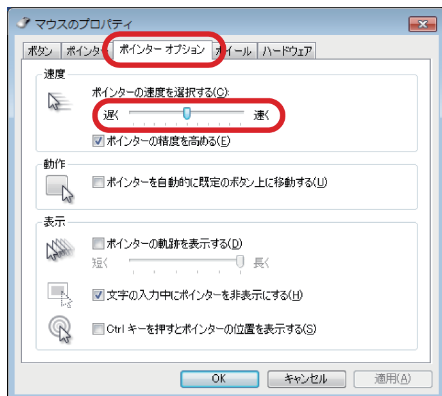
「デバイスとプリンター」画面が表示されます。

2 接続しているマウスのアイコンを右クリックし、「マウス設定」をクリックする。



「マウスのプロパティ」画面が表示されます。

3 「ポインターオプション」タブをクリックし、「速度」欄のつまみを左右にドラッグして、速度を調節する。



4 [OK]をクリックする。

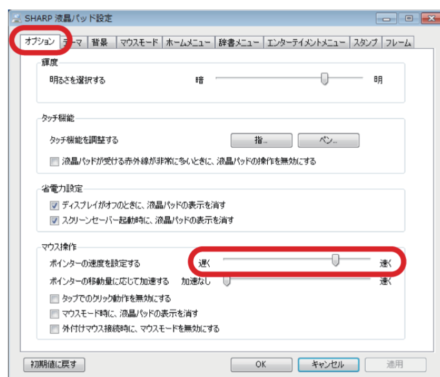
5 画面右上の をクリックして「デバイスとプリンター」画面を閉じる。

●液晶パッドでのマウス操作時のマウスポインターの速度を調節する

液晶パッドでマウス操作をするときのマウスポインターの速度は、「SHARP 液晶パッド設定」で調節します。

1 (スタート)をクリックし、「すべてのプログラム」－「SHARP 液晶パッド設定」－「SHARP 液晶パッド設定」をクリックする。
「SHARP 液晶パッド設定」画面が表示されます。

2 「オプション」タブをクリックし、「マウス操作」の「ポインターの速度を設定する」のつまみをドラッグして速度を調節する。



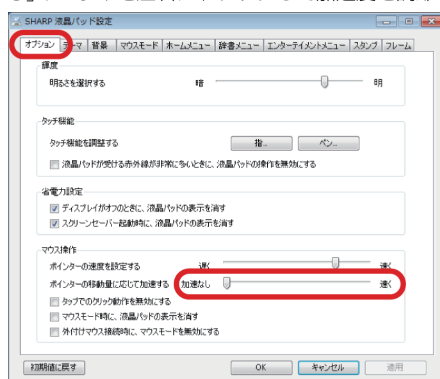
3 [OK]をクリックする。

●マウスポインターに加速を付ける

液晶パッドでマウス操作をしているときに、マウスポインターに加速を付けることができます。加速を付けると、液晶パッドで指をすばやく動かしたときにマウスポインターを大きく移動させることができます。

1 （スタート）をクリックし、「すべてのプログラム」－「SHARP 液晶パッド設定」－「SHARP 液晶パッド設定」をクリックする。
「SHARP 液晶パッド設定」画面が表示されます。

2 「オプション」タブをクリックし、「マウス操作」の「ポインターの移動量に応じて加速する」のつまみを左右にドラッグして加速度を調節する。



ご購入時の状態では、加速度は「なし」に設定されています。

3 [OK]をクリックする。

ファイルやフォルダーの操作メニューを使いこなしたい

ファイルやフォルダーを右クリックして表示されるメニューから、ショートカットアイコンの作成や名前の変更など、いろいろな操作ができます。主な操作メニューは以下のとおりです。

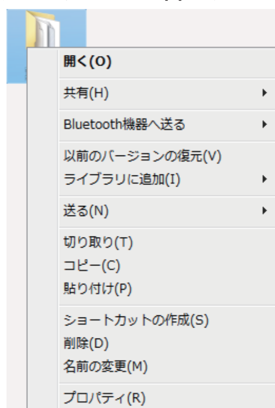
●ファイルを右クリックして表示されるメニュー



（ファイルによって表示されるメニューは異なります）

項　目　名	機　　能
開く／編集	ファイルを作成したソフトウェアが起動し、ファイルが開きます。
プレビュー	画像ファイルなどを右クリックしたときに表示されます。閲覧用ソフトウェアが起動し、ファイルの内容を確認できます。
印刷	選択しているファイルを印刷できます。
プログラムから開く	ファイルを開くためのソフトウェアを選択できます。
共有	ファイルの共有設定をします。
以前のバージョンの復元	自動的にバックアップしていたファイルからデータを復元する機能です。
Bluetooth 機器へ送る	選択したファイルを Bluetooth 対応の携帯電話などに送信します。
送る	詳しくは**「送る」メニュー**を参照してください。
切り取り	ファイルを移動するときに使用します。「切り取り」をクリックし、移動先のフォルダーを右クリックし、「貼り付け」をクリックすると、移動先のフォルダー内にファイルが移動します。
コピー	ファイルをコピーするときに使用します。「コピー」をクリックし、コピー先のフォルダーを右クリックし、「貼り付け」をクリックすると、コピー先のフォルダー内にファイルが複製されます。
ショートカットの作成	ショートカットアイコンを作成します。
削除	選択しているファイルをゴミ箱へ移動します。
名前の変更	選択しているファイルの名前を変更します。
プロパティ	ファイルのプロパティ画面が表示され、容量や作成日時などを確認できます。

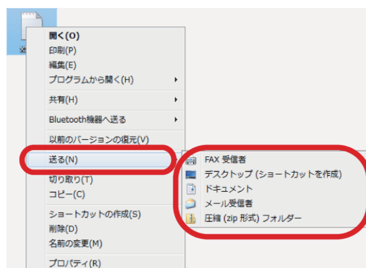
●フォルダーを右クリックして表示されるメニュー



（フォルダーによって表示されるメニューは異なります）

項　目　名	機　　能
開く	選択しているフォルダーを開きます。
新しいウィンドウで開く	フォルダー内に作成されたフォルダーを開く際に新しいウィンドウで開きます。
エクスプローラ	フォルダーを「エクスプローラ」形式で開きます。フォルダー画面の左側に、選択したフォルダーの位置が階層表示されています。
共有	フォルダーの共有設定をします。
以前のバージョンの復元	自動的にバックアップしていたファイルからデータを復元する機能です。
ライブラリに追加	選択したフォルダーを、指定する「ライブラリ」フォルダーに追加します。「ライブラリ」に追加すると、「ライブラリ」フォルダーからでも選択したフォルダーを閲覧・編集できます。
Bluetooth 機器へ送る	選択したファイルを Bluetooth 対応の携帯電話などに送信するときに使用しますが、携帯電話にはフォルダーは送信できません。
送る	詳しくは、**「送る」メニュー**を参照してください。
切り取り	フォルダーを移動するときに使用します。「切り取り」をクリックし、移動先のフォルダーを右クリックして「貼り付け」をクリックすると、移動先のフォルダー内に切り取ったフォルダーが移動します。
コピー	フォルダーを複製するときに使用します。「コピー」をクリックし、コピー先のフォルダーを右クリックして「貼り付け」をクリックすると、コピー先のフォルダー内にフォルダーが複製されます。
貼り付け	「切り取り」や「コピー」をしたファイルやフォルダーを、選択したフォルダー内に挿入します。
ショートカットの作成	ショートカットアイコンを作成します。
削除	選択しているフォルダーをゴミ箱へ移動します。
名前の変更	フォルダー名を変更します。
プロパティ	フォルダーのプロパティ画面が表示され、容量やフォルダーに含まれているファイルやフォルダーの数などを確認できます。

●「送る」メニュー



項　目　名	機　　能
FAX 送信者	選択したファイルをパソコンから FAX 送信します。ただし、フォルダーは FAX 送信できません。
デスクトップ（ショートカットを作成）	デスクトップにショートカットアイコンを作成します。
ドキュメント	選択しているファイルやフォルダーを「マイドキュメント」フォルダーへコピーします。
メール受信者	既定のメールソフトが起動して、選択しているファイルやフォルダーが添付された状態のメール作成画面が表示されます。
圧縮（zip形式）フォルダー	選択しているファイルやフォルダーを ZIP 形式で圧縮します。


ご参考

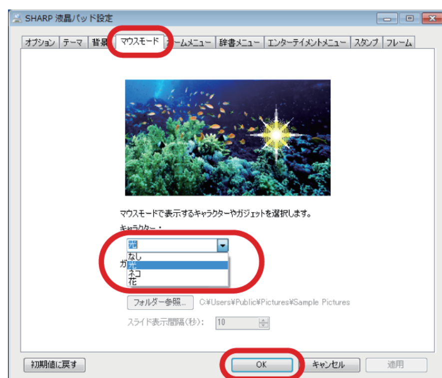
- USB メモリーやメモリーカードは、挿入すると自動的に「送る」メニューに追加され、コピー先に指定できます。

マウス操作時に指の動きに合わせて動くキャラクターを変えたい

液晶パッドには、指の動きに合わせて動くキャラクター（光）が表示されていますが、このキャラクターは、（ネコ）、または（花）に変更できます。また、キャラクターを液晶パッドに表示しない設定にも変更できます。

1 （スタート）をクリックし、「すべてのプログラム」－「SHARP 液晶パッド設定」－「SHARP 液晶パッド設定」をクリックする。
「SHARP 液晶パッド設定」画面が表示されます。

2 「マウスモード」タブをクリックし、「キャラクター」欄から「ネコ」、または「花」をクリックし、[OK] をクリックする。



キャラクターを表示しない場合は、「なし」をクリックします。


ご参考

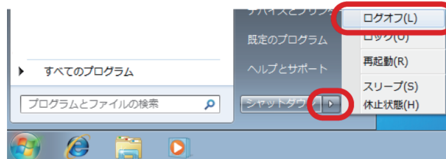
- 液晶パッドのテーマを変更すると、自動的にキャラクターも変わります。
  テーマを変更するときは、以下の手順で操作します。
  ①「SHARP 液晶パッド設定」を起動し、「テーマ」タブをクリックし、「テーマ」欄からテーマを選んでクリックする。
  ②「テーマ変更確認」画面で［はい］をクリックする。
  ③［OK］をクリックする。
  「SHARP 液晶パッド設定」でテーマを変更すると、キャラクターだけではなく、液晶パッドの背景やホームメニューのアイコンなどがテーマに合わせたデザインに自動的に変わります。

ユーザーを切り替えたい

複数のユーザーアカウントを設定してお使いの場合にユーザーを切り替えるときは、いったんログオフし、再度使用するユーザーアカウントでログオンします。


ご参考

- ログオフするには、（スタート）をクリックし、シャットダウンボタン右横の をクリックし、「ログオフ」をクリックします。



アプリケーションソフト

年賀状を作りたい

このパソコンに搭載されている「楽々はがき セレクト版」を使って年賀状を作成することができます。

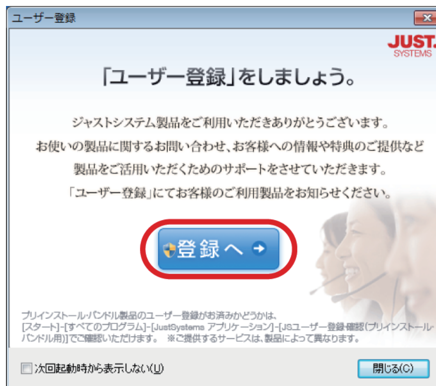
年賀状の作成方法や印刷方法について詳しくは、『**楽々はがき セレクト版 基本的な使い方**』（PDF）を参照してください。
『楽々はがき セレクト版 基本的な使い方』（PDF）は、（スタート）をクリックし、「すべてのプログラム」－「JustSystems アプリケーション」－「楽々はがき セレクト版 ガイドブック」の順にクリックすると表示されます。

● 「楽々はがき セレクト版」を起動する

1 （スタート）をクリックし、「すべてのプログラム」－「JustSystems アプリケーション」－「楽々はがき セレクト版」をクリックする。
「ユーザー登録画面」が表示されます。

「楽々はがき セレクト版」を初めて起動したときは、「使用許諾契約書」が表示されます。
① 内容を確認し、同意される場合は、［同意する］をクリックする。
　同意しないと「楽々はがき セレクト版」はお使いいただけません。
② 使用者名を入力し、［次へ］をクリックする。
③「ユーザーアカウント制御」画面で［はい］をクリックする。

2 **ユーザー登録する場合**：
（ユーザー登録には、インターネットへの接続が必要です。）
① ［登録へ］をクリックする。



②「ユーザーアカウント制御」画面で［はい］をクリックする。
③［登録］をクリックする。
　ユーザー登録ページが表示されます。画面の指示に従って、ユーザー登録を完了してください。

ユーザー登録をしない場合：

① ［閉じる］をクリックする。
次回以降、起動時に「ユーザー登録」画面を表示させないようにするには、画面下部の「次回起動時から表示しない」にチェックマークを付けて、［閉じる］をクリックします。

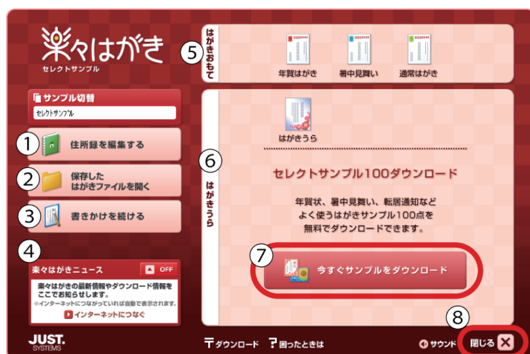


ご参考

- 「楽々はがき セレクト版」のユーザー登録をすると、特典サンプル集（セレクトサンプル 100）を無料でダウンロードできます。
- 特典サンプル集のダウンロードには、ユーザー登録の際に登録した User ID 用パスワードと登録後にメールで送付される User ID が必要になります。設定したパスワードは忘れないようにしてください。
- ユーザー登録後、ダウンロードご案内のメールが届いたら、メールに記載されている URL よりダウンロードサイトへアクセスし、画面の指示に従ってサンプル集をダウンロードしてください。ダウンロードをするときには、お手元に User ID と User ID 用パスワードをご用意ください。特典サンプル集のダウンロードサイトへは、「ガイドメニュー」の［今すぐサンプルをダウンロード］をクリックしてもアクセスできます。

●「楽々はがき セレクト版」の画面

「楽々はがき セレクト版」は、起動すると表示される「ガイドメニュー」と、はがきのおもて面を作成する「おもて作成モード」、うら面を作成する「うら作成モード」および「住所録モード」で構成されています。



項 目 名	機 能
①住所録を編集する	「住所録モード」画面を開きます。
②保存したはがきファイルを開く	作成して保存したはがきファイルを開きます。
③書きかけを続ける	前回「書きかけ」として保存したはがきを開きます。
④楽々はがきニュース	ON にしていると、「楽々はがき」の最新情報やダウンロード情報が表示されます。 利用するにはインターネットへの接続が必要です。
⑤はがきおもて	年賀状を作るときは、「年賀はがき」をクリックします。 クリックすると、「おもて作成モード」画面が表示されます。
⑥はがきうら	はがきのうら面（文面）を作成します。クリックすると、「うら作成モード」画面が表示されます。
⑦今すぐサンプルをダウンロード	無料の特典サンプル集（セレクトサンプル 100）のダウンロードサイトへアクセスします。
⑧閉じる	ガイドメニューを閉じます。

● はがき作成モード画面

はがきを作成するときは、「おもて作成モード」、「うら作成モード」、「住所録モード」のそれぞれの画面のコマンドバーで、アイコンをクリックして作業します。

モード名	機　　能
住所録モード	あて先の住所、氏名などを登録、編集します。 住所録モードのコマンドバー：
おもて作成モード	はがきのおもて面（宛名面）のレイアウトを作成します。 おもて作成モードのコマンドバー：
うら作成モード	はがきのうら面（文面）を作成します。 うら作成モードのコマンドバー：

 **ご参考**

- はがきうら面（文面）のイラストには､あらかじめ用意されたサンプルやダウンロードサンプルのほかに、液晶パッドで作成した手描きイラストや直筆のメッセージを利用することもできます。手描きイラストを使用する方法については、**「年賀状にオリジナルのイラストを使いたい」**（☞ 次ページ）を参照してください。
- 手書き風フォントを使って年賀状を作成することもできます。（☞84 ページ）

● 作成した年賀状を保存する

作成したデザインや住所録データは保存しておきましょう。

1 それぞれの作成モード画面のコマンドバーの[保存]をクリックする。
「名前を付けて保存」画面が表示されます。

2 ファイル名を入力し、[OK]をクリックする。

 **ご参考**

- はがきのおもて面、うら面とも、JYD 形式の「はがきファイル」として保存され、のアイコンで表示されます。
はがきのデザインを保存するときは、後からファイルを開くときに、おもて面か、うら面かがわかるようなファイル名を付けておくことをお勧めします。
- 住所録ファイルは、JSR 形式で保存され、のアイコンで表示されます。
- ご購入時の設定では､はがきファイルおよび住所録ファイルは､「マイドキュメント」フォルダーに保存されます。
- 保存していたファイルを編集してコマンドバーの［保存］をクリックすると､「上書き保存」になります。編集したはがきファイルを別名で保存したいときは、メニューバーの「ファイル」をクリックし､「名前を付けて保存」をクリックします。

●「楽々はがき セレクト版」を終了する

はがきの作成が終われば、コマンドバーの［終了］をクリックして「楽々はがき セレクト版」を終了します。

 **ご参考**

- 「楽々はがき セレクト版」を終了するときに、保存されていないデータがあると、「保存しますか」というメッセージが表示されます。
作成したはがきのデータを保存するときは、［はい］をクリックします。［いいえ］をクリックすると、作成したデータは保存されずに終了します。
- 「楽々はがき セレクト版」を終了するときには､データ保存のメッセージのほかに「編集しているはがきを書きかけとして保存しますか ?」と表示されます。
［はい］をクリックすると、次回「楽々はがき セレクト版」を起動したときに､「ガイドメニュー」の「書きかけを続ける」をクリックすると、書きかけとして保存したところから続けて作業できます。

- **その他の使い方や詳細を知りたいときは**
「ヘルプ」を参照してください。ヘルプはメニューバーの「ヘルプ」をクリックし、「楽々はがきのヘルプ」をクリックすると表示されます。
- **『楽々はがき セレクト版 基本的な使い方』**（PDF）も参照してください。
『楽々はがき セレクト版 基本的な使い方』（PDF）は、（スタート）をクリックし、「すべてのプログラム」－「JustSystems アプリケーション」－「楽々はがき セレクト版 ガイドブック」の順にクリックすると表示されます。

年賀状にオリジナルのイラストを使いたい

液晶パッドの「手描きイラスト」と「楽々はがき セレクト版」を使って、オリジナルイラストの年賀状を作ることができます。

●イラストを描く

液晶パッドの「手描きイラスト」を使ってイラストを描きます。液晶パッドでイラストを手書きするときは、付属のペンを使ってください。

1 パソコンをタッチモードに切り替え、ホームメニューの[手描きイラスト]をタッチする。



2 付属のペンで好きなイラストを描き、描き終わったら をタッチする。
保存したデータは「マイピクチャ」フォルダの「手描きイラスト」フォルダに「yyyymmdd（保存年月日）_XX（保存順に連番）」という名前で保存されます。ファイル形式はJPGです。


ご参考

- ファイルの保存後にイラストを修正し、再度 をタッチすると、修正後のイラストは新しいファイル名で保存されます。

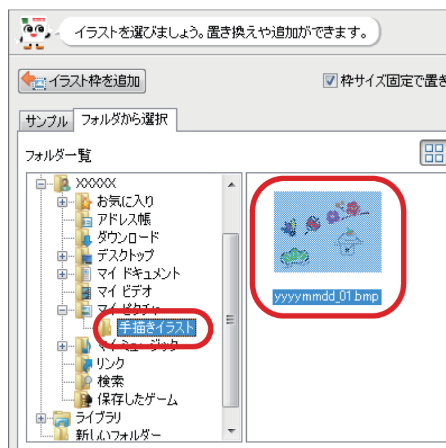
●手描きイラストを年賀状のイラストに使う

「楽々はがき セレクト版」の「うら作成モード」で、作成したイラストを読み込んで年賀状のイラストに使用します。

1 「楽々はがき セレクト版」を起動し、「うら作成モード」を表示する。

2 コマンドバーの[イラスト]をクリックし、「フォルダから選択」タブをクリックする。

3 フォルダー一覧から「マイピクチャ」－「手描きイラスト」フォルダーをクリックし、年賀状のイラストに使用するイラストファイルをクリックする。



画面左側のレイアウト画面に「手描きイラスト」で作成したイラストが挿入されて表示されます。

4 必要に応じて、イラストのサイズを変更し、文章を追加して年賀状のうら面を作成する。
年賀状の作成方法について詳しくは、「楽々はがき セレクト版」のヘルプや『**楽々はがき［セレクト版］基本的な使い方**』（PDF）を参照してください。

5 作成し終わったら、コマンドバーの［保存］をクリックし、ファイル名を付けて保存する。


ご参考

- フォトで作成したコメント付きの写真も同様の手順で読み込むことができます。読み込む際には、手順 **3** で写真データを保存したフォルダーから年賀状に使用する写真ファイルを選択します。写真ファイルの保存場所については、『**使ってみよう液晶パッド**』（PDF）を参照してください。
- 「楽々はがき セレクト版」のうら作成モードで画面左側のはがきレイアウト画面を選択した状態で、手描きイラストを作成し、をタッチすると、表示されているはがきにイラストが貼り付けられます。

手書き風フォントで年賀状を作りたい

手書き文字からフォントを作成できる「タッチおれん字」と「楽々はがき セレクト版」を使って、オリジナルフォントを使った手書き風の年賀状を作成できます。

●「タッチおれん字」でオリジナルフォントを作成する

年賀状にオリジナルフォントを使うには、あらかじめ「タッチおれん字」でフォントを作成し、パソコンにインストールしておく必要があります。

1 （スタート）をクリックし、「すべてのプログラム」－「EAST」－「タッチおれん字」－「タッチおれん字」をクリックする。
「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。

2 [はい]をクリックする。
「タッチおれん字」が起動します。



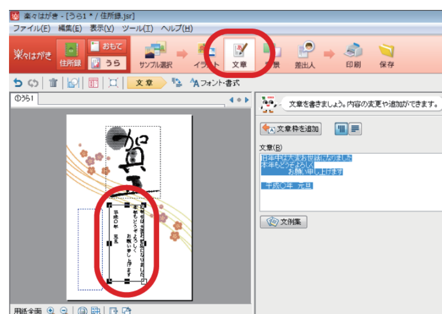
3 フォントを作成する。
フォントの作成方法については、『**使ってみよう液晶パッド**』(PDF) を参照してください。
また、「タッチおれん字」の「ヘルプ」も参照してください。「タッチおれん字」の「ヘルプ」は、「タッチおれん字」画面の右上の [ヘルプ] をクリックすると表示されます。

● 「楽々はがき セレクト版」で登録したオリジナルフォントを使う

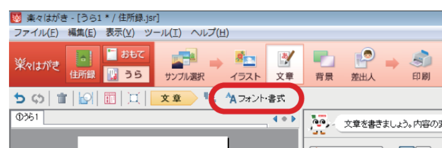
ここではあらかじめ作成した年賀状のうら面（文面）の文章のフォントを変更する方法を説明します。

1 「楽々はがき セレクト版」を起動し、「うら作成モード」を表示し、作成したうら面(文面)を表示する。

2 コマンドバーの[文章]をクリックし、レイアウト画面の文章枠をクリックする。

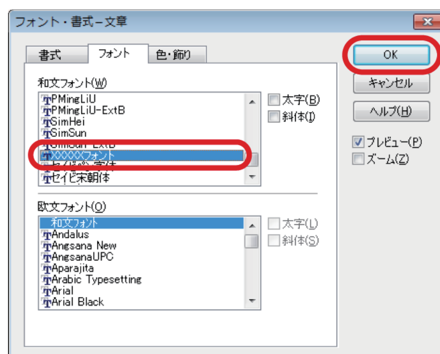


3 「フォント・書式」をクリックする。



「フォント・書式－文章」画面が表示されます。

4 「フォント」タブをクリックし、「和文フォント」一覧から作成したフォントをクリックし、[OK]をクリックする。



選択した文章枠内の文章のフォントが変更されます。

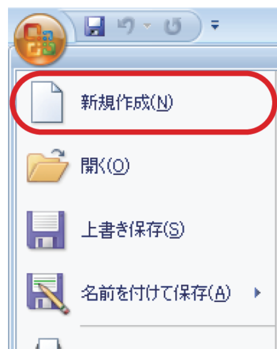
「Word 2007」や「Excel 2007」で新しい文書を作成したい／保存したい

PC-NJ80B

「Word 2007」や「Excel 2007」で作成・編集中のファイルとは別の新しい文書を作成するときには、 をクリックし、「新規作成」をクリックします。作成した新規文書を保存する場合は、 をクリックし、「名前を付けて保存」をクリックします。
ここでは例として、「Word 2007」で説明します。

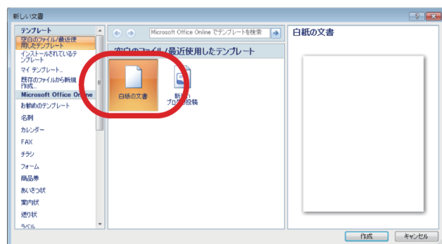
●文書を新規作成する

1 起動している「Word 2007」画面左上の をクリックし、「新規作成」をクリックする。



「新しい文書」画面が表示されます。

2 「空白のファイル / 最近使用したテンプレート」欄の「白紙の文書」が選択されていることを確認し、[作成] をクリックする。

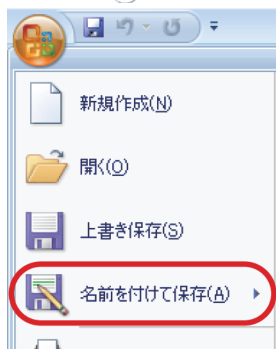


画面右側に白紙の入力画面が表示されます。

3 文書を入力する。
文書が作成できたら、次の手順で保存します。

●文書を保存する

1 画面左上の をクリックし、「名前を付けて保存」をクリックする。



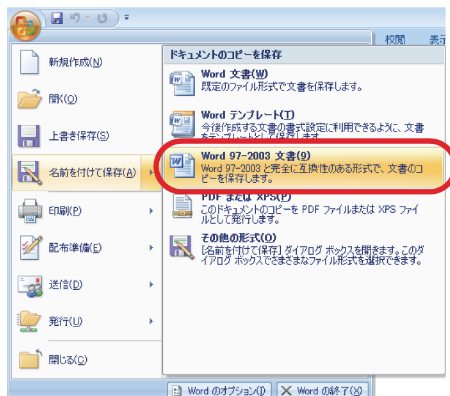
「名前を付けて保存」画面が表示されます。

2 ファイル名を入力して、[保存] をクリックする。
保存場所は、ご購入時の設定では「マイドキュメント」フォルダーが選択されています。保存場所は変更することもできます。

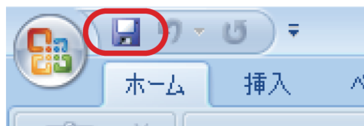
「Word 2007」の場合、ファイル名には作成した文書の先頭の文字列があらかじめ入力されています（「Excel 2007」では「Book1」などと表示されます）が、後で内容がわかるような名前に変更して保存しておきましょう。

 **ご参考**

- 作成したファイルを「Office Personal 2003」以前のバージョンで利用したい場合は、保存するときに「名前を付けて保存」から「Word 97 － 2003 文書」（「Excel 2007」の場合は「Excel 97 － 2003 ブック」）を選択して保存します。



- 右横のクイックアクセスツールバーの をクリックしてもデータを保存できます。
ただし、新規文書を作成したときに をクリックすると「名前を付けて保存」になりますが、保存していたデータを編集して をクリックすると「上書き保存」になります。



- 「Office Personal 2007」ではよく使うメニューやツールは、画面上部のリボン上にまとめてコマンドとして表示されています。

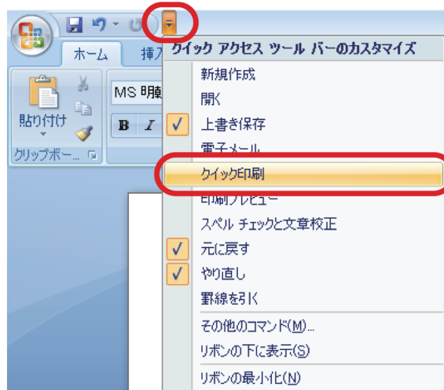
「Word」や「Excel」のクイックアクセスツールバーによく使うツールを追加したい

PC-NJ80B

「Word 2007」や「Excel 2007」を起動すると、画面左上の の横に「クイックアクセスツールバー」があります。ご購入時の状態では、クイックアクセスツールバーには「上書き保存」「元に戻す」「やり直し」の 3 つのアイコンが表示されていますが、ここによく使う操作メニューやリボンのコマンドを追加することができます。

●クイックアクセスツールバーに操作メニューを追加する

1 横のクイックアクセスツールバーにある をクリックし、「クイックアクセスツールバー」に追加したい操作メニューをクリックしてチェックマークを付ける。



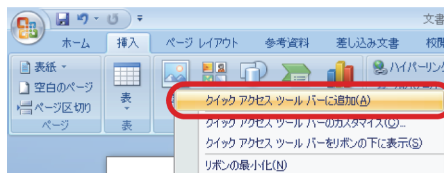
ここでは例として、「クイック印刷」を追加しました。

クイックアクセスツールバーに追加したメニューがアイコン表示されます。



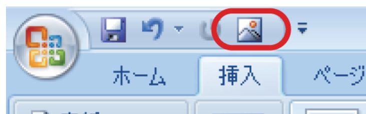
●クイックアクセスツールバーにリボンのコマンドを追加する

1 リボンのコマンドを右クリックし、「クイックアクセスツールバーに追加」をクリックする。



ここでは例として「挿入」タブの「図」をクイックアクセスツールバーに追加しました。

クイックアクセスツールバーに追加したコマンドがアイコン表示されます。




ご参考

- **クイックアクセスツールバーからアイコンを削除するには**
  クイックアクセスツールバー上のアイコンを右クリックし、「クイックアクセスツールバーから削除」をクリックします。

大切なデータをバックアップしたい

パソコンを使っていくうちに、大切なデータがハードディスクの中に保存されていきます。データが読み出せなくなるなど万一の場合に備えて、大切なデータは外付けハードディスクや USB メモリー、メモリーカードなど、このパソコンのハードディスク以外の場所にコピーしておきましょう。データをコピーして他の場所に保存しておくことを「バックアップ」といいます。大切なデータは、定期的にバックアップすることをお勧めします。

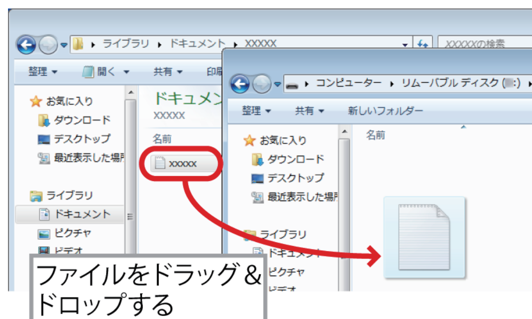
●データのバックアップを取る

バックアップデータの保存先は、外付けハードディスクや USB メモリー、メモリーカードなどが使用できます。データの容量などによって選択してください。また、使用できるメモリーカードについては、『**仕様一覧**』（PDF）を参照してください。
ここでは例として、このパソコンで作成したデータを市販の USB メモリーにコピーしてバックアップする方法を説明します。

1 パソコンに USB メモリーを挿入する。
「自動再生」画面が表示されます。
画面が表示されずにUSBメモリーのフォルダーが自動的に開いた場合は、手順**3**へ進みます。

2 「フォルダーを開いてファイルを表示」をクリックする。
USBメモリーのフォルダーが開きます。

3 バックアップするデータが保存されているフォルダーを開き、USB メモリーのフォルダーにデータをドラッグ＆ドロップする。



USBメモリーにデータがコピーされます。

4 USB メモリーにデータがコピーされたことを確認したら、画面右上の ✕ をクリックして開いている画面を閉じる。

5 パソコンから USB メモリーを取り外す。
このパソコンのUSBコネクターの位置については、『**取扱説明書**』（付属の冊子）を参照してください。また、USBメモリーの接続方法、取り外し方法については、**「USB周辺機器」**（☞113ページ）を参照してください。

●定期的にバックアップする

Windows のバックアップ作成機能を使うと、設定したスケジュールで定期的にデータをバックアップすることができます。
ここでは、初めて Windows に搭載のファイルのバックアップ機能を使うときの設定方法を説明します。
バックアップデータの保存先やバックアップ対象として選択したファイル・システムなどにより、手順が異なる場合があります。必要に応じて画面の指示に従って操作してください。

バックアップ先には、このパソコンの D ドライブ、外付けハードディスク、2GB 以上の USB メモリー / メモリーカードが指定できます。万一の場合に備えて、バックアップデータは外部記録媒体に保存されることをお勧めします。
外付けハードディスクや USB メモリーなどを保存先にされる場合は、あらかじめパソコンに接続しておいてください。

1 (スタート)をクリックし、「コントロールパネル」をクリックする。
「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 「システムとセキュリティ」の「バックアップの作成」をクリックする。
「バックアップと復元」画面が表示されます。

3 「バックアップの設定」をクリックします。



「バックアップの設定」画面が表示されます。

4 バックアップデータの保存先を選択し、[次へ]をクリックする。



「バックアップの対象」画面が表示されます。

5 「自動選択」または「自分で選択する」をクリックし、[次へ]をクリックする。
「自動選択」を選択したときは手順**7**へ進みます。

6 バックアップ対象の項目にチェックマークを付け、[次へ]をクリックする。
「バックアップ設定の確認」画面が表示されます。

7 バックアップ設定を確認し、[設定を保存してバックアップを実行]をクリックする。
バックアップが開始されます。

8 バックアップが終了したら、画面右上の ✕ をクリックして「バックアップと復元」画面を閉じる。



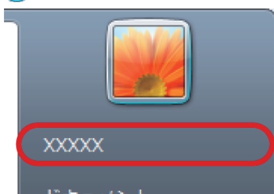
ご参考

- バックアップ作成機能について詳しくは、Windows の「ヘルプとサポート」を参照してください。
- バックアップ作成機能を使うと、設定したバックアップスケジュールに従って、パソコンは定期的にバックアックされます。ただし、スケジュールに指定した日時に、パソコンの電源を入れ、外付けハードディスクを接続するなど、初回のバックアップ時と同じ状態でないとバックアップが実行されません。
- IME ユーザー辞書に登録したデータのバックアップ方法は、**「IME ユーザー辞書のデータをバックアップしたい」**（☞102 ページ）を参照してださい。

「Internet Explorer」の「お気に入り」をバックアップしたい

「Internet Explorer」の「お気に入り」は、ユーザーフォルダーの「お気に入り」フォルダーに保存されています。「Internet Explorer」の「お気に入り」をバックアップするときは、この「お気に入り」フォルダーごと D ドライブや外付けハードディスク、USB メモリーなど他の場所にコピーして保存します。

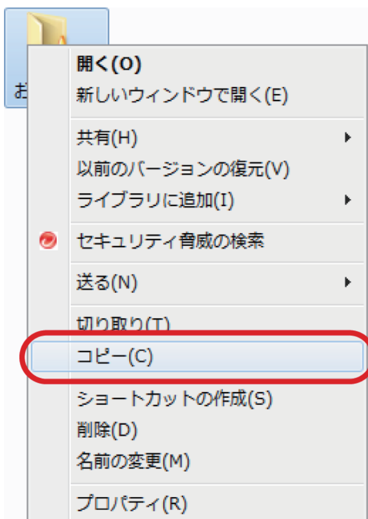
1 （スタート）をクリックし、ユーザー名のフォルダーをクリックする。



（「XXXXX」には設定しているユーザー名が表示されています）

ユーザーフォルダーが開きます。

2 「お気に入り」フォルダーを右クリックし、「コピー」をクリックする。



3 保存先のフォルダーを開き、フォルダー上で右クリックし、「貼り付け」をクリックする。

4 画面右上の ✕ をクリックして開いている画面を順に閉じる。



ご参考

- 「Internet Explorer」の「お気に入り」は、「お気に入り」の「インポートおよびエクスポート」を使用してもバックアップできます。
  インポート・エクスポート機能を使用するには、「Internet Explorer」の［お気に入り］をクリックし、［お気に入りに追加］の右横の ▼ をクリックし、「インポートおよびエクスポート」をクリックします。

  エクスポート・インポート方法については、**「今まで使っていたパソコンから「Internet Explorer」の「お気に入り」をこのパソコンに移したい」**（☞50 ページ）を参照してください。

バックアップした「Internet Explorer」の「お気に入り」を復元したい

バックアップした「Internet Explorer」の「お気に入り」は、フォルダーごと元の場所にコピーすることで復元できます。
ここでは例として、バックアップして USB メモリーに保存されている「お気に入り」を復元する方法を説明します。

1 「お気に入り」が保存された USB メモリーをこのパソコンにセットする。
「自動再生」画面が表示されます。
「自動再生」画面が表示されずにディスクのフォルダーが開いたときは、手順**3**へ進みます。

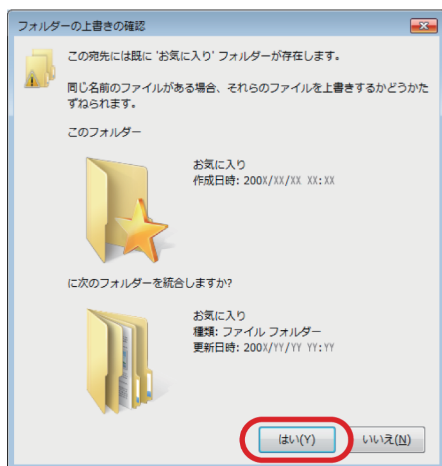
2 「フォルダーを開いてファイルを表示」をクリックする。
USBメモリーのフォルダーが開きます。

3 「お気に入り」フォルダーを右クリックし、「コピー」をクリックする。

4 （スタート）をクリックし、ユーザー名のフォルダーをクリックする。
ユーザーフォルダーが開きます。

5 フォルダー内のアイコンなどが何もない場所で右クリックし、「貼り付け」をクリックする。
「フォルダーの上書きの確認」画面が表示されます。

6 [はい]をクリックする。



バックアップファイルのコピーが開始されます。

バックアップファイルのコピー中に「フォルダーの上書きの確認」画面や「ファイルのコピー」の確認画面が表示されたときは、内容を確認して処理方法を選択します。

コピーが終了したら、「お気に入り」フォルダーを開いてデータが復元されたことを確認してください。

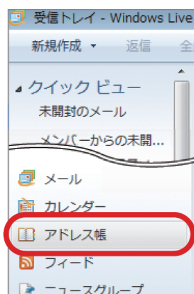
7 画面右上の ✕ をクリックして開いている画面を順に閉じる。

「Windows Live メール」の「アドレス帳」をバックアップしたい

PC-NJ70B

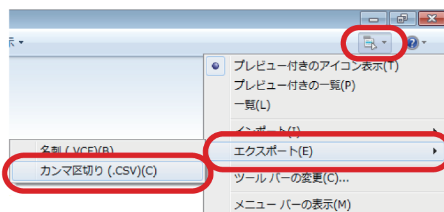
「Windows Live メール」の「アドレス帳」のデータは、CSV 形式または VCF 形式で書き出して（エクスポート）保存することでバックアップできます。
ここでは例として、CSV 形式で書き出して USB メモリーに保存する方法を説明します。
データを保存する USB メモリーは、あらかじめこのパソコンにセットしておいてください。

1 「Windows Live メール」を起動し、「アドレス帳」をクリックする。



「アドレス帳」画面が表示されます。

2 ツールバーの をクリックし、「エクスポート」－「カンマ区切り（.CSV）」をクリックする。

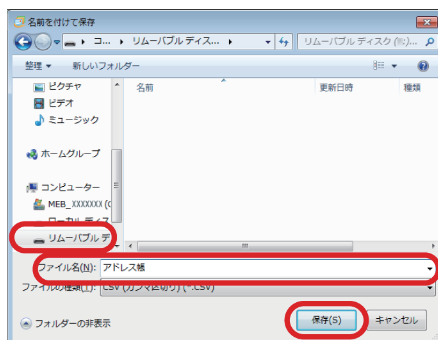


エクスポート先の選択画面が表示されます。

3 ［参照］をクリックする。

「名前を付けて保存」画面が表示されます。

4 保存場所に USB メモリーを指定し、ファイル名を付けて、［保存］をクリックする。



（デバイス名は、お使いのUSBメモリーによって異なります）

5 ［次へ］をクリックする。

6 ［完了］をクリックする。



ご参考

- Windows Live ID をお持ちの場合、「Windows Live メール」から Windows Live にサインイン、または「Windows Live メール」で Hotmail のアカウントを設定すると、「Windows Live メール」のアドレス帳はオンライン上のアドレス帳と同期されます。

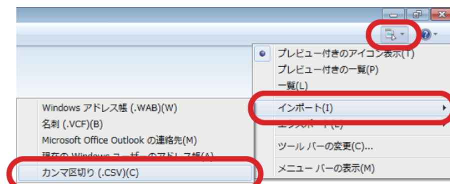
バックアップした「Windows Live メール」の「アドレス帳」を復元したい

PC-NJ70B

ここでは例として、CSV形式でエクスポートし、USBメモリーに保存した「アドレス帳」のデータを復元する方法を説明します。「アドレス帳」データを保存したUSBメモリーは、あらかじめこのパソコンにセットしておいてください。

1 「Windows Live メール」を起動し、「アドレス帳」をクリックする。
「アドレス帳」画面が表示されます。

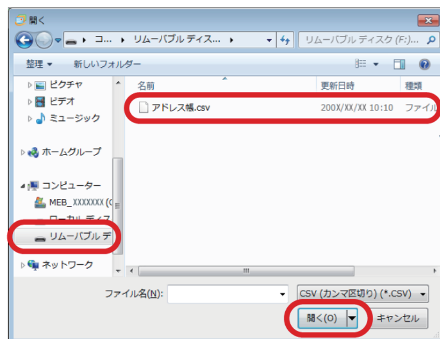
2 ツールバーの をクリックし、「インポート」－「カンマ区切り(.CSV)」をクリックする。



インポートするファイルの選択画面が表示されます。

3 [参照]をクリックする。

4 保存場所のUSBメモリーを開き、アドレス帳ファイル(csv)をクリックして[開く]をクリックする。



(デバイス名は、お使いのUSBメモリーによって異なります)

5 [次へ]をクリックする。

6 [完了]をクリックする。
バックアップした「アドレス帳」データからは、現在の「アドレス帳」にないデータだけが追加されます。

「Outlook 2007」のアドレス帳やメールデータをバックアップしたい

PC-NJ80B

「Outlook 2007」のアドレス帳やメールデータは「個人用フォルダ」に保存されています。
「Outlook 2007」の「個人用フォルダ」をバックアップしておくと、パソコンの故障など万一の場合にもメールアドレスやメールデータを復元することができます。
ここでは例として、USB メモリーに「個人用フォルダ」をバックアップする方法を説明します。データ保存用の USB メモリーは、あらかじめこのパソコンにセットしておいてください。



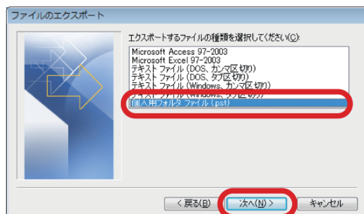
ご参考

- 「Outlook 2007」の「個人用フォルダ」は、「Outlook 2007」で作成された受信トレイ、送信トレイ、送信済みアイテム、削除済みアイテムなどのメールデータを保存したフォルダー、および予定表、連絡先、仕事などのフォルダーを含むフォルダーです。

1 「Outlook 2007」を起動し、メニューバーの「ファイル」をクリックし、「インポートとエクスポート」をクリックする。
「インポート/エクスポートウィザード」画面が表示されます。

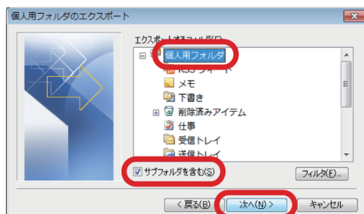
2 「ファイルにエクスポート」をクリックし、[次へ]をクリックする。
「ファイルのエクスポート」画面が表示されます。

3 「個人用フォルダファイル」をクリックし、[次へ]をクリックする。



「個人用フォルダのエクスポート」画面が表示されます。

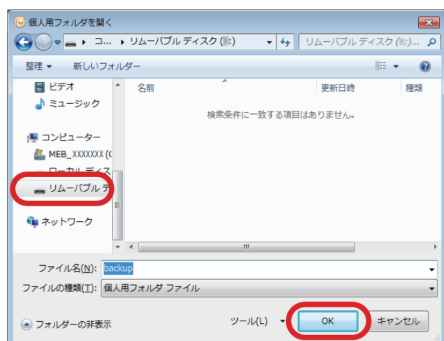
4 「個人用フォルダ」をクリックし、「サブフォルダを含む」をクリックしてチェックマークを付け、[次へ]をクリックする。



ここでは、「個人用フォルダ」をすべてバックアップしていますが、必要なフォルダーのみバックアップすることもできます。
たとえば、「連絡先」フォルダーのみをバックアップしたい場合は、「エクスポートするフォルダ」の一覧から「連絡先」をクリックし、[次へ] をクリックします。

5 [参照]をクリックする。
「個人用フォルダを開く」画面が表示されます。

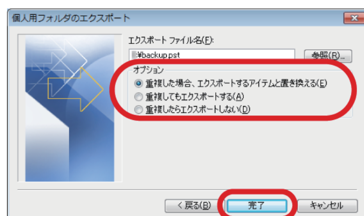
6 バックアップデータの保存場所を USB メモリーにして、[OK] をクリックする。



（デバイス名は、お使いのUSBメモリーによって異なります）

このときファイル名は「backup」となっています。

7 必要に応じて「オプション」を選択し、[完了] をクリックする。



「Microsoft個人用フォルダーの作成」画面が表示されます。

8 [OK] をクリックする。

9 画面右上の をクリックして「Outlook 2007」を終了する。
USBメモリーに「backup」ファイルが作成されているか確認してください。

バックアップした「Outlook 2007」のアドレス帳やメールデータを復元したい

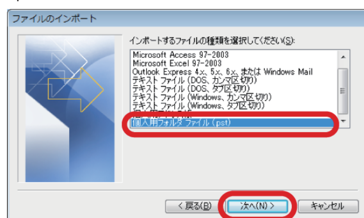
PC-NJ80B

ここでは例として、USB メモリーにバックアップした「Outlook 2007」の「個人用フォルダ」のデータを復元する方法を説明します。バックアップデータを保存した USB メモリーは、あらかじめこのパソコンにセットしておいてください。

1 「Outlook 2007」を起動し、メニューバーの「ファイル」をクリックし、「インポートとエクスポート」をクリックする。
「インポート/エクスポートウィザード」画面が表示されます。

2 「他のプログラムまたはファイルからのインポート」をクリックし、[次へ]をクリックする。
「ファイルのインポート」画面が表示されます。

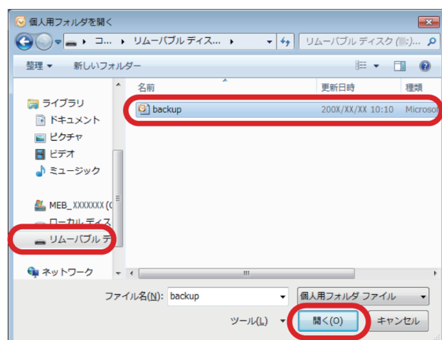
3 インポートするファイルの一覧を下にスクロールして「個人用フォルダファイル(pst)」をクリックし、[次へ]をクリックする。



「個人用フォルダのインポート」画面が表示されます。

4 [参照]をクリックする。
「個人用フォルダを開く」画面が表示されます。

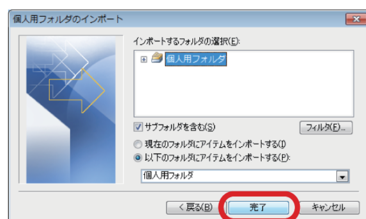
5 ファイルを保存している USB メモリーを指定し、「backup」ファイルをクリックし、[開く]をクリックする。



(デバイス名は、お使いのUSBメモリーによって異なります)

6 必要に応じて「オプション」を選択し、[次へ]をクリックする。
「オプション」は、インポートするデータが既存のデータと重複したときの処理を設定します。

7 「個人用フォルダ」が選択されていることを確認し、[完了]をクリックする。



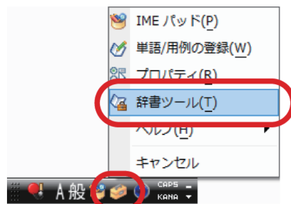
ここでは「個人用フォルダ」に含むすべてのフォルダーを復元するため、「サブフォルダを含む」にチェックマークを付けています。

8 画面右上の をクリックして「Outlook 2007」を終了する。

IME ユーザー辞書のデータをバックアップしたい

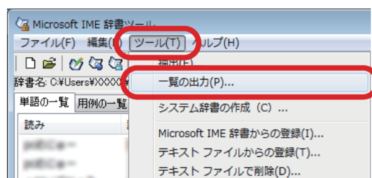
ここでは、IME ユーザー辞書のデータを USB メモリーに保存する方法を説明します。
USB メモリーはあらかじめこのパソコンにセットしておいてください。

1 IME 言語バーの (ツール)をクリックし、「辞書ツール」をクリックする。



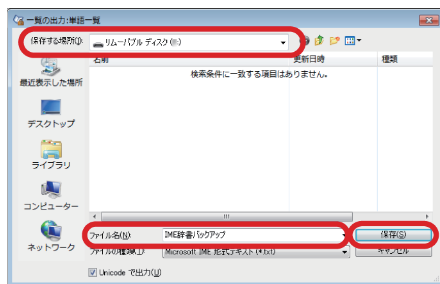
「Microsoft IME辞書ツール」（PC-NJ80Bの場合は、「Microsoft Office IME 2007 辞書ツール」）画面が表示されます。

2 メニューバーの「ツール」をクリックし、「一覧の出力」をクリックする。



「一覧の出力：単語一覧」画面が表示されます。

3 USB メモリーを保存場所に指定して、ファイル名を付け、[保存]をクリックする。



（デバイス名は、お使いのUSBメモリーによって異なります）

「一覧の出力を終了しました」というメッセージが表示されます。

4 [終了]をクリックする。

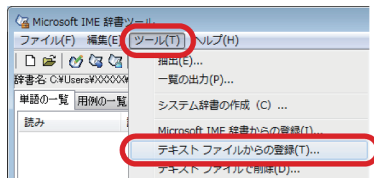
5 画面右上の をクリックして「辞書ツール」画面を閉じる。

バックアップした IME ユーザー辞書のデータを復元したい

ここでは、USB メモリーにバックアップした IME ユーザー辞書データを復元する方法を説明します。
ユーザー辞書のバックアップデータを保存した USB メモリーは、あらかじめこのパソコンにセットしておいてください。

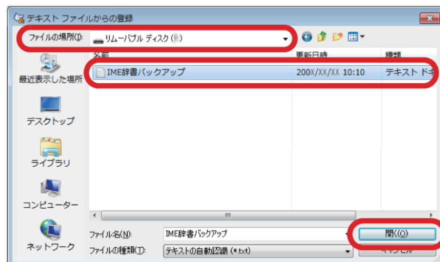
1 IME 言語バーの （ツール）をクリックし、「辞書ツール」をクリックする。
「Microsoft IME辞書ツール」（PC-NJ80Bでは、「Microsoft Office IME 2007辞書ツール」）画面が表示されます。

2 メニューバーの「ツール」をクリックし、「テキストファイルからの登録」をクリックします。



「テキストファイルからの登録」画面が表示されます。

3 「ファイルの場所」に USB メモリーを指定し、IME ユーザー辞書のバックアップデータのファイルをクリックし、[開く]をクリックする。



「登録処理を終了しました」というメッセージが表示されます。

4 [終了]をクリックする。

5 画面右上の をクリックして「辞書ツール」画面を閉じる。

ネットワーク接続

インターネットに接続できているか知りたい

インターネットへの接続状態は、タスクバーのネットワークアイコンで確認できます。

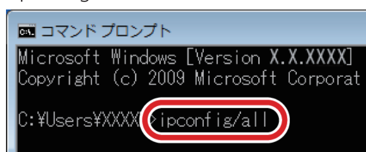
：インターネットに接続できていません。ワイヤレス LAN アンテナが無効になっています。
：インターネットに接続できていません。ワイヤレス LAN アンテナは有効になっています。
：ワイヤレス LAN でインターネットに接続されています。
：LAN 接続（有線 LAN）でインターネットに接続されています。

IP アドレスや MAC アドレスを確認したい

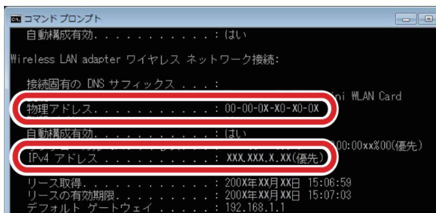
IP アドレスや MAC アドレスは、「コマンドプロンプト」で確認できます。

1 （スタート）をクリックし、「すべてのプログラム」−「アクセサリ」−「コマンドプロンプト」の順にクリックする。
「コマンドプロンプト」画面が表示されます。

2 「ipconfig/all」と入力し、**【Enter】**を押す。



3 お使いのネットワーク接続の情報が表示されるまで画面をスクロールし、IP アドレスと MAC アドレスを確認する。
「IPv4IPアドレス」欄に表示されている「.」（ピリオド）で区切られた0から255までの4つの数字がIPアドレスで、「物理アドレス」欄に表示されている「-」（ハイフン）で6つに区切られた英数字がMACアドレスです。



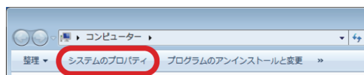
4 「exit」と入力し、**【Enter】**を押す。

コンピューター名やワークグループ名を確認したい／変更したい

Windows のセットアップ時に入力したコンピューター名や、ご購入時の設定では「WORKGROUP」となっているワークグループ名は、変更することができます。
ネットワークを設定するときなどには、以下の手順でコンピューター名やワークグループ名を確認し、必要に応じて名前を変更します。

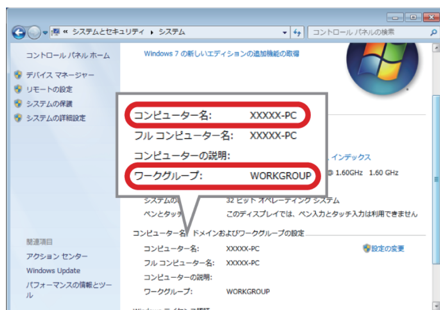
1 （スタート）をクリックし、「コンピューター」をクリックする。
「コンピューター」画面が表示されます。

2 「システムのプロパティ」をクリックする。



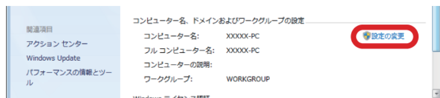
「システム」画面が表示されます。

3 画面を下にスクロールし、「コンピューター名、ドメイン名およびワークグループの設定」欄で、コンピューター名とワークグループ名を確認する。



コンピューター名やワークグループ名を変更する必要がなければ、 をクリックして「システム」画面を閉じます。
コンピューター名あるいはワークグループ名を変更する場合は、以下の手順で操作します。

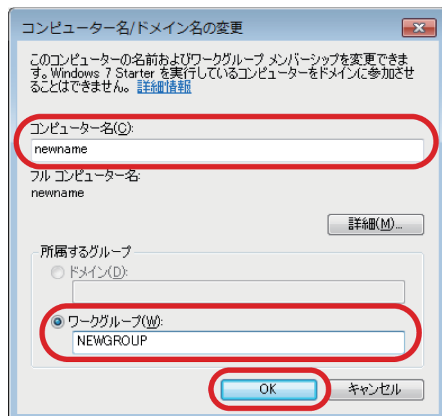
4 「コンピューター名、ドメイン名およびワークグループの設定」欄の「設定の変更」をクリックする。



「システムのプロパティ」画面が表示されます。

5 ［変更］をクリックする。
「コンピューター名/ドメイン名の変更」画面が表示されます。

6 「コンピューター名」欄、または「ワークグループ」欄に表示されている現在の名前を消し、新しい名前を入力して、[OK]をクリックする。



「これらの変更を適用するには、お使いのコンピューターを再起動する必要があります」と表示されます。

7 [OK]をクリックする。

8 [閉じる]をクリックする。
再起動を促すメッセージが表示されます。

9 [今すぐ再起動する]または[後で再起動する]をクリックする。
パソコンを再起動すると、変更した設定が有効になります。

10 [後で再起動する]を選択したときは、画面右上の をクリックして「システム」画面を閉じる。

ほかのパソコンに接続されているプリンターを共有して使いたい

同じネットワーク上にあるパソコンに接続したプリンターを共有する方法を説明します。

●ワークグループ名とコンピューター名を確認する

このパソコンと、同じネットワーク上にあるパソコンのそれぞれで、コンピューター名とワークグループ名を確認し、必要に応じて名前を変更します。

コンピューター名について

このパソコンのコンピューター名とプリンターを共有する他のパソコンのコンピューター名が同じ場合は、名前を変更する必要があります。
必ず異なるコンピューター名を付けてください。

ワークグループ名について

共有する他のパソコンが Windows XP 搭載のパソコンの場合は、ワークグループ名を同じにする必要があります。共有相手が Windows 7、Windows Vista 搭載のパソコンの場合は、必ずしもワークグループ名を同じにする必要はありません。

●ネットワーク上の場所の設定を確認する

このパソコンのネットワークの場所が「ホームネットワーク」に設定されているか確認します。「ホームネットワーク」に設定されていると、ネットワーク上の他のパソコンとファイルやプリンターを共有できます。

ネットワーク上の場所は、タスクバーの をクリックし、「ネットワークと共有センター」をクリックして表示される「ネットワークと共有センター」の「アクティブなネットワークの表示」欄で確認します。

●プリンターを共有に設定する

プリンターを接続しているパソコンでプリンターの共有設定をします。パソコンの OS によって、以下の手順で操作します。

Windows 7 搭載のパソコンの場合

① （スタート）をクリックし、「デバイスとプリンター」をクリックする。
② 共有するプリンターを右クリックし、「プリンターのプロパティ」をクリックする。
③「共有」タブをクリックし、「このプリンターを共有する」をクリックしてチェックマークを付け、［OK］をクリックする。
④ 画面右上の をクリックして「デバイスとプリンター」画面を閉じる。
※ Windows 7 Starter 搭載のパソコンに接続したプリンターは共有することができません。

Windows Vista 搭載のパソコンの場合

① （スタート）をクリックし、「コントロールパネル」をクリックする。
②「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックする。
③ 共有したいプリンターを右クリックして、「共有」をクリックする。
④「共有」タブをクリックし、［共有オプションの変更］をクリックする。
⑤「ユーザーアカウント制御」画面で［続行］をクリックする。
⑥「このプリンタを共有する」をクリックしてチェックマークを付け、［OK］をクリックする。
⑦ 画面右上の をクリックして開いている画面を順に閉じる。

Windows XP 搭載のパソコンの場合

① ［スタート］をクリックし、「コントロールパネル」－「プリンタとその他のハードウェア」－「プリンタと FAX」をクリックする。
② 共有するプリンターを右クリックし、「共有」をクリックする。
③「共有」タブをクリックし、「このプリンタを共有する」をクリックし、共有プリンターの「共有名」を入力して、［OK］をクリックする。
④ 画面右上の をクリックして「プリンタと FAX」画面を閉じる。

●プリンターを追加する

このパソコンで、共有プリンターに接続する設定をします。

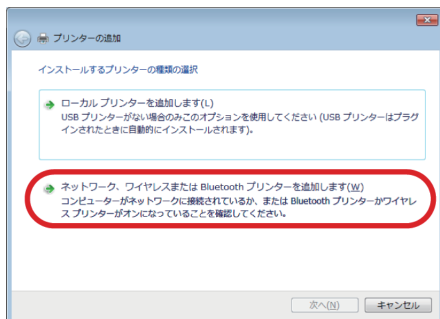
1 (スタート)をクリックし､｢デバイスとプリンター｣をクリックする。
｢デバイスとプリンター｣画面が表示されます。

2 ［プリンターの追加］をクリックする。



｢インストールするプリンターの種類の選択｣画面が表示されます。

3 ｢ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンターを追加します｣をクリックする。



利用できるプリンターの一覧が表示されます。

4 使用するプリンター名をクリックする。
プリンターの一覧に使用するプリンター名がない場合は、｢探しているプリンターはこの一覧にはありません｣をクリックし、画面の指示に従ってプリンターを検索して指定します。

5 ｢このプリンターを信頼しますか？｣と表示された場合は､［ドライバーのインストール］をクリックする。
プリンタードライバーのインストールが完了すると、｢XXXXX(プリンター名）が正しく追加されました｣と表示されます。

6 ［次へ］をクリックする。
［完了］をクリックする。

7 画面右上の をクリックして｢デバイスとプリンター｣画面を閉じる。

インターネット接続をすばやく切り替えたい

外出先など、パソコンを使用する場所が変われば、インターネットへの接続設定も変更が必要になります。「おまかせインターネット」は、ネットワーク設定をスムーズに切り替えるためのソフトウェアです。インターネットに接続している場所で「おまかせインターネット」にネットワーク設定を登録しておけば、「おまかせインターネット」のアイコンをクリックするだけで、ネットワーク設定を切り替えてインターネットに接続できます。

●「おまかせインターネット」を起動する

1 (スタート)をクリックし、「すべてのプログラム」－「SHARP おまかせインターネット」－「おまかせインターネット」の順にクリックする。
「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。

2 [はい]をクリックする。
タスクバーの通知領域内に (おまかせインターネットアイコン) が表示されます。

3 タスクバーの をクリックし、 をクリックする。
「おまかせインターネット」のメイン画面が表示されます。
2回目以降は手順**2**で「はい」をクリックするだけで、「おまかせインターネット」のメイン画面が表示されます。

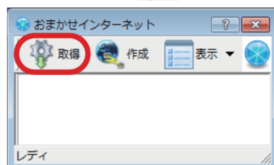
●「おまかせインターネット」を終了する

1 タスクバーの (おまかせインターネットアイコン)を右クリックし、「終了」をクリックする。

●現在使用しているネットワーク設定を登録する

現在使用しているインターネット接続の設定を「おまかせインターネット」のプロファイルとして登録します。

1 登録したいネットワークの設定でインターネットに接続し、「おまかせインターネット」を起動して 取得 をクリックする。

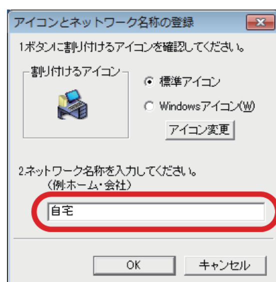


確認画面が表示されます。

2 [OK]をクリックする。
「アイコンとネットワーク名称の登録」画面が表示されます。

3 割り付けるアイコンを設定する。
現在のアイコンを変更する場合は、「標準アイコン」または「Windowsアイコン」をクリックし、[アイコン変更]をクリックし、アイコンを選んで[OK]をクリックします。

4 ネットワーク名称を入力する。



「自宅」や「会社」など現在使用している場所の名前を入力します。この名前がプロファイル名として登録されます。

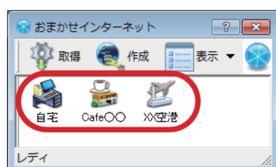
5 [OK] をクリックする。
「おまかせインターネット」のメイン画面に登録したプロファイル名が表示されます。

6 画面右上の ✕ をクリックして「おまかせインターネット」のメイン画面を閉じる。

●プロファイルを切り替える

ネットワーク環境が異なる場所ごとにプロファイルを登録しておくと、次回、その場所に移動したときに、「おまかせインターネット」のメイン画面のアイコンをクリックするだけで、ネットワーク設定を切り替えてインターネットに接続できます。

1 「おまかせインターネット」を起動し、メイン画面のプロファイルアイコンをクリックする。



「XXXXX（プロファイル名）に切り替えます。よろしいですか？」と表示されます。

2 [OK] をクリックする。
ネットワーク設定が切り替わります。

3 画面右上の ✕ をクリックして「おまかせインターネット」のメイン画面を閉じる。



ご参考

- **その他の使い方や詳細を知りたいときは**
  「ヘルプ」を参照してください。
  ヘルプは「おまかせインターネット」のメイン画面の ? をクリックすると表示されます。通知領域内の アイコン を右クリックし、「ヘルプ」をクリックしてもヘルプを表示することができます。

メモリーカード

メモリーカードスロットに SD メモリーカード、メモリースティック、xD- ピクチャーカードを差し込むと、メモリーカードにデータを保存したり、メモリーカードに保存されたデータを取り込んだりすることができます。

使用可能なメモリーカード（☞『仕様一覧』（PDF））



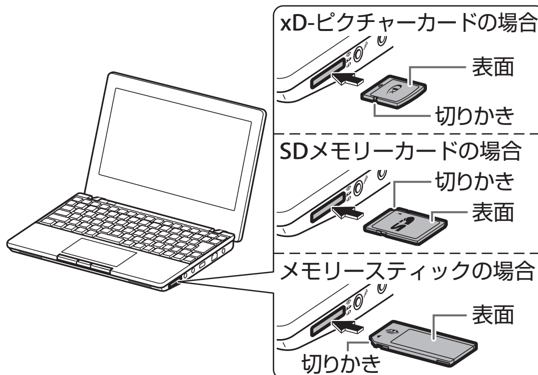
ご注意

- メモリーカードの差し込み／取り出しは、必ず**「メモリーカードを差し込む」**（☞下記）／**「メモリーカードを取り出す」**（☞次ページ）の手順どおりに操作してください。カードを逆向きで差し込んだり、**「メモリーカードを取り出す」**（☞次ページ）の操作をせずに取り出したりすると、パソコンの故障や、カードやデータの破損の原因となります。
- パソコンを持ち運ぶときはカードを取り外してください。特にカードの一部がパソコンから突き出すものは、カードに無理な力が加わると、カードおよびカードスロットの故障の原因となります。
- miniSD カード、microSD カード、メモリースティックデュオ、メモリースティック PRO デュオおよびメモリースティック マイクロを使うには、市販の専用アダプターが必要です。アダプターに装着しないでカードを差し込むと、カードが取り出せなくなったり、パソコンの故障の原因になります。

メモリーカードを差し込む

1 データを書き込むときは、メモリーカードの書き込み禁止スイッチを解除位置にする。

2 メモリーカードの表面を上にして、「カチッ」と音がするまで差し込む。





ご参考

- 同時に複数のメモリーカードを差し込むことはできません。

メモリーカードを取り出す

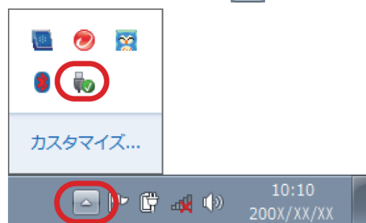
1 パソコンとメモリーカードとの間でデータの読み書きなどをしていないことを確認する。
- 動画や音楽ファイルなどを再生しているときは、再生を停止してください。
- ファイルやフォルダーを開いているときは、閉じてください。
- ファイルやフォルダーのコピー／移動／削除中は、終了するまでお待ちください。



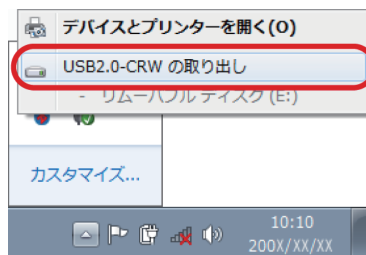
ご注意

- データの読み書き中にメモリーカードを取り出すと、パソコンが正常に動作しなくなったり、メモリーカードやデータが破損したりすることがあります。

2 タスクバーの通知領域の をクリックし、 をクリックする。



3 表示されるメニューから、「USB 2.0-CRW の取り出し」をクリックする。

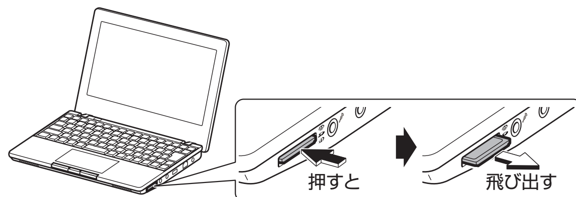




ご参考

- 「このデバイスは現在使用中です ....」というメッセージが表示されたときは、[OK] をクリックし、手順 **1** からやり直してください。

4 スロットのくぼみから見えているメモリーカードを「カチッ」と音がするまで押し込む。



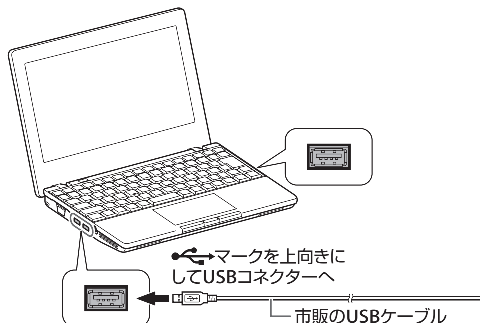
5 メモリーカードの両端を持って、ゆっくりと引き出す。

USB 周辺機器

USB コネクターには、外付けのハードディスクやマウスなどの周辺機器を接続することができます。

USB 機器を接続する

1 USB 機器に付属または市販の USB ケーブルを USB コネクターに接続する。





ご参考

- 接続した USB 機器によっては、接続した後に対応するドライバーが自動的にインストールされます。インストールされない場合は、画面が表示されますので、画面の指示に従ってドライバーをインストールしてください。

USB 機器を取り外す

USB 機器を取り外すときは、以下の手順に従ってください。



ご参考

- USB 機器の取り外し手順は、機器により異なる場合があります。周辺機器の説明書もあわせて参照してください。

1 パソコンと取り外す USB 機器との間でデータの読み書きなどをしていないことを確認する。

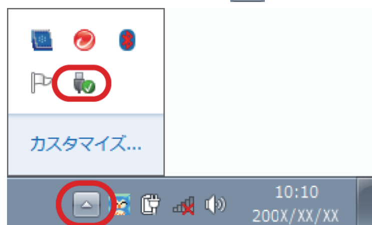
- 動画や音楽ファイルなどを再生しているときは、再生を停止してください。
- ファイルやフォルダーを開いているときは、閉じてください。
- ファイルやフォルダーのコピー／移動／削除中は、終了するまでお待ちください。



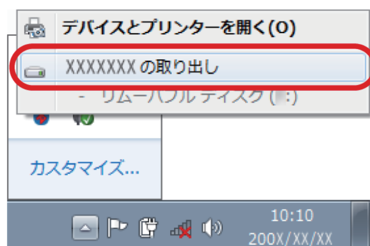
ご注意

- データの読み書き中に USB 機器を取り外すと、パソコンが正常に動作しなくなったり、USB 機器やデータが破損したりすることがあります。

2 タスクバーの通知領域の をクリックし、 をクリックする。



3 表示されるメニューから、「XXXXXXX の取り出し」をクリックする。



「XXXXXXX」の箇所は、周辺機器によって表示が異なります。


ご参考

- 「このデバイスは現在使用中です ....」というメッセージが表示されたときは、[OK]をクリックし、手順 **1** からやり直してください。

4 周辺機器を取り外す。

Bluetooth 機器

Bluetooth 機能でできることを知りたい

Bluetooth 機能とは、Bluetooth 対応機器間をワイヤレスでつないで通信する技術です。このパソコンの Bluetooth 機能を使って、市販の Bluettooth 対応機器を接続したり、Bluetooth 対応の携帯電話とデータをやりとりしたりできます。



ご注意

- Bluetooth 機能を利用してワイヤレスで接続するには、相手機器も Bluetooth SIG の定める Bluetooth 標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。また、このパソコンと同じ通信サービス（プロファイル）に対応している必要があります。
- 良好な接続のために、次のことを守ってください。
  - ・相手機器とは、見通し距離 10m 以内で接続してください。ただし、壁・障害物があるときや相手機器の電波状況によっては、この距離が短くなります。また、壁が鉄筋コンクリートの場合は、接続できないことがあります。できるだけ近くで接続してください。
  - ・他の機器（電気製品、AV 機器、OA 機器、ファックス、デジタルコードレス電話機など）から 2m 以上、電子レンジ使用時は電子レンジから 3m 以上離れて接続してください。電源が入っているこれらの機器の近くで、Bluetooth 通信の操作をすると、正常に接続できなかったり、このパソコンがテレビ、ラジオの受信障害や雑音の原因になることがあります。

● Bluetooth 機能でできること

・対応機器間でデータを送受信する
・ワイヤレスでキーボード、マウスを使う
・離れた場所にこのパソコンを置いて、対応ヘッドホンで音楽を楽しむ
・お使いになる Bluetooth 機器の説明書もあわせて参照してください。



ご参考

- **すべての Bluetooth 機器との接続を保証するものではありません**
  - ・接続する機器の特性や仕様によっては、接続できない、接続が途切れる、データのやり取りができない、通信速度／通信距離が低下する、などの現象が発生することがあります。
  - ・接続する機器や通信環境によって、音声の入出力時に音飛びが発生することがあります。
  - ・放送局や無線局などが近く、周囲の電波が強過ぎる場合は、正常に接続できないことがあります。

Bluetooth 機器がこのパソコンで使用できるか知りたい

このパソコンと Bluetooth 機器が同じプロファイル（通信サービス）に対応していないと、Bluetooth 通信できません。お使いの Bluetooth 機器の対応プロファイルを確認してください。
このパソコンの Bluetooth 機能は、次のプロファイルに対応しています。
（基本プロファイル除く）

対応プロファイル

プロファイル名	用　途
SPP (Serial Port Profile)	機器間をシリアル接続するためのプロファイル 接続時にポートの設定が必要な場合がある
OPP (Object Push Profile)	他の Bluetooth 機器にデータを送信するためのプロファイル
FTP (File Transfer Profile)	Bluetooth 機器間でデータを転送するためのプロファイル
DUN (Dial-up Networking Profile)	携帯電話を介してインターネットにダイヤルアップ接続するためのプロファイル
HSP (Headset Profile)	Bluetooth 対応ヘッドセットを接続するためのプロファイル
BIP (Basic Imaging Profile)	静止画像を送信するためのプロファイル
PAN (Personal Area Networking Profile)	小規模ネットワークを実現するためのプロファイル
HID (Human Interface Device Profile)	キーボードやマウスなどの入力装置を接続するためのプロファイル
A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)	Bluetooth 対応ヘッドセットやヘッドホン、スピーカーに音楽を転送するためのプロファイル
AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)	AV 機器をリモートコントロールするためのプロファイル

Bluetooth 機能を使って携帯電話の写真をパソコンに取り込みたい

お使いの携帯電話が Bluetooth 機能に対応している場合は、Bluetooth 機能を使って携帯電話の写真をパソコンに取り込むことができます。
なお、携帯電話の機種によっては、以下とは操作手順が異なる場合があります。携帯電話の Bluetooth 機能の操作方法については、携帯電話の説明書を参照してください。


ご注意

- Bluetooth 機能とワイヤレス LAN を同時に有効にすると、通信速度や通信距離が低下することがあります。Bluetooth 機能を有効にするときは、ワイヤレス LAN を無効にすることをお勧めします。

1 **【Fn】+【F2】**( )を押す。
Bluetooth機能が有効になり、デスクトップに が表示されます。

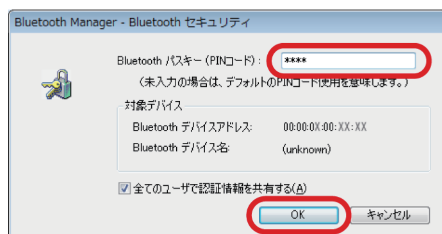
2 携帯電話の Bluetooth 機能を有効にする。

3 携帯電話で Bluetooth 機器(デバイス)を検索する。
携帯電話のデバイス検索リストに周囲にあるBluetooth機器が表示されます。

4 このパソコンのデバイス名を選び、接続する。
このパソコンのデバイス名がわからないときは、タスクバーの をクリックし、 をポイントすると、「デバイス名」と「デバイスアドレス」が表示されます。

5 携帯電話にパスキー(認証コード)を入力し、[OK]を押す。
パソコンのデスクトップにパスキー入力画面が表示されます。

6 携帯電話と同じパスキーを入力し、[OK]をクリックする。



パソコンのパスキーは携帯電話のパスキーを入力してから30秒以内に入力してください。入力画面は一定時間が経過すると消えます。

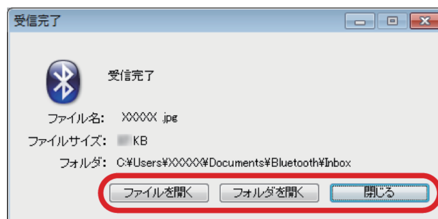
Bluetooth接続が完了します。続けて携帯電話から写真をパソコンに送信します。

7 パソコンに送りたい写真を選んで、携帯電話から Bluetooth 送信する。
お使いの携帯電話によって、写真をBluetooth機能で送信する手順は異なります。詳しくは携帯電話の説明書を参照してください。
携帯電話の画面に確認メッセージが表示された場合は、「はい」(または「OK」)を選択してください。

パソコンのデスクトップに「ファイル受信確認」画面が表示されます。

8 [OK]をクリックする。
「受信完了」画面が表示されます。

9 ［ファイルを開く］、［フォルダを開く］、［閉じる］のいずれかをクリックする。



ファイルを開く：「Windowsフォトビューアー」が起動して、受信した写真を表示します。

フォルダを開く：写真が保存されたフォルダーが開きます。
取り込んだ写真をスライドショーで再生したいときは、［フォルダを開く］をクリックし、写真ファイルを「マイピクチャ」フォルダーにコピーします。

閉じる：「受信完了」画面が閉じます。

受信したファイルの保存場所は、「受信完了」画面の「フォルダ」欄に表示されています。ご購入時の設定では、「マイドキュメント」フォルダー内の「Bluetooth」フォルダーに、保存用のフォルダーが作成されて写真ファイルが保存されます。

10 データの送受信が終われば、パソコンと携帯電話の Bluetooth 機能を無効（オフ）にする。

パソコンのBluetooth機能を無効にするには、**【Fn】＋【F2】**（）を押します。

ご参考

- Bluetooth 機能が有効になっているかどうかは、タスクバーの をクリックして表示される Bluetooth アイコンで確認できます。
  青地に白マーク：Bluetooth 機能有効
  青地に赤マーク：Bluetooth 機能無効

Bluetooth 機能を使ってパソコンから携帯電話へ手描きイラストを送りたい

Bluetooth 機能を使うと、パソコンから携帯電話へファイルを転送することができます。
ここでは、あらかじめこのパソコンで作成して保存されている手描きイラストを携帯電話に送る操作を説明します。ご購入時の設定では、作成した手描きイラストは「マイピクチャ」フォルダーの「手描きイラスト」フォルダーに保存されます。

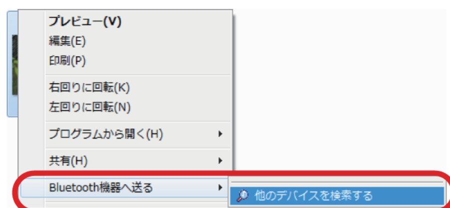


ご注意

- 携帯電話によっては、Bluetooth 機能でのデータ受信に対応していない場合があります。また、ファイルの種類によっては、Bluetooth 機能で送受信できない場合があります。
- 携帯電話へは、ファイルは転送できますが、フォルダーは転送できません。

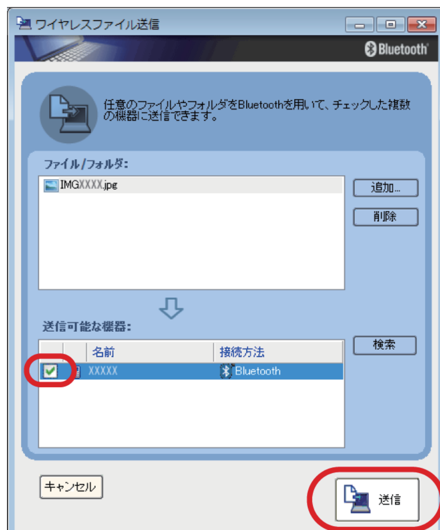
1 このパソコンと携帯電話両方の Bluetooth 機能を有効にする。

2 携帯電話に送るイラストファイルを右クリックし、「Bluetooth 機器へ送る」－「他のデバイスを検索する」(または送信先のデバイス名)をクリックする。



「ワイヤレスファイル送信」画面が表示されます。

3 「送信可能な機器」から送信先の携帯電話のチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、[送信]をクリックする。



データが送信されます。受信側の携帯電話にはメッセージが表示されます。

4 携帯電話でメッセージに従って操作し、データを受信する。
携帯電話によって、受信手順は異なります。詳しくは、携帯電話の説明書を参照してください。

携帯電話にパソコンのBluetoothデバイスが登録されていないときは、ここでデバイス登録をする必要があります。メッセージに従って操作し、パスキーを入力してください。携帯電話にパスキーを入力すると、パソコンにもパスキー入力画面が表示されます。パスキーは、携帯電話に入力したものと同じものを入力します。

データの送信が完了すると、パソコンに「イメージ送信が成功しました」というメッセージが表示されます。

5 [OK]をクリックする。

6 画面右上の ✕ をクリックして開いている画面を順に閉じる。

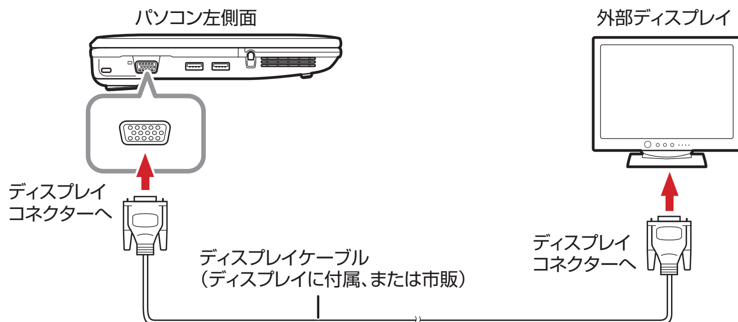
外部ディスプレイ

外部ディスプレイを接続する

このパソコンはアナログディスプレイやプロジェクターに接続して、パソコンの画面を外部ディスプレイに表示できます。外部ディスプレイに接続するときには、ディスプレイの説明書もあわせて参照してください。
パソコンとディスプレイの接続／取り外し時は、必ずパソコンとディスプレイの電源を切ってから操作してください。

1 パソコンとディスプレイの電源を切る。

2 パソコンと外部ディスプレイをディスプレイケーブル(ディスプレイに付属または市販)で接続する。



3 外部ディスプレイの電源を入れる。

4 パソコンの電源を入れる。

5 **【Fn】**＋**【F5】**( )を押して表示先を切り替える。
切り替えたい画面表示のアイコンになるまで **【Fn】** ＋ **【F5】**（ ）を数回押してください。



ご参考

- 外部ディスプレイを使用するためのディスプレイドライバーが必要な場合があります。詳しくはディスプレイの説明書を参照してください。

表示先を切り替える

表示先を切り替えるには、キーボードのキーで切り替える方法と、Windows の「ディスプレイ表示の変更」画面で切り替える方法があります。
キーボードの **【Fn】** ＋ **【F5】**（ ）を使って切り替えたときに画面が正しく表示されないときには、以下の手順で Windows の「ディスプレイ表示の変更」画面で表示先を切り替えてください。

1 デスクトップ上のアイコンなどが何もない場所で右クリックし、「画面の解像度」をクリックする。



「画面の解像度」画面が表示されます。

2 「複数のディスプレイ」欄の ▼ をクリックし、表示先を選択する。



表示画面を複製する：パソコンと外部ディスプレイの両方に同じ画面が表示されます。
デスクトップを1のみに表示する：パソコンのみに表示します。
デスクトップを2のみに表示する：外部ディスプレイのみに表示します。

3 画面を下にスクロールし、[適用]をクリックする。
ディスプレイ設定の確認画面が表示されます。

4 設定した表示先でよければ、[変更を維持する]をクリックする。

5 [OK]をクリックして「画面の解像度」画面を閉じる。



ご参考

- **このパソコンは、マルチモニター表示機能に対応しておりません。**
  このパソコンには、「Windows 7 Starter」が搭載されています。「Windows 7 Starter」は、マルチモニター表示機能（内蔵ディスプレイと外部ディスプレイに異なる表示を出力する機能）には対応しておりません。

付録

BIOS セットアップ

セットアップユーティリティ（BIOS セットアップ）は、パソコンの動作環境に関する設定（各種機能の有効／無効、パスワードの設定など）を変更するためのソフトウェアです。



ご注意

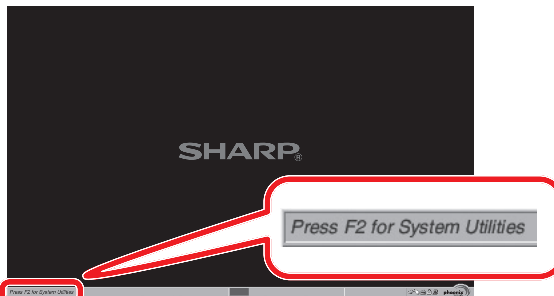
- セットアップユーティリティの内容は、ご購入時に適切に設定されています。必要なとき以外は操作しないでください。

セットアップユーティリティの起動／終了

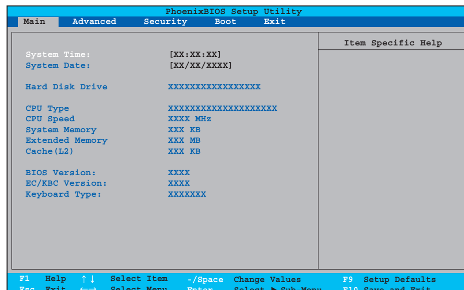
セットアップユーティリティを起動する

1 パソコンの電源を入れる。

2 画面の左下に「Press F2 for System Utilities」と表示されたらすぐに、**【F2】**を押す。



セットアップユーティリティの画面が表示されます。





ご参考

- **パスワード入力画面が表示されたときは**
  登録しているパスワードを入力し、**【Enter】**を押してください。

セットアップユーティリティを終了する（変更内容を保存して終了）

1. **【F10】**を押す。
2. 「Save configuration changes and exit now?」と表示されたら、[Yes]が選択されていることを確認し、**【Enter】**を押す。
   変更した内容を保存してセットアップユーティリティが終了し、Windowsが起動します。

セットアップユーティリティの操作

セットアップユーティリティには、「Main」、「Advanced」、「Security」、「Boot」、「Exit」のメニューがあります。
セットアップユーティリティはキーボードで操作します。使用するキーは以下のとおりです。

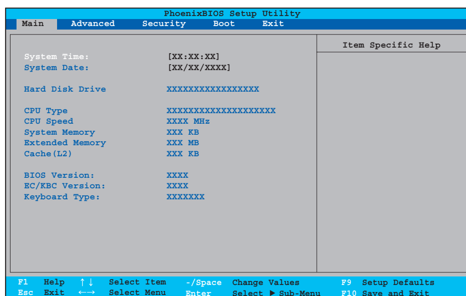
【←】【→】	：	メニューを選択
【↑】【↓】	：	項目を選択
【－】【スペース】	：	設定を変更
【0】～【9】	：	日付や時刻を入力
【Enter】	：	設定値の一覧またはサブメニューを表示
【Esc】	：	「Exit」メニューを表示、または、サブメニューを閉じる
【F9】	：	すべての設定を初期値に戻す 「Load default configuration now?」と表示されます。［Yes］が選択されていることを確認し、**【Enter】**を押します。
【F10】	：	設定を保存してセットアップユーティリティを終了 「Save configuration changes and exit now?」と表示されます。［Yes］が選択されていることを確認し、**【Enter】**を押します。


ご参考

- セットアップユーティリティでは液晶パッドやマウスを使って操作できません。
- 誤ってセットアップユーティリティの設定を変更してしまったときは、**【F9】**を押してすべての設定を初期値に戻してください。

Main メニュー

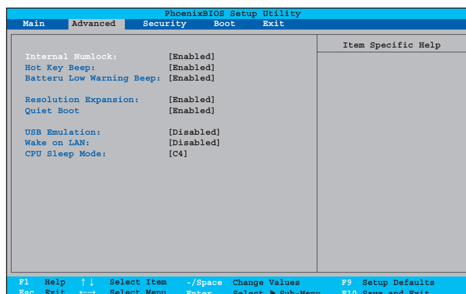
日付と時刻の設定と、システムの基本的な情報が表示されます。



System Time	時刻を設定します。(24 時間制で 時：分：秒の順) **【Tab】**でカーソルを移動し、**【−】**/**【スペース】**または、**【1】**～**【0】**で数値を変更します。
System Date	日付を設定します。(月／日／年の順) **【Tab】**でカーソルを移動し、**【−】**/**【スペース】**または、**【1】**～**【0】**で数値を変更します。
Hard Disk Drive	ハードディスクのタイプが表示されます。
CPU Type	パソコンに搭載されている CPU の名称が表示されます。
CPU Speed	パソコンに搭載されている CPU の処理速度が表示されます。
System Memory	システムメモリーの容量が表示されます。
Extended Memory	エクステンドメモリーの容量が表示されます。
Cache(L2)	キャッシュメモリーの容量が表示されます。
BIOS Version	搭載されている BIOS のバージョンが表示されます。
EC/KBC Version	搭載されている EC/KBC のバージョンが表示されます。
Keyboard Type	搭載されているキーボードのタイプが表示されます。

Advanced メニュー

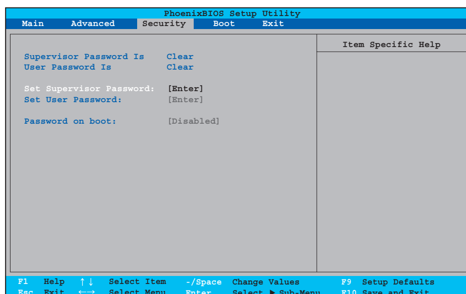
パソコンの動作に関する設定項目があります。



Internal Numlock	**【Fn】+【Insert】**（**【NumLk】**）を押したときに、内蔵キーボードを数字キーロックモードに切り替えるかどうかを設定します。 Enabled ：切り替える　Disabled ：切り替えない
Hot Key Beep	**【Fn】**と**【F1】**、**【F2】**、**【F5】**、**【F6】**、**【F7】**、**【F8】**、**【F11】**、**【F12】**の各キーを組み合わせて押したときに、音を鳴らすかどうかを設定します。 Enabled ：鳴らす　Disabled ：鳴らさない
Battery Low Warning Beep	バッテリーの残量が少なくなったときに、警告音を鳴らすかどうかを設定します。 Enabled ：鳴らす　Disabled ：鳴らさない
Resolution Expansion （Windows 環境では無効）	1024 × 600 より小さい解像度で表示したときに、拡大して表示するか、拡大せずに中央に表示するかを設定します。 Enabled ：拡大する　Disabled ：拡大しない
Quiet Boot	パソコンの電源を入れたときに、「SHARP」のロゴを表示するかどうかを設定します。 Enabled ：表示する　Disabled ：表示しない
USB Emulation （Windows 環境では無効）	USB コネクターを使用できるようにするかどうかを設定します。 Enabled ：使用できる　Disabled ：使用できない
Wake on LAN	内蔵 LAN インターフェースが起動用パケットを受信したときに、スリープから復帰させるかどうかを設定します。 Enabled ：復帰させる　Disabled ：復帰させない
CPU Sleep Mode	CPU の省電力モードを設定します。通常は、ご購入時のまま「C4」でお使いください。

Security メニュー

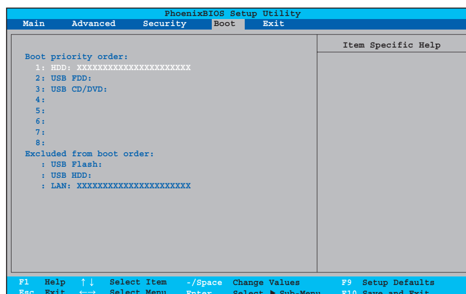
パスワードの登録など、パソコンの安全機能に関する設定項目があります。パスワードを設定しておくと、パソコン起動時にパスワード入力画面が表示され、パスワードを知らない人の使用を防ぐことができます。



Supervisor Password Is	スーパーバイザーパスワードの設定状態が表示されます。 Clear ：設定されていない　Set ：設定されている
User Password Is	ユーザーパスワードの設定状態が表示されます。 Clear ：設定されていない　Set ：設定されている
Set Supervisor Password	スーパーバイザーパスワードを設定します。8 文字までの半角英数字で設定してください。
Set User Password	ユーザーパスワードを設定します。8 文字までの半角英数字で設定してください。
Password on boot	パソコンの起動時に、パスワード入力が必要かを設定します。 Enabled：パスワード入力必要　Disabled：パスワード入力不要

Boot メニュー

システムの起動に関する設定項目があります。



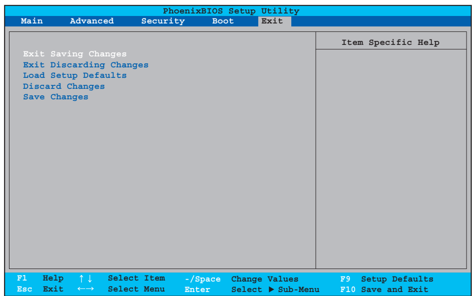
Boot priority order	システム起動時に使用するデバイスの順序を設定します。【↑】/【↓】でデバイスを選択し、**【−】**/**【スペース】**で順序を変更します。 また、**【X】**を押すと、「Excluded from boot order」欄にデバイスが移動します。 HDD：内蔵のハードディスクドライブから起動 USB FDD：USB 接続のフロッピーディスクドライブから起動 USB CD/DVD：USB 接続の CD/DVD ドライブから起動
Excluded from boot order	この欄には、システム起動時に使用されないデバイスが表示されます。ここに表示されているデバイスからシステムを起動したいときは、【↑】/【↓】でデバイスを選択し、**【X】**を押すと、「Boot priority order」欄の最後にデバイスが移動します。 USB Flash：USB メモリーから起動 USB HDD：USB 接続のハードディスクドライブから起動 LAN：ネットワーク（LAN）上の起動用サーバーから起動

ご参考

- USB メモリーまたは USB 接続のハードディスクドライブなどからシステムを起動するときは、「Advanced」メニューの「USB Emulation」を「Enabled」に設定してください。
- 大容量の USB メモリーは、USB HDD として認識される場合があります。

Exit メニュー

セットアップユーティリティの設定を、取り消す、初期値に戻す、設定内容に変更するなどを選んで、終了する画面です。



Exit Saving Changes	変更内容を保存して、セットアップユーティリティを終了します。
Exit Discarding Changes	変更内容を保存しないで、セットアップユーティリティを終了します。
Load Setup Defaults	セットアップユーティリティのすべての項目を初期値に戻します。
Discard Changes	セットアップユーティリティのすべての項目を前回保存した値に戻します。
Save Changes	変更内容を保存します。

パスワード

パスワードには、「スーパーバイザーパスワード」と「ユーザーパスワード」があります。ユーザーパスワードは、スーパーバイザーパスワードを設定しているときだけ設定できます。
入力するパスワードによって次の制限があります。

スーパーバイザーパスワード	● パスワードを正しく入力しないと、パソコンが起動しません。※ ● パスワードを正しく入力しないと、セットアップユーティリティが起動しません。 ● セットアップユーティリティのすべての項目を設定できます。
ユーザーパスワード	● パスワードを正しく入力しないと、パソコンが起動しません。※ ● パスワードを正しく入力しないと、セットアップユーティリティが起動しません。 ● セットアップユーティリティの以下の項目のみ設定できます。 Main メニュー：System Time、System Date Advanced メニュー：Internal NumLock、Hot Key Beep Battery Low Warning Beep、Resolution Expansion Security メニュー：Set User Password Exit メニュー：Exit Saving Changes、Exit Discarding Changes Discard Changes、Save Changes

※ Password on boot を「Enabled」に設定しているときにパスワード入力画面が表示されます。(☞127 ページ)

パスワードを登録する

ここで設定するスーパーバイザーパスワード、ユーザーパスワードは Windows 起動後のログイン画面で入力する Windows のパスワードとは別のものです。
ここでは、スーパーバイザーパスワードを設定する場合を例に説明します。ユーザーパスワードを設定するときは、「Supervisor」の箇所を「User」に読み替えてください。
スーパーバイザーパスワードを設定しないと、ユーザーパスワードは設定できません。


ご注意

● 必要のないときは、パスワードを設定しないでください。パスワードを忘れると、パソコンを起動できなくなります。
● パソコン本体の修理を依頼されるときは、パスワードを削除しておいてください。


ご参考

● **数字キーロックモードおよび Caps Lock は解除しておくことをお勧めします**
パスワード登録時は、数字キーロックがオンかオフかを識別しています。パスワードを登録する前に、あらかじめ、Windows 上で、メモ帳（付属ソフト）などで文字を入力して、数字キーロックが有効になっていないか確認しておいてください。
パスワード登録画面では、入力した文字が「***」で表示されるため、入力した内容を確認できません。

1 「Security」メニューで「Set Supervisor Password」を選択し、**【Enter】**を押す。
パスワード入力画面が表示されます。

2 「Enter New Password」でパスワードを入力し、**【Enter】**を押す。
パスワードは、8文字までの半角英数字で設定してください。

3 確認のため「Confirm New Password」でもう一度同じパスワードを入力し、**【Enter】**を押す。

4 画面の内容を確認し、**【Enter】**を押す。
「Changes have been saved.」と表示されているときは、パスワードが正しく登録されています。
「Passwords do not match. Re-enter password.」と表示されているときは、手順**2**と手順**3**で入力したパスワードが一致しなかったため、パスワードは登録されていません。手順**2**からやり直してください。

5 【↓】で「Password on boot」を選択し、**【スペース】**を押して「Enabled」に設定する。

パスワードを変更する／削除する

ここでは、スーパーバイザーパスワードを変更／削除する場合を例に説明します。ユーザーパスワードを変更／削除するときは、「Supervisor」の箇所を「User」に読み替えてください。



ご参考

- スーパーバイザーパスワードを削除すると、ユーザーパスワードも削除されます。

1 「Security」メニューで「Set Supervisor Password」を選択し、**【Enter】**を押す。
パスワード入力画面が表示されます。

2 「Enter Current Password」で現在のパスワードを入力し、**【Enter】**を押す。

3 「Enter New Password」で新しいパスワードを入力し、**【Enter】**を押す。
パスワードを削除するときは、何も入力せずに**【Enter】**を押します。
パスワードは、8文字までの半角英数字で設定してください。

4 確認のため「Confirm New Password」でもう一度同じパスワードを入力し、**【Enter】**を押す。
パスワードを削除するときは、何も入力せずに**【Enter】**を押します。

5 画面の内容を確認し、**【Enter】**を押す。
「Changes have been saved.」と表示されているときは、パスワードが正しく登録されています。
「Passwords do not match. Re-enter password.」と表示されているときは、手順**3**と手順**4**で入力したパスワードが一致しなかったため、パスワードは登録されていません。手順**3**からやり直してください。

パスワードを登録したパソコンを起動する

パスワードを登録しておくと、パソコン起動時にパスワード入力画面が表示されます。パソコンを起動するには、表示されるパスワード入力画面（☞ 下記）にパスワードを入力します。入力しないと、次の操作に進むことができません。

```
Enter Password    [          ]
```

パスワードの入力を間違えると、「Invalid Password.」と表示されます。**【Enter】**を押してパスワードを再入力してください。パスワードの入力を 3 回間違えると、パソコンの電源が切れますので、10 秒以上待ってから、電源を入れ直してください。

 **ご参考**

- 「Password on boot」が「Disabled」に設定されているときは、パソコン起動時にパスワード入力画面は表示されません。**【F2】**を押してセットアップユーティリティを起動しようとしたときだけパスワード入力画面が表示されます。

パソコンのリサイクルご協力のお願い



PC リサイクルマーク

ご家庭の使用済みパソコンを有益な資源として再利用するためリサイクルにご協力ください。このパソコンには、PC リサイクルマーク（本機底面または裏面に貼付）が表示されていますので、新たな料金の負担なしで当社が収集・運搬・再資源化をいたします。
このパソコンを廃棄される場合は、PC リサイクルセンターへお申し込みください。

パソコンリサイクルの申し込み／お問い合わせ先

シャープ（株）PC リサイクルセンター

- ホームページからのお申し込み
  http://www.sharp.co.jp/support/pcrecycle/index.html
- お問い合わせ
  電話番号：**0120-845-530**（フリーダイヤル）
  （携帯電話、PHS からもご利用いただけます。IP 電話からは、ご利用いただけない場合があります。）
  受付時間：**月曜日～金曜日　9：00 ～ 12：00　13：00 ～ 17：00**
  休　　日：土曜日、日曜日、祝日、年末年始など当社の休日は休みとさせていただきます。
  なお、天災などやむを得ない状況の際は、臨時に休ませていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

※電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようおかけください。


ご参考

事業系のお客様（法人ユーザー様）

- **http://www.sharp.co.jp/corporate/eco/recycle/business.html** の事業系パソコンリサイクルのページを参照してください。

シャープ株式会社

本　　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
パーソナルソリューション事業推進本部　〒639-1186　奈良県大和郡山市美濃庄町492番地